

F04-02

研究報告 第456号

令和4年度

学力向上の手引き

全国学力・学習状況調査の効果的な活用に向けて

～自校の課題を捉え、学校全体で取り組むために～



チーバくん

令和4年12月

千葉県総合教育センター

序

今年度も、関係者の皆様の御協力により、全国学力・学習状況調査を無事に実施することができました。今回、教科に関する調査においては、国語、算数・数学に加えて4年ぶりに理科の調査が実施されました。文部科学省による調査結果を受け、本県は「ほとんどの教科において、全国に比べて平均正答率が低い」「記述式で解答する出題に対して特に正答率が低く、無解答の児童生徒も多い」などの状況について公表したところです。

県教育委員会では、第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」を令和2年2月に策定し、目標の一つとして「ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる」を掲げています。また、その実現に向けて「ちばっ子『学力向上』総合プラン(学びの未来づくり ダブル・アクション+ONE)」のもと、様々な取組を展開しています。

県総合教育センターでは、このプランに基づき、本調査に係る分析・研究を行い、児童生徒の学力向上に向けて各学校に活用いただけるよう、「県独自の分析ツール」の作成・提供や「学力向上の手引き」の作成・提供などを行っています。

各学校におかれましては、自校の成果と課題を把握・検証し、家庭や地域との連携を図りながら、実態に応じた取組を行うことが求められます。まず、教科に関する調査については、各教科の正答率ばかりに気を取られることなく、具体的な設問に目を向け、「児童生徒がどのような考えでどのような誤りをしているのか」を分析し、指導改善を図ってください。また、質問紙調査については、児童生徒の学習環境や自己有用感、学校運営等の状況を分析し、子供たちへの指導を充実させるとともに、必要に応じて学校評価その他の指標に反映するなど、学校経営の改善に活用してください。

最後になりますが、児童生徒の学力向上は「校長先生を中心に、先生方一人一人がいかに本気になるか」にかかっています。児童生徒のつまずきの原因やその改善を探る手がかりとして本手引きを活用いただき、児童生徒の学力向上の取組を一層充実していただくようお願いいたします。

千葉県総合教育センター
所長 神子 純一

目 次

序	1
目次	2
I 全国学力・学習状況調査の概要	3
1 令和4年度調査の概要	4
2 令和4年度の代表的な設問例	4
3 令和5年度調査の予定	7
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて①	8
II 令和4年度 千葉県の調査結果	9
1 結果の概要	10
(1) 教科に関する調査	10
①令和4年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）	10
②学校種別・教科別の平均正答率（全国比）の経年変化	10
(2) 質問紙調査	12
①児童生徒質問紙調査	12
②学校質問紙調査	13
2 結果の詳細	14
(1) 教科に関する調査	14
①小学校国語	14
②中学校国語	18
③小学校算数	22
④中学校数学	26
⑤小学校理科	30
⑥中学校理科	34
(2) 質問紙調査	38
①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	38
②学習時間の状況（学習習慣・学習環境等）	40
③ゲームやSNS・動画視聴の状況（基本的な生活習慣等）	41
④ICTを活用した学習状況	42
⑤記述の指導に関する状況（国語科の指導方法）	44
⑥探究型の指導に関する状況（理科の指導方法）	44
⑦全国学力・学習状況調査の結果の活用	45
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて②	46
III 県の分析ツールの活用について	47
1 分析ツールについて	48
(1) 分析ツールとは	48
(2) 分析ツールの入手方法	48
(3) 分析ツールの活用場面	49
2 4つの分析シートの活用について	50
(1) 教科・質問紙分析シート	50
(2) 経年分析シート	51
(3) 誤答分析シート	52
(4) クロス集計シート	55
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて③	56
IV 質問紙調査回答結果集計データ	57
1 児童生徒質問紙調査	58
2 学校質問紙調査	66

全国学力・学習状況調査の概要

- 1 令和4年度調査の概要
- 2 令和4年度の代表的な設問例
- 3 令和5年度調査の予定

1 令和4年度調査の概要

(1) 調査の目的

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- ・学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日

令和4年4月19日(火)

(3) 本県の実施状況

公立小学校	752校	第6学年(645校)	第6学年)
公立中学校	373校	第3学年(319校)	第3学年)
合計	1,125校	(964校)	

義務教育学校・特別支援学校を含む。また、()内は千葉市を除いた数である。

(4) 調査内容

教科に関する調査

【小学校】国語、算数、理科【中学校】国語、数学、理科
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
児童生徒に対する調査、学校に対する調査

2 令和4年度の代表的な設問例

調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等に役立てるという視点から、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題が出題されている。

(1) 小学校国語

【書くこと】経験を基に考えたことを書く

(大問3 六年生としてがんばりたいこと)

二 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題

- ・文章についての感想や意見を具体的に伝え合う活動(右資料)を基に、島谷さんの文章のよさを島谷さんの立場で、60字以上100字以内で書く。

(正答例)

わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(99字)

(誤答例)

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんの話を聞き、さいばい委員会で自分が行った活動をふり返って、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを反省しました。(80字) ……全体の28.3%の児童がこれに類する解答

〈誤答例の分析と課題〉

上記のように解答した児童は、条件に合う言葉や文を取り上げている。しかし、文章の「よさ」(聞いたことや経験を基にしているなど)について書いていない。このことから、伝え合う活動の様子(右資料)の内容を踏まえるなどして、**文章の「よさ」を見付けることができなかった**と考えられる。

本県正答率:37.1%

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 秋のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会や活動したことをもとにしているからだね。
島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという、最初の段落の内容をより具体的に書いてあるから、今年がんばろうとして、最初のことくわしく伝わってきたよ。
島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。
5 (伝え合いが続く) 5

指導改善のポイント

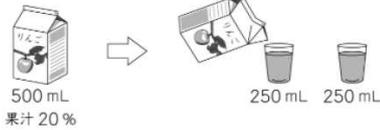
自分の文章のよいところとして、第1・2学年では「内容や記述などに見られる具体的なよさ」、第3・4学年では「書こうとしたことの明確さ」、第5・6学年では「文章全体の構成や展開の明確さ」などを見付けることができるように、系統的に指導することが大切です。

(2) 小学校算数

【変化と関係】二つの数量の関係について考察すること
(大問2 果汁の割合)

(3) 数量(飲み物の量)が変わっても割合(飲み物の濃さ)は変わらないことを理解しているかを問う問題

果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。



- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。 … 67.7%
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。 … 9.2%
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

〈誤答例の分析と課題〉

「1」と解答した児童は、果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、同様に果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になると誤って捉えていると考えられる。

本県正答率:20.5%

指導改善のポイント

日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導することが大切です。

(3) 小学校理科

【生命】自然の事物・現象を気付きの視点で分析・解釈
(大問1 生命に関する問題)

(5) 育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ問題

		育ち方	
		さなぎになる	さなぎにならない
主な食べ物	植物	1 モンシロチョウ 幼虫: キャベツの葉など 成虫: 花のみつなど	2 ショウリョウバッタ 幼虫: ススキの葉など 成虫: ススキの葉など
	動物	3 ゲンゴロウ 幼虫: イトミズなど 成虫: イトミズなど	4 シオカラトンボ 幼虫: イトミズなど 成虫: ハエなど

【気付いたこと】

- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、植物を食べるこん虫がいた。
- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、動物を食べるこん虫がいた。
- ・表のこん虫以外で、成虫のときに植物も動物も食べるこん虫がいる。

- 1 表のこん虫以外で、さなぎになるこん虫は、いるのだろうか。… 12.4%
- 2 モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べるのだろうか。… 5.0%
- 3 表のこん虫以外で、幼虫のときに植物も動物も食べるこん虫は、いるのだろうか。
- 4 なぜ、ゲンゴロウの幼虫や成虫は、動物を食べるのだろうか。… 15.4%

〈誤答例の分析と課題〉

「4」と解答した児童は、【気付いたこと】を基に、ゲンゴロウの食べ物に着目したものと考えられる。このように解答した児童は、【気付いたこと】を基に、昆虫の食べ物に着目することはできているが、植物も動物も食べる昆虫について着目し、表を分析して、解釈し、適切な問題を見いだすことはできていないと考えられる。

本県正答率:64.9%

指導改善のポイント

観察、実験の結果を、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにするために、それぞれの気付きを明確にし、主に差異点や共通点を基に問題を見いだす場面を設定することが大切です。

(4) 中学校国語

【書くこと】【情報の扱い方に関する事項】意見文を書く
(大問2 先端技術との関わり方)

三 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題

・ウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きに「スマート農業の効果」を書き加える。

(正答例)

(例えば、) 農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

(誤答例)

(例えば、) アプリの活用により熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能になる情報共有の簡易化や、様々なAI解析により、農作物の生育や病害虫を予測し、高度な農業経営が可能になるデータの活用があります。

…全体の40.4%の生徒がこれに類する解答

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

→「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0*の実現」

*Society5.0: 政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病害虫を予測し、高度な農業経営が可能に

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

〈誤答例の分析と課題〉

上記のように解答した生徒は、【農林水産省のウェブページにある資料の一部】(左資料)から情報を引用するにあたって、かぎかっこ(「」)でくくることができていない。また、引用箇所をかぎかっこ(「」)でくくることはできていても、文章をそのまま抜き出すことができていない生徒もいた。これらの生徒は引用の仕方を正しく理解していないと考えられる。

本県正答率:44.8%

指導改善のポイント

本や資料から文章や図表などを引用する必要がある言語活動の中で、引用の際には引用箇所をかぎかっこ(「」)でくくること、出典を明示すること、引用部分を適切な量とすることなどについて確認するとともに、引用する目的や効果について考えるように指導することが大切である。それらを踏まえて、意見文などを書く際に、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用することなどができるように指導することが大切です。

(5) 中学校数学

【データの活用】データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること
(大問7 コマ回し)

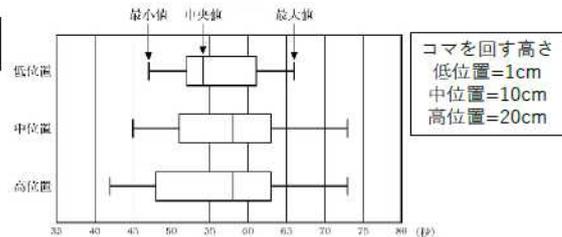
(2) 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ問題

ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。 … 8.8%

ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。 … 38.9%

エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。 … 7.1%



〈誤答の分析と課題〉

「ウ」と解答した生徒の中には、箱の中のデータの個数は全体の約半数ではなく、箱の横の長さが短い方が、箱に含まれるデータの個数が少ないと捉えた生徒がいると考えられる。

本県正答率:43.4%

指導改善のポイント

箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるようにするために、複数の集団のデータの分布を比較する場面を設定し、データを整理して箱ひげ図に表し、データの分布の傾向を比較して読み取る活動を充実することが大切です。

(6) 中学校理科

【エネルギー】押して使うばねを科学的に探究する (大問5「エネルギー」を柱とする領域)

(3) 磁気ばねの実験で得られた考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する間隔や範囲の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる問題

グループで個人の考察を検討している場面

グラフが原点を通る直線になるので、比例すると考えます。

グラフは原点を通るけれど、直線にはならないので、比例しないと考えます。

測定値が足りないため、どちらの考えが妥当か判断できません。

(3) 下線部について、測定値をどのように増やせばよいか、【実験の計画】の「加える力の大きさを0から0.5Nずつ2.0Nまで変化させた」の部分参考にして書きなさい。

・磁気ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するかについて実験を行ったところ、二通りの考察が出た。そこで、さらに測定値を増やすことにしたが、どのように増やせばよいかを書く。

(正答例)

- ・加える力の大きさを0Nから0.2Nずつ2.0Nまで変化させる。
- ・加える力の大きさを3.0Nにして測定する。

(誤答例)

- ・おもりをより重いものにして測定する。
- ・測定する間隔をもっと細かくして実験を行う。
- ・何度も同じ実験を行い測定値を増やす。
…全体の14.4%の生徒がこれらに類する解答

〈誤答例の分析と課題〉
上記のように解答した生徒は、測定値を増やして実験をすることは理解しているが、**具体的に数値を示した実験を計画できていない**と考えられる。

本県正答率:39.6%

指導改善のポイント

考察の妥当性を高めるために、実験結果の処理について振り返り、例えば測定する間隔や範囲などの改善の視点を明確にした上で、実験の計画を検討して改善する学習活動を充実することが大切です。

3 令和5年度調査の予定

(1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)

(2) 調査内容

- ①教科に関する調査
 - 【小学校】国語、算数
 - 【中学校】国語、数学、英語
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - 児童生徒に対する調査
 - 学校に対する調査

トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組を進めるためのチェックシートを例示します。
各学校の実態に合わせて活用してください。



No.	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
管理職としての取組		
1	調査結果の周知や改善の取組を学校全体で行うことができるような体制を整えた。	
2	教務主任や研究主任等と連携し、調査結果を職員全体で確認させ、課題を明確にした。	
3	教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にした。	
4	教科に関する調査と質問紙の調査結果を学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にした。	
5	保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行った。	
6	保護者や地域と協力・連携して、調査結果を活用した取組を行った。	
教務主任、研究主任等としての取組		
7	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
8	分析ツールを総セ Web サイトからダウンロードし、4種類の分析シートを作成した。	
9	印刷した分析シートを、活用しやすいように保管している。	
10	教科に関する調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
11	質問紙調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
12	報告書や授業アイデア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知した。	
13	調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにした。	
14	校内研修等で、分析シートを活用して職員全体で分析できるようにした。	
全職員に関わる取組		
15	教科に関する調査の問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
16	調査後に、児童生徒の解答を確認または採点し、実態を把握した。	
17	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。(結果提供前)	
18	教科に関する調査の自校の結果を確認した。	
19	質問紙調査の内容と自校の結果を確認した。	
20	S-P表を活用し、実態に即した指導方法の検討をした。	
21	分析シートの活用の仕方について、「令和4年度 学力向上の手引き」を参考にした。	
22	「教科・質問紙分析シート」を活用して分析し、改善方を検討した。	
23	「経年分析シート」を活用して分析し、改善方を検討した。	
24	「誤答分析シート」を活用して分析し、改善方を検討した。	
25	「クロス集計シート」を活用して分析し、改善方を検討した。	
26	教科指導について関係する学年間や教科担当で課題を共有した。	
27	教科指導について検討した改善方を基に授業を実践した。	
28	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、授業改善の方策を検討した。	
29	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、学級経営の改善方を検討した。	
30	検討した改善方を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
31	分析シートを基に学校全体の改善方策と実践について振り返り、次年度の取組に生かした。	
32	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考に使っている。	
35	「令和4年度 学力向上の手引き」を指導改善の参考にした。	
36	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
37	「学力向上通信 COMPASS」を指導改善の参考にした。	

令和4年度 千葉県調査結果

- 1 結果の概要
- 2 結果の詳細

1 結果の概要

(1) 教科に関する調査

① 令和4年度教科別調査結果(平均正答数及び平均正答率)

平均正答数及び平均正答率の 上段(白)は、千葉県(千葉市を含む)、()内は、千葉県(千葉市を除く) 下段(網掛け)は、全国(公立)を示す。

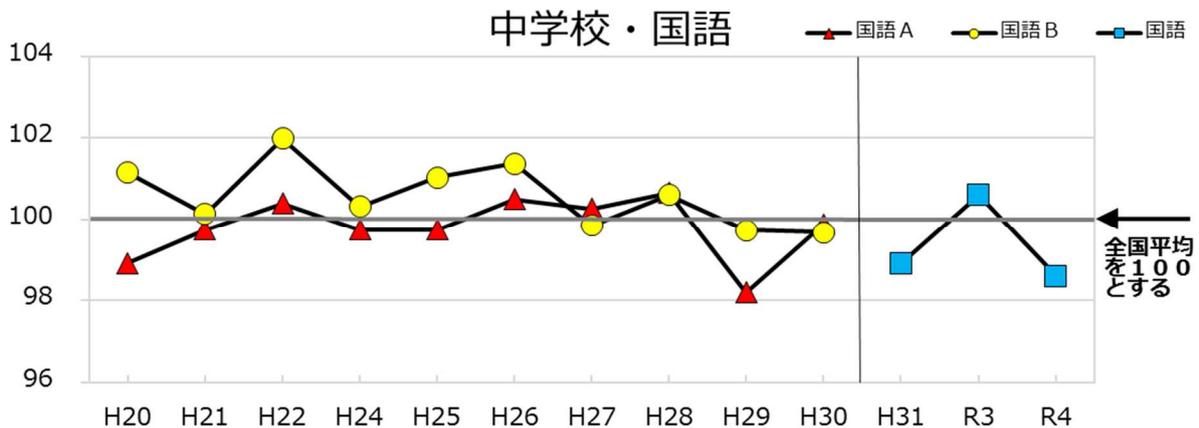
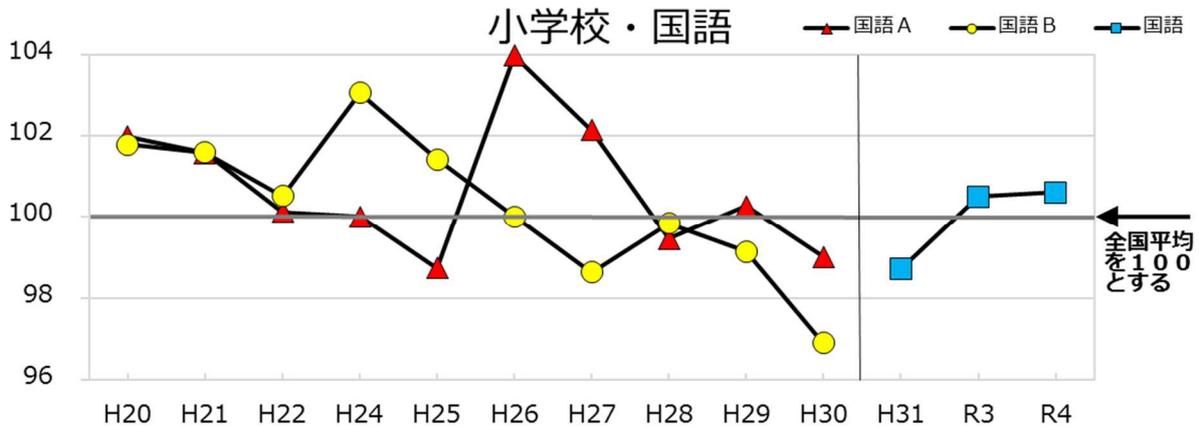
小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語 全14問	9.2	66	国語 全14問	9.5	68
	(9.2)	(66)		(9.5)	(68)
	9.2	65.6		9.7	69.0
算数 全16問	10.0	63	数学 全16問	7.0	50
	(10.0)	(62)		(7.0)	(50)
	10.1	63.2		7.2	51.4
理科 全17問	10.7	63	理科 全21問	10.2	48
	(10.6)	(62)		(10.1)	(48)
	10.8	63.3		10.4	49.3

* 文部科学省からの発表に基づき、平成28年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。

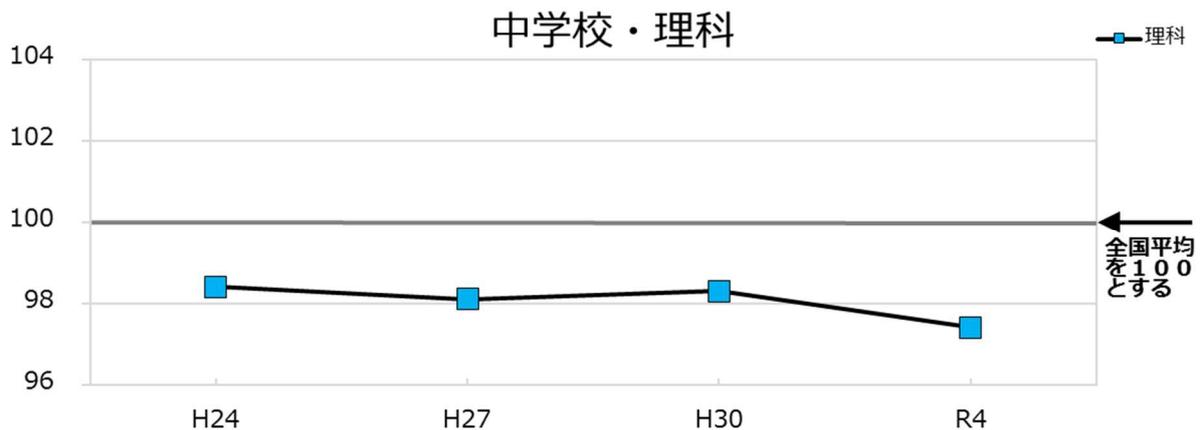
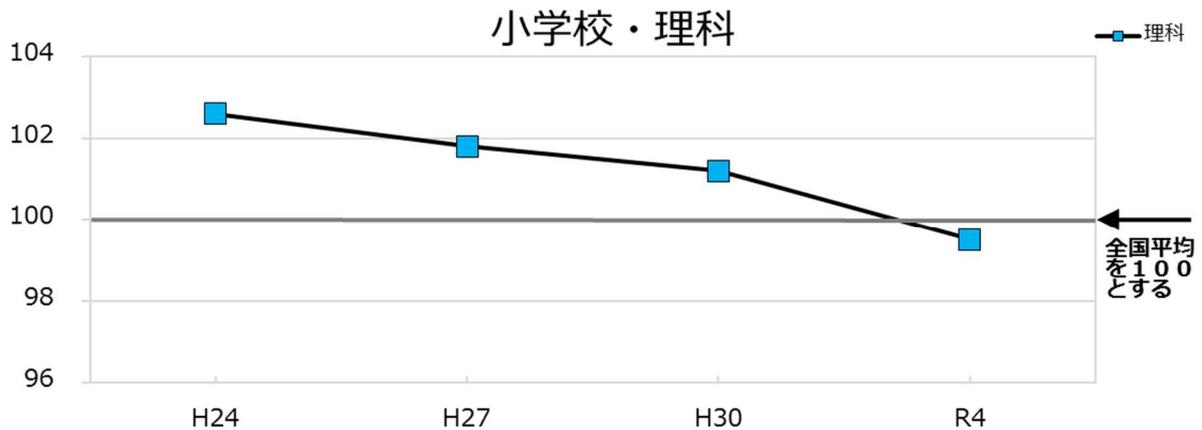
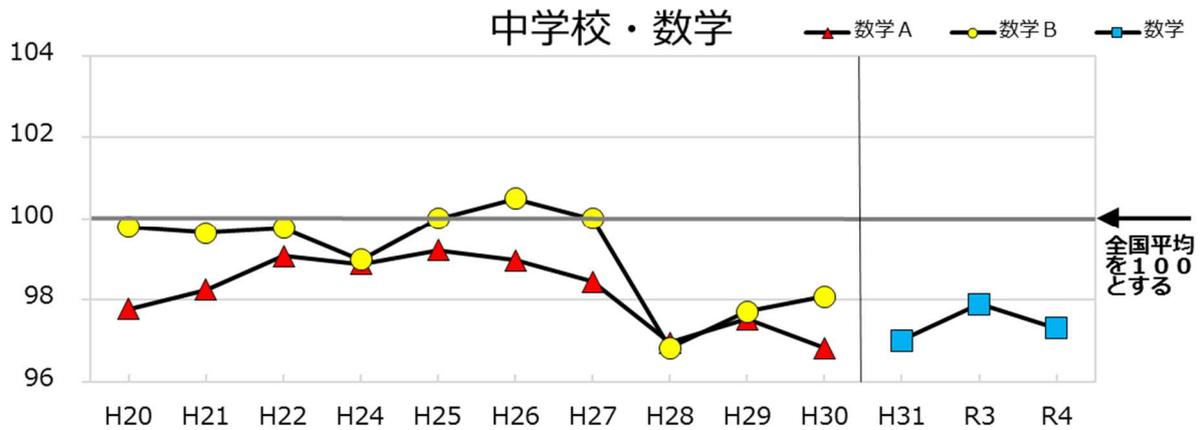
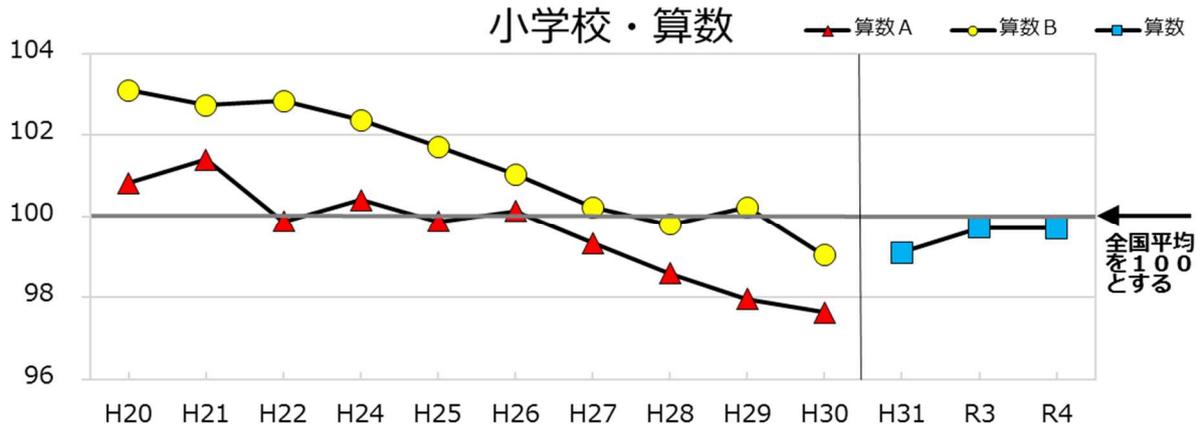
② 学校種別・教科別の平均正答率(全国比)の経年変化

平成23年度及び令和2年度は調査実施なし

国語、算数〔数学〕について、平成31年度(令和元年度)以降は、A、B問題を一体化して出題
理科は、平成24年度から、3回に1回程度、調査を実施



1 結果の概要



1 結果の概要

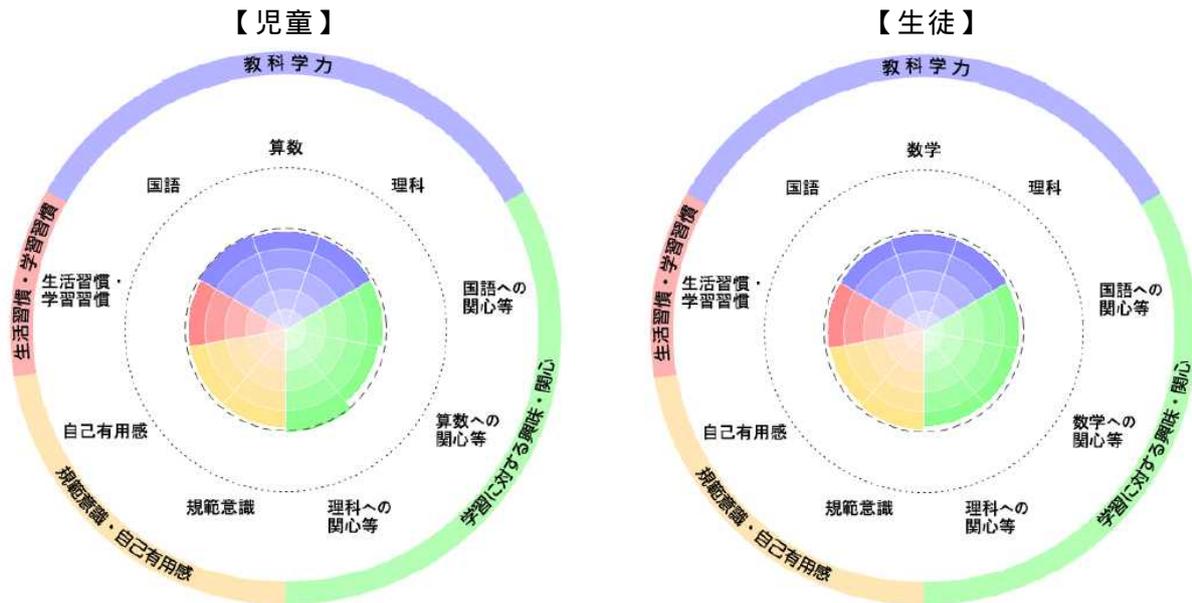
(2) 質問紙調査

チャート図は、千葉県の実績について、全国を母集団として標準化したものである。内側の破線が全国平均を表している。
 は成果（全国と比較して高い）を、 は課題（全国と比較して低い）を示している。

① 児童生徒質問紙調査

本県は多くの項目（領域）で、肯定的な回答の割合が、全国に比べて低い。

児童生徒質問紙調査と教科の結果



領域名		対応する質問番号	成果と課題 回答状況の具体例 (本県及び全国の肯定的回答割合の比較)
学習に対する 興味・関心	国語への関心等	児童 49～52 生徒 49～52	(55)算数〔数学〕の授業の内容はよく分かり ますか 本県児童 78.7% (全国 81.2%) 本県生徒 73.9% (全国 76.2%) (61)理科の勉強は好きですか 本県児童 82.4% (全国 79.7%) 本県生徒 65.6% (全国 66.4%)
	算数〔数学〕 への関心等	児童 53～56 生徒 53～56	
	理科への関心等	児童 61～63、65 生徒 61～63、65	
規範意識・ 自己有用感	規範意識	児童 12、13、15 生徒 12、13、15	(7)自分には、よいところがあると思 いますか 本県児童 78.7% (全国 79.3%) 本県生徒 76.4% (全国 78.5%) (9)将来の夢や目標を持っていますか 本県児童 80.5% (全国 79.8%) 本県生徒 66.2% (全国 67.3%)
	自己有用感	児童 7～9 生徒 7～9	
生活習慣・学習習慣		児童 1～3、20～22 生徒 1～3、20～22	(1)朝食を毎日食べていますか 本県児童 94.1% (全国 94.4%) 本県生徒 90.8% (全国 91.9%) (20)家で自分で計画を立てて勉強を していますか 本県児童 70.3% (全国 71.1%) 本県生徒 56.1% (全国 58.5%)

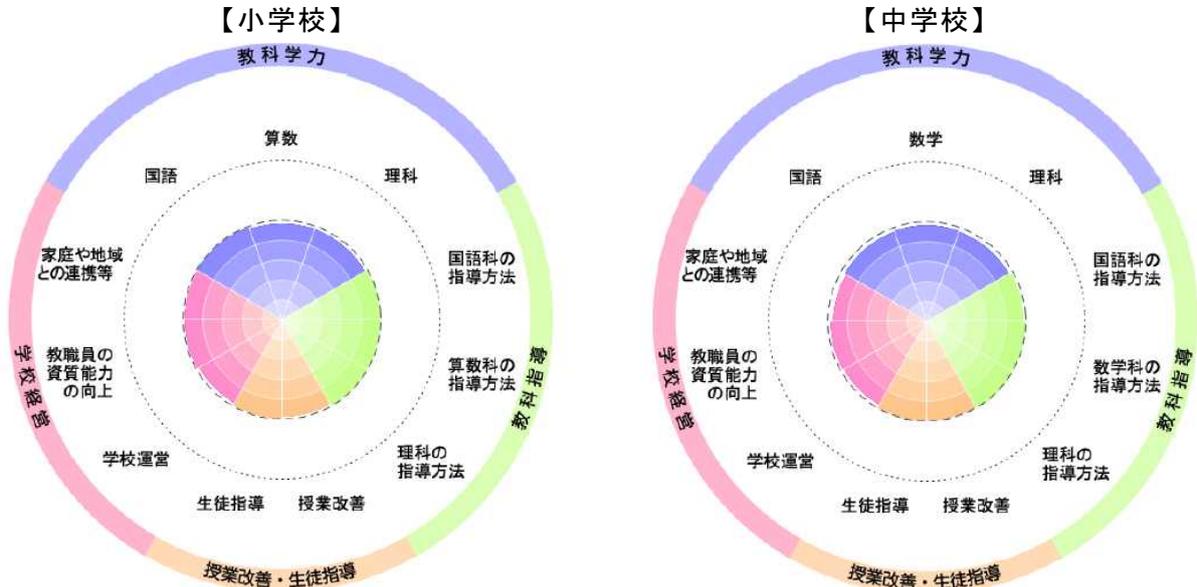
表中の「対応する質問番号」において、児童質問紙は「児童」、生徒質問紙は「生徒」と表示している。

1 結果の概要

② 学校質問紙調査

本県は多くの項目（領域）で、肯定的な回答の割合が、全国に比べて低い。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題 ※回答状況の具体例 (本県及び全国の肯定的回答割合の比較)
教科指導	国語科の指導方法	小 39～42 中 39～42	(46)算数〔数学〕の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか ◇本県小学校 85.1% (全国 84.3%) ◆本県中学校 81.8% (全国 82.8%) (53〔52〕)理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察〔解釈〕する指導を行いましたか ◇本県小学校 97.4% (全国 97.1%) ◇本県中学校 95.2% (全国 94.6%)
	算数〔数学〕科の指導方法	小 46～48 中 46～48	
	理科の指導方法	小 50～54 中 49～53	
授業改善・生徒指導	授業改善	小 23, 26, 28, 30, 31 中 23, 26, 28, 30, 31	(26)児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか ◆本県小学校 74.2% (全国 80.9%) ◆本県中学校 83.9% (全国 86.2%)
	生徒指導	小 7～10 中 7～10	
学校経営	学校運営	小 16～18, 81 中 16～18, 79	(18)指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか ◆本県小学校 87.8% (全国 92.3%) ◆本県中学校 75.3% (全国 82.3%) (20)児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか ◆本県小学校 79.5% (全国 83.6%) ◆本県中学校 70.8% (全国 78.6%)
	教職員の資質能力の向上	小 19～21 中 19～21	
	家庭や地域との連携等	小 72～76 中 70～74	

※表中の「対応する質問番号」において、小学校質問紙は「小」、中学校質問紙は「中」と表示している。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

① 小学校国語

ア 平均正答率

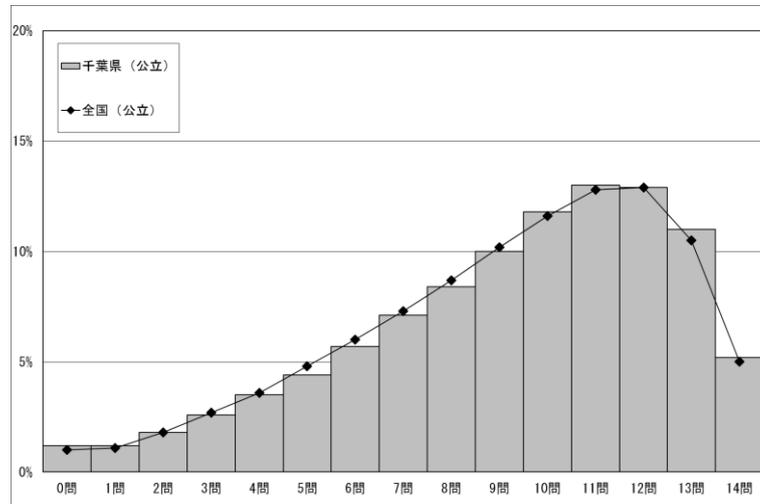
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数		千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
		752	18,668		48,451	965,308

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			千葉県（公立）	全国（公立）	
全体			14	66	65.6
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.1	69.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	79.2	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	▼65.7	66.2
		B 書くこと	2	▼47.0	48.5
		C 読むこと	4	66.8	66.6
評価の観点	知識・技能	6	71.6	70.5	
	思考・判断・表現	8	▼61.6	62.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	8	▼71.4	71.8	
	短答式	3	66.1	63.6	
	記述式	3	▼50.8	51.3	

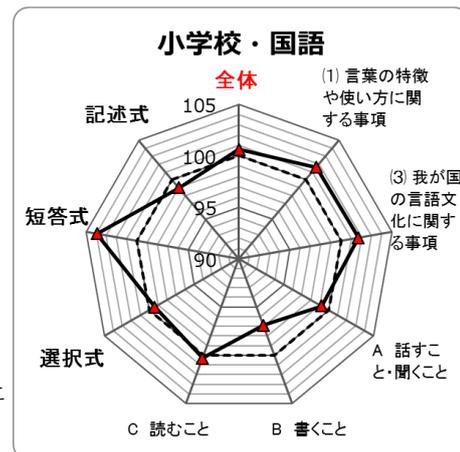
イ 正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	48,451	9.2 / 14	66	10.0	3.3
全国（公立）	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3



横軸：正答数
縦軸：児童の割合

ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

小学校・国語		
	全体(活用)	100.6
領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	101.6
	(2) 情報の扱い方に関する事項	
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	101.7
	A 話すこと・聞くこと	99.2
問題形式	B 書くこと	96.9
	C 読むこと	100.3
	選択式	99.4
	短答式	103.9
	記述式	99.0

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)					
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
		(1)	(2)	(3)	A	B	C												
1一	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5・6 イ						○					85.2	85.5	-0.3	1.3	0.9	0.4	
1二	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5・6 ア						○					67.2	68.8	-1.6	1.4	1.0	0.4	
1三	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える				3・4 エ			○					84.4	84.7	-0.3	1.4	1.0	0.4	
1四	互いの立場や意図を明確にしなが ら計画的に話し合い、自分の考えをま とめる				5・6 オ			○			○	46.9	47.7	-0.8	3.5	3.0	0.5		
2一 (1)	登場人物の行動や気持ちなどにつ いて、叙述を基に捉える					3・4 イ		○					68.8	68.4	0.4	1.3	1.0	0.3	
2一 (2)	登場人物の相互関係について、描写 を基に捉える					5・6 イ		○					70.8	70.6	0.2	1.9	1.6	0.3	
2二	人物像や物語の全体像を具体的に想 像する					5・6 エ		○			○	68.5	68.3	0.2	13.1	12.2	0.9		
2三	表現の効果を考える					5・6 エ		○					59.1	59.2	-0.1	3.6	3.2	0.4	
3一	文章全体の構成や書き表し方など に着目して、文や文章を整える					5・6 オ		○					56.9	59.2	-2.3	2.8	2.5	0.3	
3二	文章に対する感想や意見を伝え合 い、自分の文章のよいところを見付 ける					5・6 カ		○					37.1	37.7	-0.6	14.7	14.5	0.2	
3三ア		5・6 エ						○					68.3	65.2	3.1	8.1	8.1	0.0	
3三イ	学年別漢字配当表に示されている漢 字を文の中で正しく使う	5・6 エ						○					59.4	58.7	0.7	11.1	10.2	0.9	
3三ウ		5・6 エ						○					70.7	67.1	3.6	14.4	14.7	-0.3	
3四	漢字や仮名の大きさ、配列に注意し て書く				3・4 エ(イ)			○					79.2	77.9	1.3	5.8	5.9	-0.1	

2 結果の詳細

才 課題のある設問

1 四 (趣旨) 互いの立場や意図を明確にしなが^ら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる

(学習指導要領)

〔第5学年および第6学年〕思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと 才

正答率 (%)	
全国	47.7
千葉県	46.9
自校	

全国	3.0
千葉県	3.5
自校	

四 岡さんは、「話し合いの様子の一部」の「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

【話し合いの様子の一部】

岡さん こうして、みんなの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて（メモ）してみました。

私は、公園が明るくなるので、ベンチをより進すことがよいと考えました。できるかどうかは分らないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

岡さん みんなのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は、

1（話し合いが続く）

△よい点 △問題点

○ごみがなくなる
△掃除がしやすい
△はなやかに
△花を植えることが
△明るい
△できるかどうかは分らない

（正答例）

○「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。

○【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

（正答例）

四 岡さんは、「話し合いの様子の一部」の「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。

- ① 以下の内容を取り上げて書いている。
 - a 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで書いている。
 - b 選んだアイデアの問題点に対する解決方法を書いている。
- ② 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ③ 50字以上、80字以内で書いている。

解答類型4で満たしていないもの

解答類型		反応率 (%)	
4	条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの * 条件③を満たしているかどうかは不問とする	全国 36.1	千葉県 34.8 自校 ()

互いの立場を明確にしなが^ら計画的に話し合い、自分の考えをまとめるには

- ① なんのために、どのように話し合うのか、話し合いの目的や方向性を確認させる。児童が自分のこととして考えたり、計画的に話し合ったりできるようにする。
- ② 話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理させる。目的に合わせて、よい点と問題点を整理し、必要な情報を見付けさせる。
- ③ ②を踏まえ、様々な視点から検討して自分の考えをまとめさせる。必要に応じて教師がモデル文を作成し、まとめ方を指導することも効果的である。

2 結果の詳細

才 課題のある設問

3-1 (趣旨) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる

(学習指導要領)

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと 才

正答
県56.9%

- 1 ① 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
- 2 ② 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
- 3 ③ 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
- 4 ④ 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

千葉県
17.0%

千葉県
7.5%

千葉県
15.7%

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全国	59.2
千葉県	56.9
自校	

小学校国語の問題で、最も全国との差が大きい設問である。

一 島谷さんは、「文章2」の [] の部分をどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

〔文章2〕

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をア、ろくがして、各学級にしようかいたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいはい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたそうです。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

解 答 類 型		反 応 率 (%)
2	2 と解答しているもの	全国 15.4
	引用して書くことと自分の考えを書くこととの区別ができなかったと考えられる。	千葉県 15.7
		自校 ()
4	4 と解答しているもの	全国 15.1
	考えの理由を最初に書いていないことが捉えられていない。最初に書き加えたことの意図を捉えられない児童もいると考えられる。	千葉県 17.0
		自校 ()

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるには

- 推敲の観点をしっかりもたせる。
- ・読み手にとって分かりやすいか。
 - ・伝えたいことが明確になっているか。
 - ・内容・表現に一貫性があるか。
 - ・目的や意図に対して適切な構成か。
 - ・事実と感想・意見が区別されているか。
 - ・引用の仕方、図表やグラフの用い方は適切か。

推敲の必要性を
感じさせることも効果的

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

② 中学校国語

ア 平均正答率

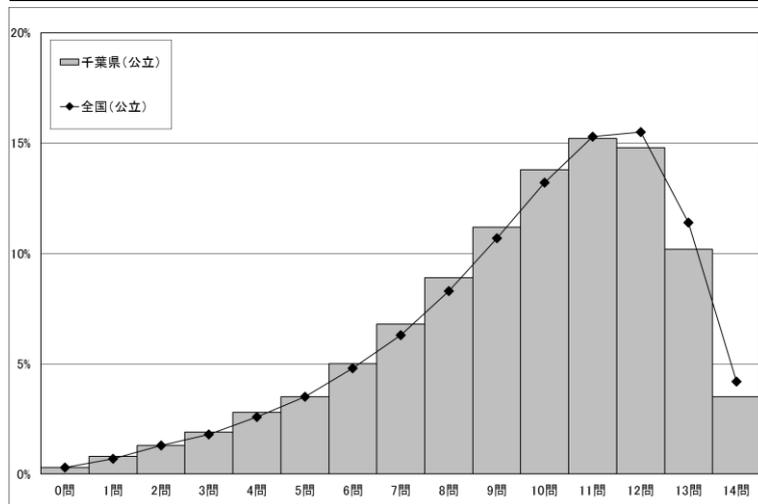
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数		千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
		373	9,340		44,396	891,820

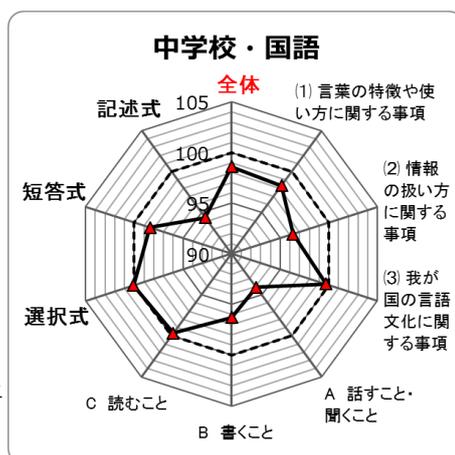
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			千葉県（公立）	全国（公立）	
全体			14	▼68	69.0
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	▼71.0	72.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	▼44.8	46.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	▼70.0	70.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	▼60.1	63.9
		B 書くこと	1	▼44.8	46.5
		C 読むこと	2	▼67.7	67.9
評価の観点	知識・技能	10	▼68.1	69.0	
	思考・判断・表現	6	▼60.1	62.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6		73.8	73.7
	短答式	5	▼69.2	70.3	
	記述式	3	▼54.2	57.4	

イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,396	9.5 / 14	68	10.0	2.9
全国（公立）	891,820	9.7 / 14	69.0	10.0	2.9



ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

中学校・国語		
	全体(活用)	指数
領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	98.3
	(2) 情報の扱い方に関する事項	96.3
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	99.7
	A 話すこと・聞くこと	94.1
	B 書くこと	96.3
	C 読むこと	99.7
問題形式	選択式	100.1
	短答式	98.4
	記述式	94.4

2 結果の詳細

工 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
		(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと												
1一	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する				1ウ			○			○		71.2	74.7	-3.5	4.3	3.8	0.5	
1二	論理の展開などに注意して聞く				2エ			○			○		64.2	65.1	-0.9	0.2	0.1	0.1	
1三	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	1ア			1ウ			○	○			○	45.0	51.8	-6.8	19.9	16.2	3.7	
2一	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	2オ						○					82.9	82.3	0.6	0.2	0.2	0.0	
2二①	文脈に即して漢字を正しく書く	2ウ						○					79.4	82.1	-2.7	10.3	8.8	1.5	
2二②		2ウ						○					79.3	80.5	-1.2	3.9	3.3	0.6	
2三	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く		1イ		1ウ			○	○				44.8	46.5	-1.7	9.8	9.0	0.8	
3一	表現の技法について理解する	1オ						○					53.7	52.5	1.2	0.7	0.7	0.0	
3二	事象や行為、心情を表す語句について理解する	1ウ						○					85.7	84.0	1.7	0.3	0.3	0.0	
3三	場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える					1イ		○					62.5	62.0	0.5	1.0	1.0	0.0	
3四	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する					1ウ		○					72.9	73.8	-0.9	14.4	13.3	1.1	
4一	行書の特徴を理解する			1エ(4)				○					40.7	39.4	1.3	1.1	0.9	0.2	
4二	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する			2ウ(7)				○					89.5	90.1	-0.6	1.1	1.0	0.1	
4三	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する			2ウ(7)				○					79.9	81.1	-1.2	1.3	1.1	0.2	

2 結果の詳細

才 課題のある設問

1三 (趣旨) 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第1学年〕 知識及び技能 (1) ア

思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと ウ

全国と千葉県との比較	
正答率 (%)	
全国	51.8
千葉県	45.0
自校	

無解答率 (%)	
全国	16.2
千葉県	19.9
自校	

全国 0.2%
千葉県 0.2%

【正答】解答類型2
「やりとりをスムーズに行いくという面もある」の部分の印象を強めるために、聞いている人たちを見渡しながらか話す。

【正答】解答類型1
「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。
私は、自分が一番伝えたいことに着目してもらうために、「この言葉を聞いてはつとしました。」のあとに少し間を取ります。

条件1 「川口さんのスピーチ」のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。
条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

1 スピーチをする(最近気になったこと)
三「二人の会話の一部」に「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

全国 51.7%
千葉県 44.8%

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

(正答の条件)

- 【川口さんのスピーチ】の中から、「オンラインで離れた場所にいる人と会話すること」という部分以外を具体的に取り上げて書いている。
- ①で取り上げた部分をどのように工夫して話すのかについて、以下のa、bの両方またはいずれかに着目して具体的に書いている。
 - 言葉の抑揚や強弱、間の取り方など音声での表現の仕方に着目した工夫。
 - 視線の方向など、a以外の話し方の工夫。
- ②のように話す意図を書いている。

解答類型	反応率 (%)
3 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの どうしてそのような工夫をするのか、意図を示していない。	全国 5.7 千葉県 5.2 自校 ()
4 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの どのように工夫するのか、具体的に示していない。	全国 3.9 千葉県 4.7 自校 ()
5 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの 【川口さんのスピーチ】のどの部分を工夫するのかを示していない。	全国 8.5 千葉県 8.8 自校 ()

音声の働きを意識し、意図的かつ具体的に話し方の工夫を考えるには

- ・「どこを」「どのように」工夫して話すと効果的なのかを考える指導をする。
- ・生徒が様々な話し方の工夫を知らせる。
- ・工夫の仕方を実際に行わせる(声に出して効果を確認める→助言し合う)。
- ・「話し方」として身に付くように指導する(学びの自覚)。

2 結果の詳細

才 課題のある設問

2三 (趣旨) 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる

(学習指導要領)〔第1学年〕 知識及び技能 (2) イ
思考力、判断力、表現力等 B 書くこと ウ

全国と千葉県との比較	
正答率 (%)	
全国	46.5
千葉県	44.8
自校	
無解答率 (%)	
全国	9.0
千葉県	9.8
自校	

▼「第1学年」知識及び技能(2)情報の扱い方の関する事項
イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。
《情報の整理》

…引用の際には、かぎ(「」)でくくることができ、出典を明示すること、引用部分が適切な量であることを示すことなどについて理解を深めることを求めている。
引用とは、本や文章の一節や文、語句などをそのまま抜き出すことである。
《中学校学習指導要領解説 国語編》47頁

・(例えば、)農林水産省の資料によると、「作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に」なったり、「農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。
・(例えば、)農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

(解答類型1) 正答

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの「コメントの一部」を踏まえて、「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、「スマート農業の効果を書き加えることになりました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
条件1 「農林水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ(「」)でくくることが。
条件2 「例えば、」に続けて書くこと。

解答類型別に誤答の反応率をみましょう!

【正答の条件】 次の条件を満たして解答している。

- ① 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から適切な情報を抜き出して書いている。
- ② 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくって書いている。
- ③ 「例えば、」に適切に続くように書いている。

解答類型4で満たしていないもの

解答類型	反応率 (%)
3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの 引用した部分を「」でくくることができていない。 「」でくくった部分が、資料から改変されている。	全国 40.2 千葉県 40.9 自校 ()

根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くには

- ・自分の考えを伝える文章を書かせる。←根拠を明確にして記述させる必要がある。
- ・根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどが考えられることを理解させて書かせる。
- ・引用の仕方を知らせる。
(引用とは…本や文章の一節や文、語句などをそのまま抜き出すことである。)
- ・引用の際は、①「」でくくることが、②出典を明示すること、③引用部分が適切な量であることを理解させる。
- ・出典の示し方を知らせる。本の奥付を確認させる。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

③ 小学校算数

ア 平均正答率

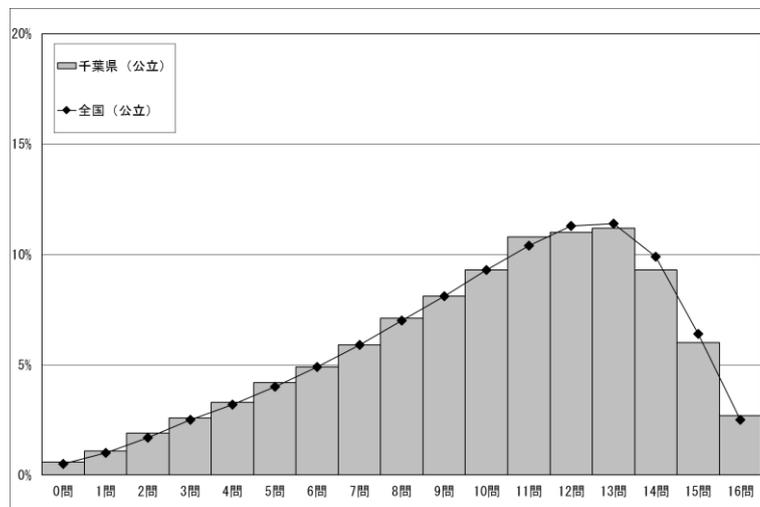
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
		752		18,667	

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			千葉県（公立）	全国（公立）	
全体			16	▼63	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	▼68.6	69.8	
	B 図形	4	64.2	64.0	
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	▼50.7	51.3	
評価の観点	D データの活用	3	▼68.5	68.7	
	知識・技能	9	▼67.8	68.2	
	思考・判断・表現	7	▼55.8	56.7	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	0			
	選択式	6	▼51.4	51.8	
	短答式	6	▼76.2	76.5	
	記述式	4	▼58.9	60.2	

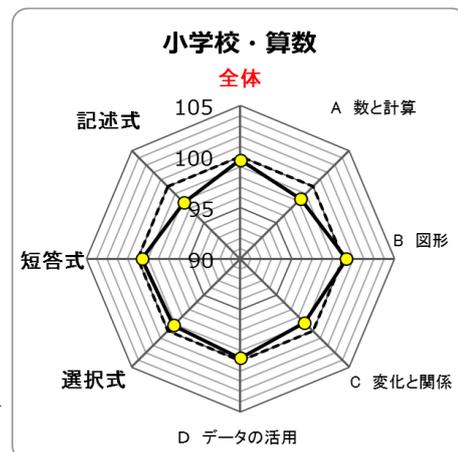
イ 正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	48,437	10.0 / 16	63	11.0	3.7
全国（公立）	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6



横軸：正答数
縦軸：児童の割合

ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

小学校・算数		
	全体(活用)	99.7
領域	A 数と計算	98.3
	B 図形	100.3
	C 測定	
	C 変化と関係	98.8
問題形式	D データの活用	99.7
	選択式	99.2
	短答式	99.6
	記述式	97.8

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1 (1)	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3 (1) 7 (7) 3 (3) 7 (イ) 4 (7) 7 (7)					○				○		92.1	92.4	-0.3	0.4	0.3	0.1
1 (2)	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5 (1) 7 (イ)					○				○		70.5	72.2	-1.7	3.3	3.0	0.3
1 (3)	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3 (4) イ (7) 4 (3) 7 (イ)					○				○		74.0	76.0	-2.0	6.3	5.2	1.1
1 (4)	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	4 (2) イ (7)					○			○			32.5	34.8	-2.3	0.9	0.9	0.0
2 (1)	百分率で表された割合を分数で表すことができる				5 (3) 7 (イ)		○				○		71.9	71.1	0.8	4.2	3.9	0.3
2 (2)	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる				5 (3) 7 (イ)		○				○		64.1	64.6	-0.5	3.7	3.3	0.4
2 (3)	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している				5 (3) 7 (ア)		○				○		20.5	21.4	-0.9	1.1	1.1	0.0
2 (4)	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる				5 (1) イ (7)		○				○		46.4	48.0	-1.6	6.0	5.5	0.5
3 (1)	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	4 (6) 7 (ア)				3 (1) 7 (ア)	○				○		75.3	75.3	0.0	2.3	2.1	0.2
3 (2)	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる					3 (1) イ (ア)	○				○		64.5	63.9	0.6	1.7	1.6	0.1
3 (3)	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる					5 (1) 7 (ア)	○				○		65.7	66.8	-1.1	2.2	2.2	0.0
3 (4)	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	4 (6) 7 (ア) イ (7)					○				○		66.9	67.7	-0.8	9.7	8.6	1.1
4 (1)	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3 (1) 7 (ア) 4 (5) 7 (ア) イ (7)					○				○		48.3	48.8	-0.5	3.8	3.8	0.0
4 (2)	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	2 (1) 7 (イ)					○				○		83.5	83.2	0.3	4.3	4.7	-0.4
4 (3)	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している	4 (1) 7 (イ)					○				○		66.8	66.5	0.3	4.1	4.6	-0.5
4 (4)	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	4 (1) 7 (イ) イ (7)					○				○		58.3	57.6	0.7	4.6	5.1	-0.5

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

2(3) (趣旨) 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる

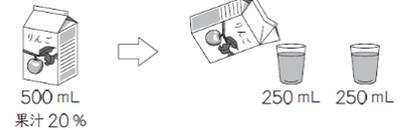
(学習指導要領)〔第5学年〕C 変化と関係 (3) ア (ア)

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。

この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。

250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにま

めます。



250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

正 答

全国と千葉県との比較

正答率(%)

全 国	21.4
千 葉 県	20.5
自 校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

解 答 類 型		反 応 率 (%)
1	<p>1 と解答しているもの</p> <p>果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量が$\frac{1}{2}$になると、同様に果汁の割合も$\frac{1}{2}$になると誤って捉えていると考えられる。</p>	<p>全 国 67.9</p> <p>千 葉 県 68.8</p> <p>自 校 ()</p>
2	<p>2 と解答しているもの</p> <p>果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量は$\frac{1}{2}$になるが、果汁の割合は2倍になると誤って捉えていると考えられる。</p>	<p>全 国 9.3</p> <p>千 葉 県 9.1</p> <p>自 校 ()</p>

日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

生活体験（飲み物を二つに等しく分けても、濃さは変わらない）を想起させる。
⇒「飲み物の量に対する果汁の量の割合は変わらない」と判断する活動を取り入れる。



・割合は、飲み物の濃さを表しており、量を半分にしても、濃さは変わらないため、割合も変わらないと考えられる。

2 結果の詳細

才 課題のある設問

4(1) (趣旨) 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる

(学習指導要領) [第3学年] B図形(1)ア(ア) [第4学年] B図形(5)ア(ア)・イ(ア)

全国と千葉県との比較

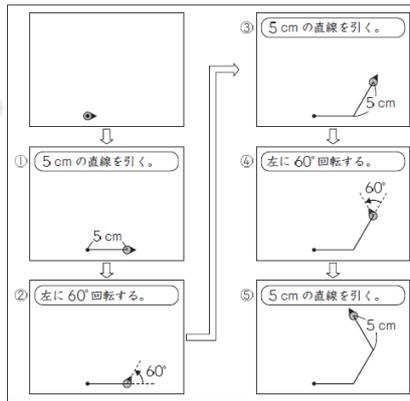
正答率 (%)	
全国	48.8
千葉県	48.3
自校	

無解答率 (%)	
全国	3.8
千葉県	3.8
自校	

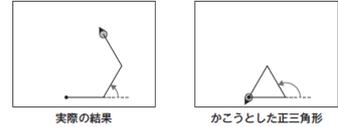
(1) はなこさんたちは、1辺が5 cmの正三角形をかこうとしています。

正三角形は、3つの辺の長さが等しくて、3つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

はなこさんは、正方形のプログラムをもとにして、正三角形をかためのプログラムをつくり、実行しました。



はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかこうできませんでした。



そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5 cmの直線を引く。
- ② 左に60°回転する。
- ③ 5 cmの直線を引く。
- ④ 左に60°回転する。
- ⑤ 5 cmの直線を引く。

5 cmの直線を引く。
左に60°回転する。
2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すよりですが、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

- ア 5 cmの直線を引く。
イ 左に60°回転する。

(正答例) 【記号】イ 【正しい命令】左に120°回転する。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

<正答の条件>記号をイと選び、次の①、②の全てを書いている。

- ① 回転する向きである左を表す言葉
- ② 回転する角の大きさである120°を表す数や言葉

	解答類型	反応率 (%)
4	①を書き、②について60°と書いているもの 回転する角の大きさについての命令を選ぶことができ、正三角形の角の大きさに着目し、回転する向きである左も記述できているが、回転する角の大きさについては誤って60°と記述している。	全国 7.1 千葉県 7.1 自校 ()
5	①について右と書き、②について60°と書いているもの 回転する角の大きさについての命令を選ぶことができ、正三角形の角の大きさに着目できているが、回転する向きについては右と記述しており、回転する角の大きさについては誤って60°と記述している。	全国 11.1 千葉県 11.1 自校 ()

図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察することができるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

試行錯誤させながら、回転する角の大きさを120°にする必要があることに気付かせ、その理由を説明できるようにする活動を取り入れる。



60°を120°に直すと、正三角形ができました。

どうして120°にすると正三角形ができるのでしょうか。



2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

④ 中学校数学

ア 平均正答率

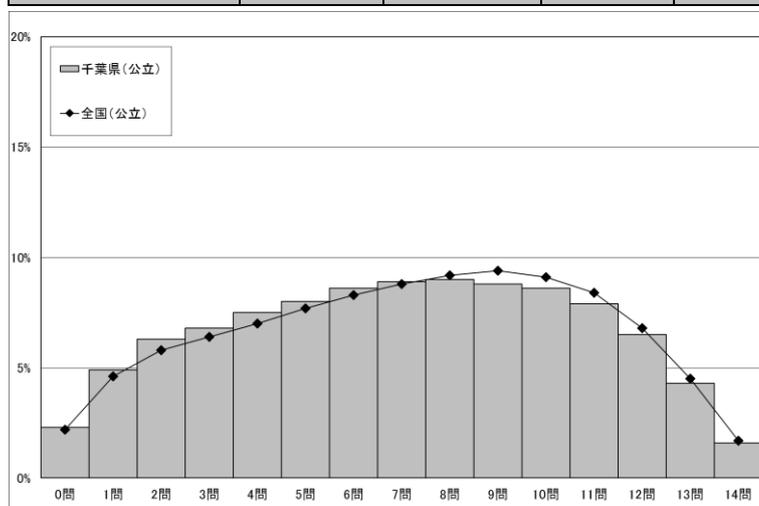
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
		373		9,339	44,402

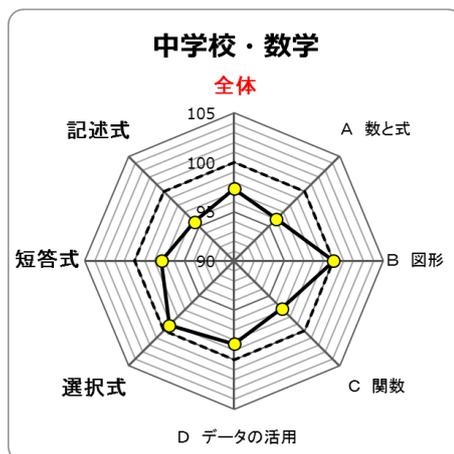
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体			▼50	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	▼55.1	57.4
	B 図形	3	43.6	43.6
	C 関数	3	▼42.2	43.6
	D データの活用	3	▼56.2	57.1
評価の観点	知識・技能	9	▼58.7	59.9
	思考・判断・表現	5	▼34.6	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	▼52.2	52.6
	短答式	5	▼63.9	65.7
	記述式	5	▼34.6	36.2

イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,402	7.0 / 14	50	7.0	3.6
全国（公立）	891,913	7.2 / 14	51.4	7.0	3.6



ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

中学校・数学		
	全体(活用)	97.3
領域	A 数と式	96.0
	B 図形	100.0
	C 関数	96.8
	D データの活用	98.4
問題形式	選択式	99.2
	短答式	97.3
	記述式	95.6

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1	自然数を素数の積で表すことができる	1(1) ア(イ)				○			○			45.6	52.2	-6.6	14.9	11.5	3.4
2	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2) ア(ウ)				○			○			73.5	74.5	-1.0	6.7	6.1	0.6
3	反例の意味を理解している		2(2) ア(イ)			○			○			45.3	44.9	0.4	0.4	0.4	0.0
4	一次関数の変化の割合の意味を理解している			2(1) ア(ア)		○			○			36.9	37.9	-1.0	0.4	0.4	0.0
5	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している				1(2) ア(ア)	○			○			83.1	83.3	-0.2	0.3	0.3	0.0
6(1)	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1) ア(イ)				○			○			73.9	73.8	0.1	6.7	6.0	0.7
6(2)	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ(イ)				○			○			45.7	48.7	-3.0	23.2	20.0	3.2
6(3)	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(1) イ(イ)				○			○			36.8	37.6	-0.8	29.6	26.2	3.4
7(1)	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1(1) イ(ア)	○			○			42.2	44.0	-1.8	1.4	1.4	0.0
7(2)	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる				2(1) ア(ア)	○			○			43.4	44.1	-0.7	0.8	0.7	0.1
8(1)	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1) ア(ウ) イ(イ)		○			○			53.3	54.6	-1.3	7.8	7.2	0.6
8(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1) イ(イ)		○			○			36.3	38.4	-2.1	27.5	24.4	3.1
9(1)	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している		2(2) ア(ア)			○			○			73.3	73.2	0.1	7.7	7.5	0.2
9(2)	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる		2(2) イ(イ)			○			○			12.1	12.5	-0.4	43.6	38.5	5.1

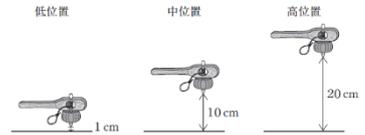
2 結果の詳細

オ 課題のある設問

7(2) (趣旨) 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる

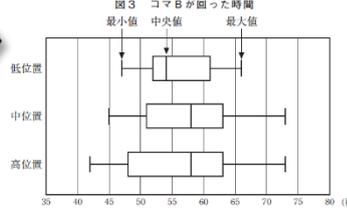
(学習指導要領) [第2学年] D データの活用 (1) ア (ア)

(2) 大地さんはコマAを、葉月さんはコマBを選びました。コマを回す練習をしていた葉月さんは、コマを回す高さによって回る時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、次の図のように、1 cmの高さを低位置、10 cmの高さを中位置、20 cmの高さを高位置として、それぞれの位置から20回ずつコマBを回し、コマBが回った時間のデータを位置ごとに集めました。そして、それぞれのデータの散らばりの程度を比較するために箱ひげ図をつくりました。



全国と千葉県との比較

正答率(%)	
全国	44.1
千葉県	43.4
自校	



葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

正答

ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

解答類型		反応率(%)
2	イ と解答しているもの データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きいと捉えたと考えられる。	全国 8.9 千葉県 9.2 自校 ()
3	ウ と解答しているもの データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さいと捉えたと考えられる。	全国 39.1 千葉県 39.4 自校 ()
4	エ と解答しているもの データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きいと捉えたと考えられる。	全国 7.2 千葉県 7.2 自校 ()

データの傾向を読み取って、統計的に問題解決することができるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

- 必要なデータを処理させる。
- データの傾向を捉えさせる。
(話し合う活動を取り入れる。)
- 批判的に考察し判断できるようにする。
(根拠はふさわしいか、結論は妥当かなど、批判的に考察できるように指導する。)



作った箱ひげ図から、どのようなことが分かりますか。

低位置は、他と比べて中央値が小さいよ。

低位置で回すと、中位置や高位置で回すときより、コマが回る時間は安定しそうだね。



低位置は、第3四分位数や最大値も小さいよ。あまり長い時間回らないのかな。

箱の横の長さは低位置が一番短くて、高位置が一番長くなっているね。

2 結果の詳細

才 課題のある設問

8(2) (趣旨) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる

(学習指導要領) [第1学年] C 関数 (1) イ (イ)

全国と千葉県との比較

正答率 (%)

全国 38.4

千葉県 36.3

自校

無解答率 (%)

全国 24.4

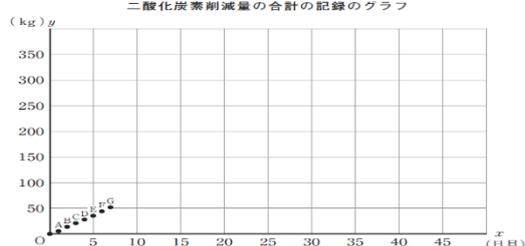
千葉県 27.5

自校

(2) 愛理さんは、7日目までの取り組みの結果から、目標を達成できるのがおよそ何日目になるかを予測することになりました。

そこで、下の二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフにおいて、原点Oから点Gまでの点が一直線上にあるとし、このまま同じように取り組みを続け、二酸化炭素削減量の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。

このとき、目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。



解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

< 正答の条件 1 グラフを用いることについて記述している場合 > 次の(a) (b)を全て記述している

(a) 直線のグラフをかいて利用すること **用いるもの**

(b) y座標が300のときのx座標を読むこと **用い方**

< 正答の条件 2 式を用いることについて記述している場合 > 次の(c) (d)を全て記述している

(c) 比例の式又は一次関数の式を求めて利用すること **用いるもの**

(d) $y=300$ を代入してxの値を求めること **用い方**

< 正答の条件 3 表や数値を用いることについて記述している場合 > 次の(e) (f)を全て記述している

(e) 表や数値を用いて割合を求めて利用すること **用いるもの**

(f) 二酸化炭素削減量の合計が300kgになる日数を算出すること **用い方**

	解答類型	反応率 (%)
3	(a)のみを記述しているもの(「直線」についての記述が十分でないものを含む)	全国 9.2
	(例1)直線を引いてグラフを読み取る。 (例2)原点Oから点Gまでの点をつないだ直線を300kgのところまで延長させる。	千葉県 8.5
		自校 ()
12	(e)のみを記述しているもの(「割合」についての記述が十分でないものを含む)	全国 13.5
	(例1)5日で37.8kgだから、それをもとに求めるとよい。 (例2)1日に約7kgの二酸化炭素が削減できているので、7をたしていく。	千葉県 13.6
		自校 ()

問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

グラフを用いて問題解決する場合、直線をかいて得られたグラフ(「用いるもの」と、y座標が300のときのx座標を読むこと(「用い方」)の両方を明確化し、問題解決の方法を的確に説明する活動などを取り入れる。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

③ 小学校理科

ア 平均正答率

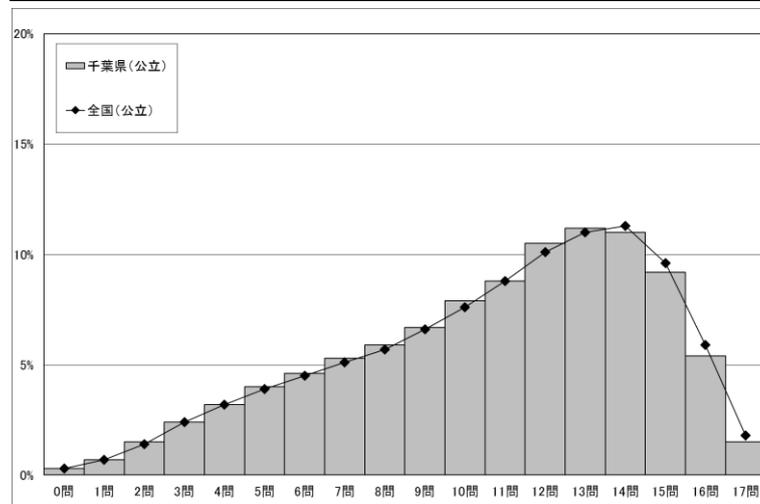
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	752	18,601		48,465	965,761

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			千葉県（公立）	全国（公立）	
全体			17	▼63	63.3
学習指導要領の区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	▼50.6	51.6
		「粒子」を柱とする領域	5	60.5	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	▼74.5	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	▼63.9	64.6
評価の観点	知識・技能		6	▼62.3	62.5
	思考・判断・表現		11	▼63.0	63.7
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		11	▼66.5	66.8
	短答式		3	66.2	66.2
	記述式		3	▼45.9	47.3

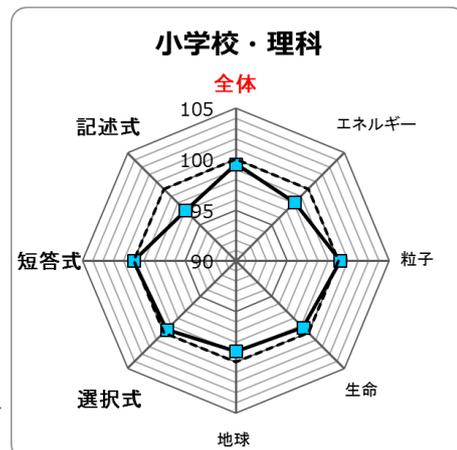
イ 正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	48,465	10.7 / 17	63	11.0	3.8
全国（公立）	965,761	10.8 / 17	63.3	11.0	3.8



横軸：正答数
縦軸：児童の割合

ウ 指数



小学校・理科		
	全体(活用)	指数
領域	「エネルギー」を柱とする領域	98.1
	「粒子」を柱とする領域	100.2
	「生命」を柱とする領域	99.3
	「地球」を柱とする領域	98.9
問題形式	選択式	99.6
	短答式	100.0
	記述式	97.0

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

2 結果の詳細

工 各設問の結果

※ : 課題となるもの

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A区分		B区分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
		「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域												
1(1)	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる			3B (1)ア (ア) (イ)*		○		○			93.0	92.9	0.1	0.2	0.2	0.0	
1(2)	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			3B (1)ア (イ)*		○		○			67.2	67.5	-0.3	5.5	5.0	0.5	
1(3)	昆虫の体のつくりを理解している			3B (1)ア (イ)		○		○			71.7	73.1	-1.4	0.3	0.3	0.0	
1(4)	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			3B (1)ア (ア) (イ)*		○		○			75.9	76.1	-0.2	0.7	0.7	0.0	
1(5)	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			3B (1)ア (ア) (イ)*		○		○			64.9	65.5	-0.6	1.5	1.4	0.1	
2(1)	メスシリンダーという器具を理解している			5A (1)ア (ウ)		○		○			69.0	67.8	1.2	10.5	9.8	0.7	
2(2)	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている			4A (2)ア (ウ)		○		○			70.6	70.0	0.6	0.7	0.6	0.1	
2(3)	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる			4A (2)ア (ウ) 5A (1)ア (ウ)*		○		○			64.2	62.8	1.4	0.9	1.0	-0.1	
2(4)	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			4A (2)ア (ウ) 5A (1)ア (ウ)*		○		○			36.8	39.3	-2.5	10.0	8.7	1.3	
3(1)	日光は直進することを理解している	3A (3)ア (ア)				○		○			26.7	27.8	-1.1	0.6	0.6	0.0	
3(2)	問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している	3A (3)ア (ア) (イ)				○		○			74.3	74.4	-0.1	1.2	1.3	-0.1	
3(3)	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	3A (3)ア (ア) (イ)*		3B (2)ア (ア)*		○		○			67.9	68.9	-1.0	5.5	5.1	0.4	
3(4)	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	3A (3)ア (ア) (イ)*				○		○			33.6	35.1	-1.5	12.3	11.2	1.1	
4(1)	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			4B (4)ア (ア)*		○		○			82.9	82.3	0.6	0.9	1.0	-0.1	
4(2)	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる			4B (4)ア (ア)*		○		○			61.5	64.5	-3.0	1.1	1.3	-0.2	
4(3)	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			4B (4)ア (ア)*		○		○			45.2	45.5	-0.3	7.1	6.5	0.6	
4(4)	水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している	4A (2)ア (ウ)		4B (4)ア (イ)		○		○			61.7	62.0	-0.3	6.6	6.2	0.4	

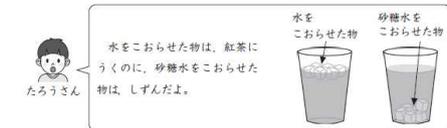
2 結果の詳細

オ 課題のある設問

2(4) (趣旨) 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる

(学習指導要領) [第4学年] A 物質・エネルギー (2) ア (ウ)
[第5学年] A 物質・エネルギー (1) ア (ウ)

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとしずみました。



砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけました。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を一つ書きましょう。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)		無解答率 (%)	
全国	39.3	全国	8.7
千葉県	36.8	千葉県	10.0
自校		自校	

(正答例)

- ・ほかの水よう液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか。
- ・ミョウバンをとかした水よう液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

< 正答の条件 >

砂糖水以外の水溶液を凍らせた物が、水(紅茶)などの液体に、沈む(浮く)のかどうかを問うことを示す趣旨で解答しているもの

解答類型	反応率 (%)
<p>6 水溶液を凍らせた物を対象として、液体に沈む(浮く)現象自体を問うことを示す内容で記述しているもの (例:なぜ、砂糖水をこおらせたものは水にしずむのか)</p> <p>現象そのものについて問う内容で記述していることから、自然の事物・現象から得た情報を分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題があると考えられる。</p>	<p>全国 8.3</p> <p>千葉県 9.4</p> <p>自校 ()</p>
<p>7 水溶液を凍らせていない物を対象として、液体に沈む(浮く)のかどうかを問うことを示す内容で記述しているもの (例:トマトをこおらせた物は、水にしずむのだろうか)</p> <p>水溶液を凍らせた物を対象としていない内容で記述していることから、自然の事物・現象や他者の気付きを基に、分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題があると考えられる。</p>	<p>全国 12.1</p> <p>千葉県 12.2</p> <p>自校 ()</p>

自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにするには

自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合わせる中で、自分や他者の気付きを捉えさせ、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を設定する。

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

3(4) (趣旨) 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる

(学習指導要領) [第3学年] A 物質・エネルギー (3) ア (ア) (イ)

【問題】

はね返した日光を水の入ったかんにあてると、何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

実験の【結果】は、下の表のようになりました。

【結果】

(かんの色による水の温度の変化)				
かんの色	時間	0分	20分後	40分後
黒		24℃	28℃	32℃
赤		24℃	27℃	29℃
青		24℃	27℃	30℃
白		24℃	25℃	26℃



【問題】に対するまとめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4) はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上【結果】を使って書きましよう。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)		無解答率 (%)	
全国	35.1	全国	11.2
千葉県	33.6	千葉県	12.3
自校		自校	

(正答例)

黒色のかんの水の温度は、40分後には32℃で、ほかの色のかんの水の温度よりも高いから。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

< 正答の条件 > 次の①、②、③、④の全てを記述している

- ① 結果のうち、黒色の缶、または、それ以外の缶の色について言及する趣旨で解答しているもの
- ② 結果のうち、時間について言及する趣旨で解答しているもの
- ③ 結果のうち、缶の水の温度について言及する趣旨で解答しているもの
- ④ 缶の水の温度を比較することを示す趣旨で解答しているもの

解 答 類 型		反 応 率 (%)
6	①④を記述しているもの 例: 黒色のかんが一番温度が高くなるから	全国 19.3 千葉県 20.0 自校 ()
10	結果を用いず、原因を示す内容で記述しているもの 例: 黒色は光を吸収するから。	全国 19.5 千葉県 19.7 自校 ()
99	解答類型1~10以外の内容で記述しているもの 例: はね返した日光を水の入ったかんに当てると、黒色のかんの中の水の温度が高くなった。	全国 6.2 千葉県 6.4 自校 ()

実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題があると考えられる。

観察、実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えを作り出すことができるようにするには結果を事実として分析して、解釈し、それを結論の根拠として表現できるようにすることが重要である。

例えば「問題に対するまとめを行う際」には、次のような学習活動が考えられる。

- ① 結果を具体的な数値として学級内で共有させる。
- ② 何を結論の根拠としているのかを明らかにさせる。
- ③ より妥当な考えを導き出させる。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

④ 中学校理科

ア 平均正答率

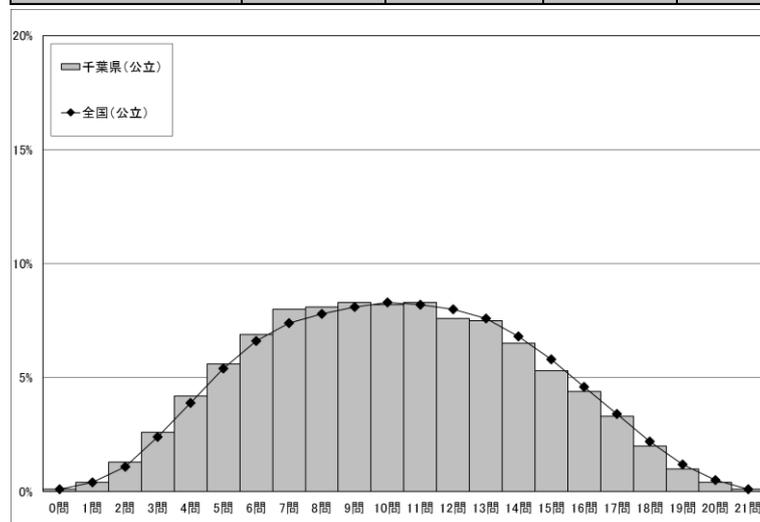
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	千葉県(公立)	全国(公立)
	373	9,337		44,411	892,585

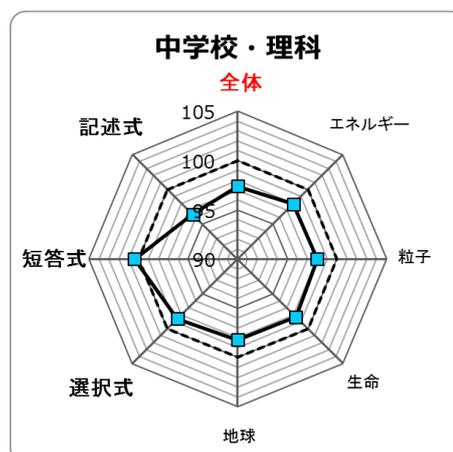
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			千葉県(公立)	全国(公立)
全体		21	▼48	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	▼41	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	▼49.9	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	▼56.9	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	▼43.5	44.3
評価の観点	知識・技能	7	▼45.1	46.1
	思考・判断・表現	14	▼50	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	15	▼48.9	49.6
	短答式	1	24.9	24.8
	記述式	5	▼51.6	53.5

イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	44,411	10.2 / 21	48	10.0	4.1
全国(公立)	892,585	10.4 / 21	49.3	10.0	4.1



ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

中学校・理科		
	全体(活用)	97.4
領域	「エネルギー」を柱とする領域	97.9
	「粒子」を柱とする領域	98.0
	「生命」を柱とする領域	98.3
	「地球」を柱とする領域	98.2
問題形式	選択式	98.6
	短答式	100.4
	記述式	96.4

2 結果の詳細

Ⅰ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
		「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1(1)	日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(3) (ア)				○			○			43.9	44.2	-0.3	0.1	0.1	0.0
1(2)	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	(3) (ア)				○			○			78.0	78.5	-0.5	0.1	0.1	0.0
2(1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる				(4) (ア)	○			○			54.4	54.2	0.2	0.2	0.2	0.0
2(2)	継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる				(4) (イ)	○			○			39.9	40.8	-0.9	0.3	0.3	0.0
2(3)	飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる				(4) (イ)	○			○			27.5	28.5	-1.0	0.3	0.3	0.0
3(1)	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる				(4) (イ)	○			○			76.4	80.1	-3.7	0.1	0.1	0.0
3(2)	水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる				(4) (イ)	○			○			57.8	60.2	-2.4	0.3	0.3	0.0
3(3)	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	(3) (ア)	(4) (イ)			○			○			24.9	24.8	0.1	4.8	4.3	0.5
4(1)	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと動きを分析して解釈できるかどうかをみる				(1) (イ)	○			○			72.6	74.5	-1.9	5.7	5.5	0.2
4(2)	複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格についての共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる				(1) (イ)	○			○			66.1	65.6	0.5	0.2	0.2	0.0
5(1)	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	(1) (イ)				○			○			16.0	15.3	0.7	0.2	0.2	0.0
5(2)	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (イ)				○			○			43.4	45.0	-1.6	0.5	0.4	0.1
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる	(1) (イ)				○			○			39.6	43.3	-3.7	32.9	29.4	3.5
6(1)	玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる				(2) (ア)	○			○			45.4	48.0	-2.6	0.3	0.3	0.0
6(2)	過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる				(2) (イ)	○			○			60.3	60.3	0.0	0.6	0.6	0.0
6(3)	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる				(2) (イ)	○			○			33.8	34.2	-0.4	0.8	0.7	0.1
7(1)	液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(2) (ウ)				○			○			36.6	35.9	0.7	0.4	0.4	0.0
7(2)	実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる	(2) (ウ)				○			○			53.7	53.4	0.3	1.2	1.0	0.2
8(1)	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる	(3) (ウ)				○			○			53.1	55.2	-2.1	13.3	11.6	1.7
8(2)	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる	(3) (ウ)				○			○			54.2	55.1	-0.9	16.9	14.9	2.0
8(3)	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる	(1) (イ)				○			○			38.5	39.2	-0.7	1.4	1.4	0.0

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

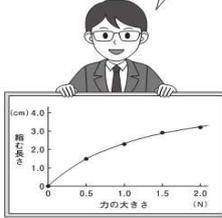
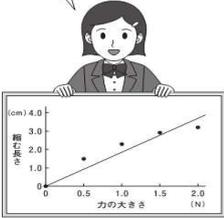
5(3) (趣旨) 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる

(学習指導要領) 第1分野 (1) 身近な物理現象 (イ) ㉞

グループで個人の考察を検討している場面

グラフが原点を通る直線になるので、比例すると考えます。

グラフは原点を通るけれど、直線にはならないので、比例しないと考えます。



測定値が足りないため、どちらの考えが妥当か判断できません。

(3) 下線部について、測定値をどのように増やせばよいか、【実験の計画】の「加える力の大きさを0から0.5Nずつ2.0Nまで変化させた」の部分参考にして書きなさい。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全国	43.3
千葉県	39.6
自校	

無解答率 (%)	
全国	29.4
千葉県	32.9
自校	

(正答例)

- ・加える力の大きさを0Nから0.2Nずつ2.0Nまで変化させる。
- ・加える力の大きさを2.0Nから0.5Nずつ4.0Nまで変化させる。
- ・加える力の大きさを3.0Nにして測定する。

解答類型別に誤答の反応率をみましょう！

<正答の条件> 次の(a)と(b)の両方、又は(c)を満たし、測定値を増やしているもの

- 刻み幅を数値で示している
- 測定する範囲を数値で示している
- 2.0Nより大きい力で、1点又は2点の測定値を示している

解答類型		反応率 (%)
1	刻み幅を数値で示しているもの	全国 5.1 千葉県 5.8 自校 ()
2	測定する範囲を数値で示しているもの	全国 3.1 千葉県 3.5 自校 ()
5	(a) ~ (c)のいずれも満たしていないが、加える力の大きさに関して数値を示していないもの	全国 6.7 千葉県 6.9 自校 ()
6	(a) ~ (c)のいずれも満たしていないが、ノートの記事に関するもの	全国 7.8 千葉県 6.9 自校 ()
99	解答類型1~6以外の内容で記述しているもの (単位の未記入や測定する力の大きさを具体的に示していないもの 等)	全国 4.6 千葉県 4.4 自校 ()

測定する間隔と範囲の両方に着目して具体的に数値を示して実験の計画をすることができていないと考えられる。

測定値を増やして実験することは理解しているが、具体的に数値を示した実験を計画できていないと考えられる。

加える力の大きさを具体的に示して実験を計画することができていないと考えられる。

考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善できるようにするには

- 考察の妥当性を高めるために、**実験結果の処理**について振り返らせ、**実験の計画**を検討して改善させる。
- 測定値の不足から妥当性の高い考察が行えない場合、測定する間隔や範囲などの**改善点を明確化させ、それらを基に実験の計画**を検討して改善させる。

2 結果の詳細

オ 課題のある設問

8(2) (趣旨) 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる

(学習指導要領) 第2分野 (3) 生物の体のつくりと働き (ウ) ①

【結果の予想】

嗅覚による情報をもとにしていれば、操作Aは行列をつくらず、操作Bは行列をつくるだろう。

予想と異なる結果が出る場合について考える場面

もし、【結果の予想】と異なり、操作Aも操作Bも行列をつくる結果になった場合は、どのように考えればよいですか。



私は、嗅覚による情報をもとにしていないと考えます。

私は、アリの種類を変えて同じ操作で確かめるとよいと考えます。

私は、操作Aで、 ことができなかったのではないかと考えます。

(2) に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)		無解答率 (%)	
全国	55.1	全国	14.9
千葉県	54.2	千葉県	16.9
自校		自校	

(正答例) ・においを消す。
・十分に板の間隔をとる。
・十分に地面を手でこする。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

<正答の条件> においを取り除く(消す)ことについて記述しているもの

解 答 類 型		反 応 率 (%)	
4	他の条件や、条件の制御と関係のない操作について解答しているもの	全国	1.0
		千葉県	1.0
		自校	()
99	解答類型1~4以外の内容で記述しているもの (図から読み取ったアリの行列の様子について記述しているもの 等)	全国	29.1
	結果に影響を与える観察、実験の操作や条件の制御などを検討することができていない。	千葉県	27.9
		自校	()

観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法を検討し、探究の過程の見通しをもつことができるようにする

- 問題を見いだして課題を設定し、科学的に探究する上で、課題を解決するまでの探究の過程について見通しを持たせる。
- 実験の計画を立案する場面で**予想や仮説と異なる結果が出る場合を想定させ、探究の方法について検討する**学習場面を設定する。
- 話し合い活動を通して、課題を解決するために適切な探究の方法を確認する**ことで、観察、実験の基本的な技能を身に付けさせる。

2 結果の詳細

(2) 質問紙調査

千葉県の課題...児童生徒質問紙調査・学校質問紙調査ともに、肯定的な回答の割合が全国に比べ低いものが多い状況です。ここでは、学習指導の改善・充実に関連する質問を取り上げて課題を示しました。

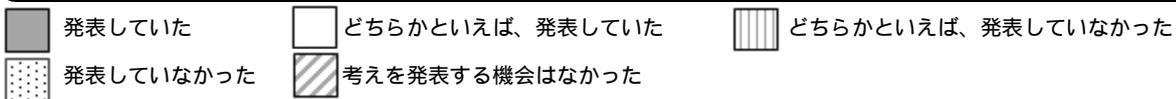
質問紙の活用...自校の肯定的回答を千葉県や全国と比較して、課題を明確にし、自校の実態に応じた対策を講じていくことができます。この他にも、各項目のテーマを参考に、自校の実態を明らかにしていくことができます。

(本書「質問紙調査回答結果集計データ」参照)

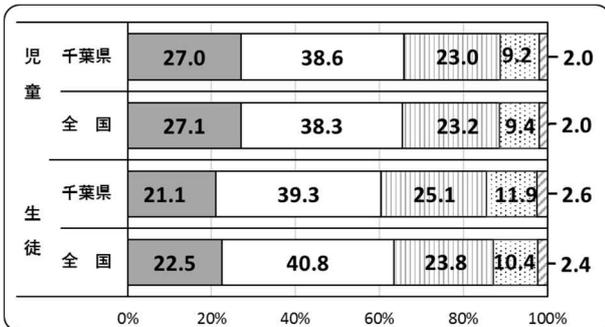
①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

児童 38~44 / 生徒 38~44
学校 23~32

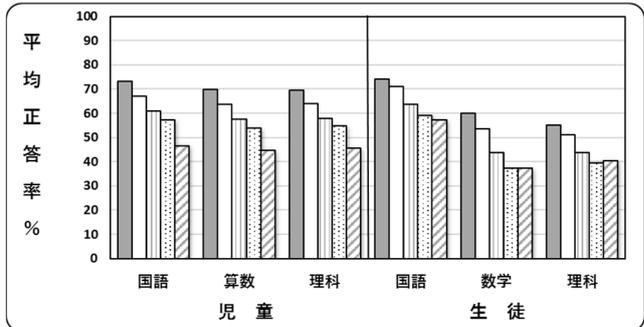
【児童生徒質問紙 3 8】前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県



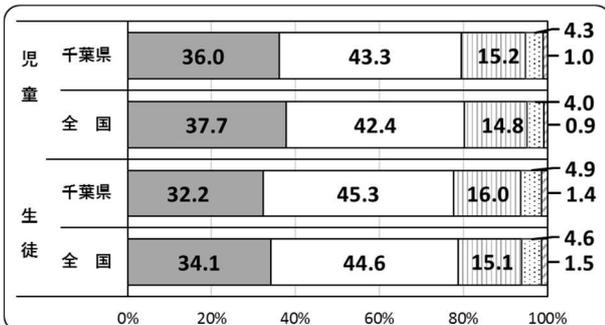
肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。(自校...)

肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。(自校...)

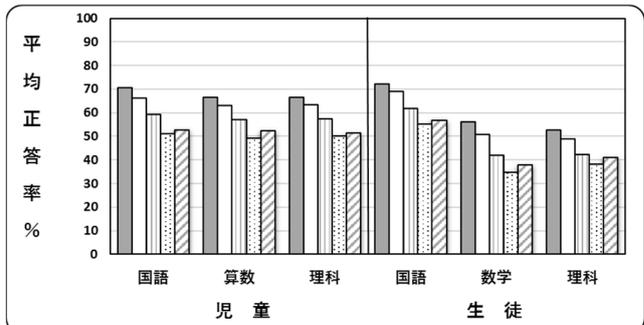
【児童生徒質問紙 4 3】学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。(自校...)

肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。(自校...)

2 結果の詳細

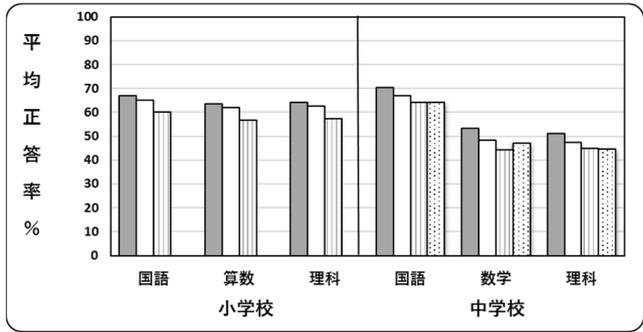
【学校質問紙2 3】調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県

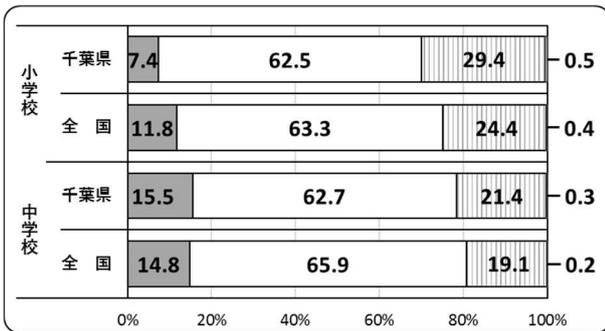


肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校...)
 肯定的回答をしている学校ほど、正答率が高い傾向にある。 (自校...)

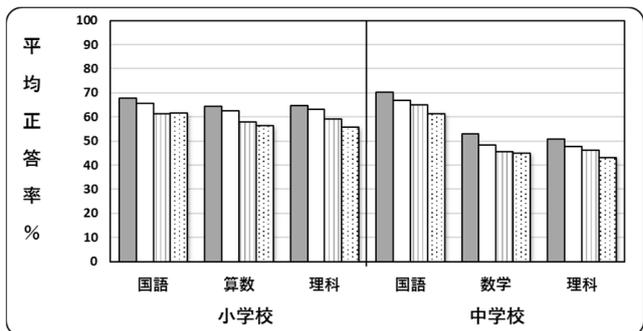
【学校質問紙2 4】調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

そう思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない

R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県

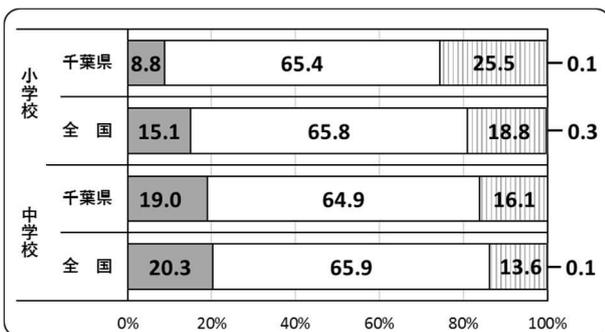


肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校...)
 肯定的回答をしている学校ほど、正答率が高い傾向にある。 (自校...)

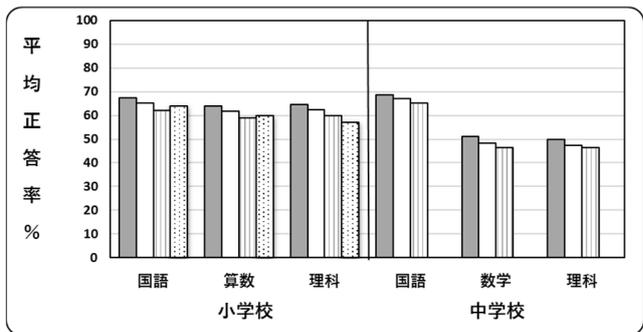
【学校質問紙2 6】調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県



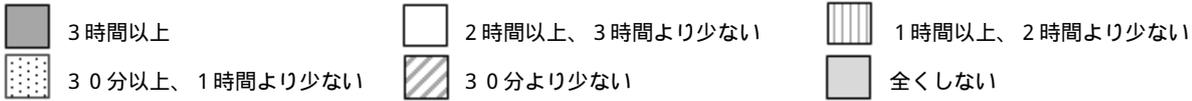
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校...)
 肯定的回答をしている学校ほど、正答率が高い傾向にある。 (自校...)

2 結果の詳細

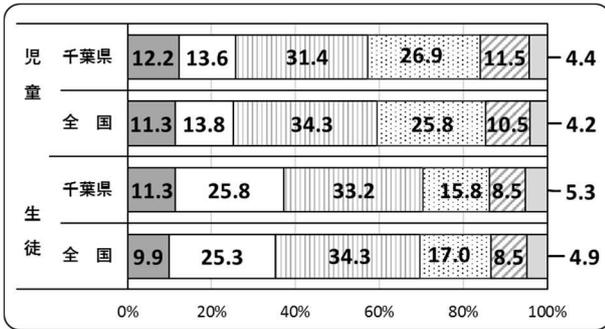
② 学習時間の状況(学習習慣・学習環境等)

児童 19~26 / 生徒 19~26

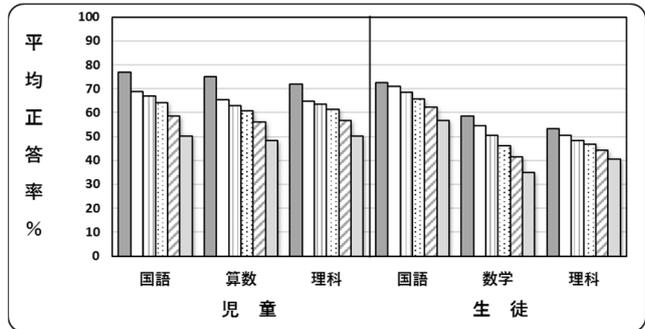
【児童生徒質問紙 2 1】学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



R 4 全国との比較

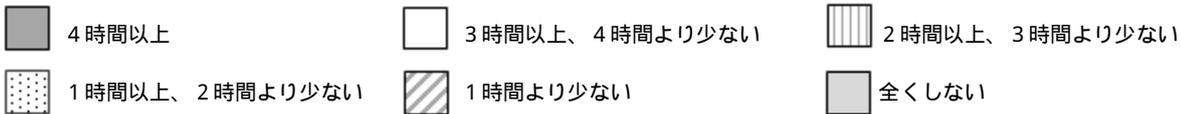


R 4 回答結果と正答率の関連_本県

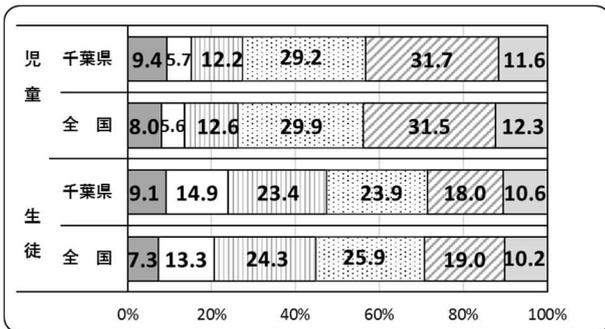


- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日) 1日当たり1時間以上学習している児童生徒の割合が、児童は全国に比べて低く、生徒は全国に比べて高い。(自校...)
- ・平日の学習時間が長い児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。(自校...)

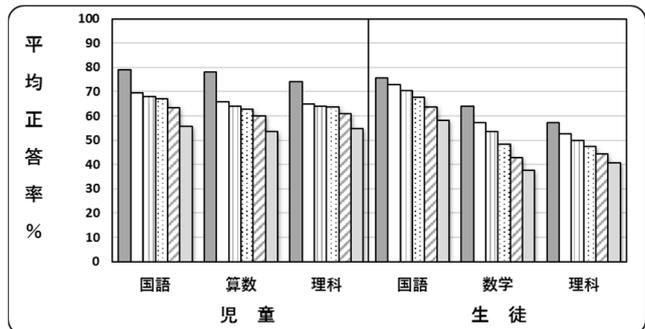
【児童生徒質問紙 2 2】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県



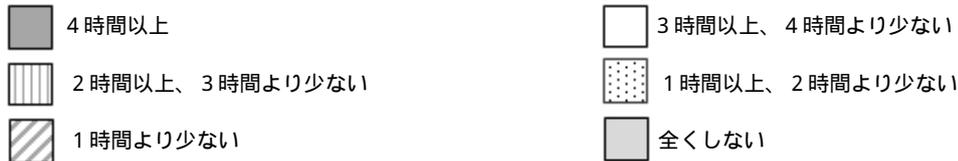
- ・学校が休みの日に、2時間以上学習している児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。(自校...)
- ・休日の学習時間が長い児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。(自校...)

2 結果の詳細

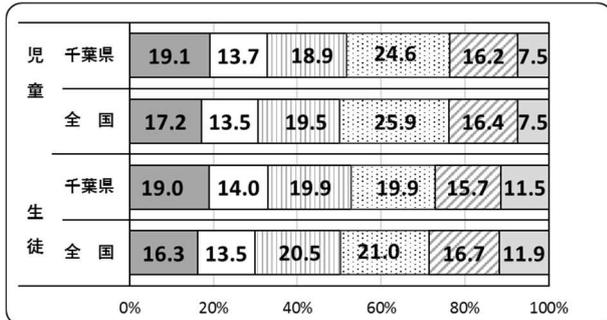
③ ゲームやSNS・動画視聴の状況(基本的生活習慣等)

児童 1~6 / 生徒 1~6

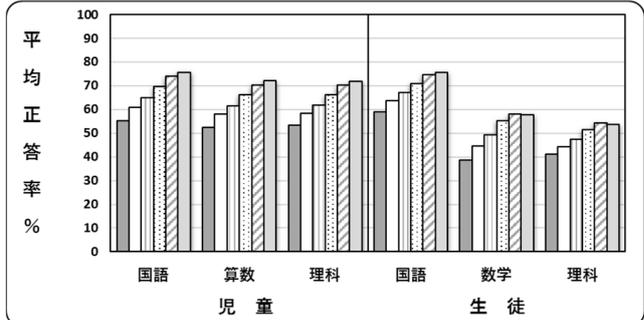
【児童生徒質問紙 5】 普段(月曜日から金曜日) 1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



R 4 全国との比較

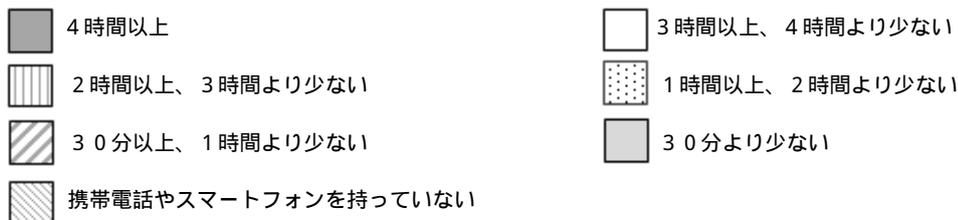


R 4 回答結果と正答率の関連_本県

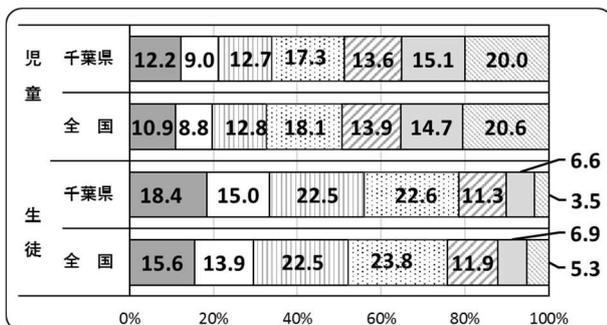


- ・ 普段(月曜日から金曜日) 1日当たり1時間以上、テレビゲームをしている児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。(自校...)
- ・ 平日にテレビゲームをしている時間が長い児童生徒ほど、正答率が低い傾向にある。(自校...)

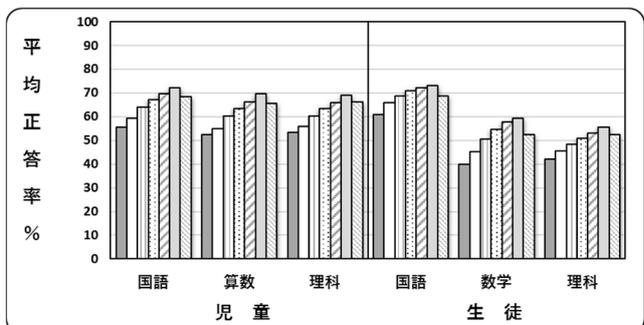
【児童生徒質問紙 6】 普段(月曜日から金曜日) 1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



R 4 全国との比較



R 4 回答結果と正答率の関連_本県



- ・ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上、SNSや動画視聴などをしている児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。(自校...)
- ・ 平日にSNSや動画視聴などをしている時間が長い児童生徒ほど、正答率が低い傾向にある。(自校...)

2 結果の詳細

④ICTを活用した学習状況

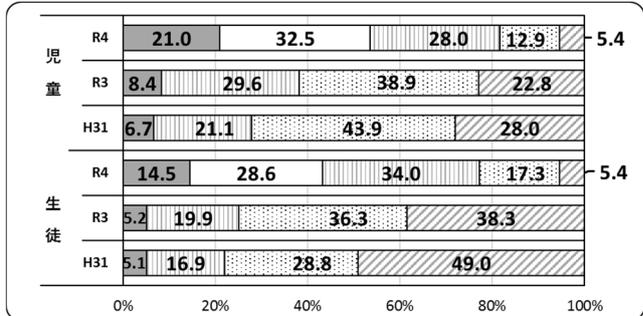
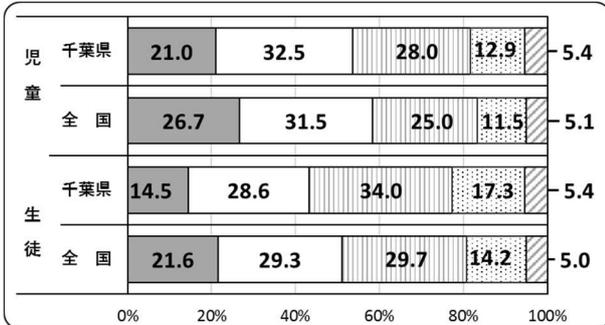
児童 32～37 / 生徒 32～37
 小学校 56～67 / 中学校 54～65

【児童生徒質問紙32】5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

〈R4 全国との比較〉

〈経年変化_本県〉



※平成31年度及び令和3年度においては、「ほぼ毎日」、「週1回以上」、「月1回以上」、「月1回未満」の選択肢であったため、「週3回以上」と回答した児童生徒がいない。

- ・前年度までの授業で「ほぼ毎日」ICT機器を使用した児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。(自校…)
- ・前回及び前々回調査の結果と比較して、児童、生徒ともに、授業でICT機器の使用頻度が増加している。(自校…)

【学校質問紙59(小)57(中)】調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

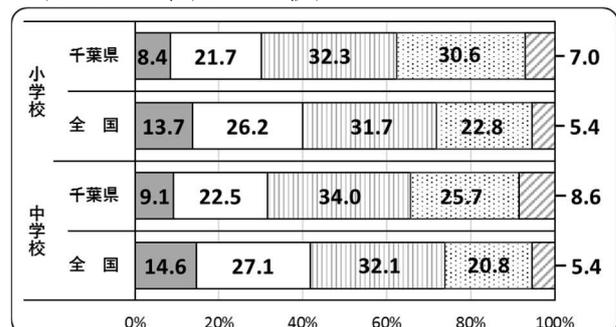
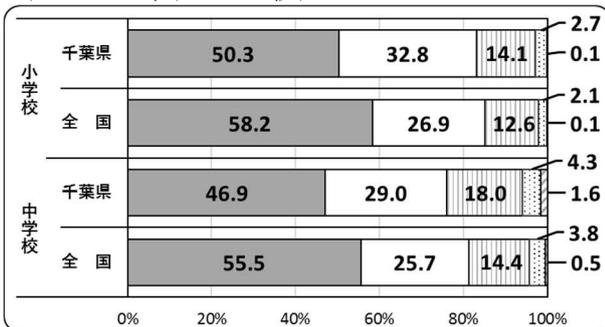
【学校質問紙61(小)59(中)】調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

〈R4 全国との比較〉

〈R4 全国との比較〉



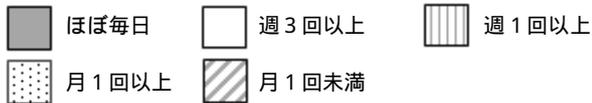
※令和4年度調査において新規に行った質問

※令和4年度調査において新規に行った質問

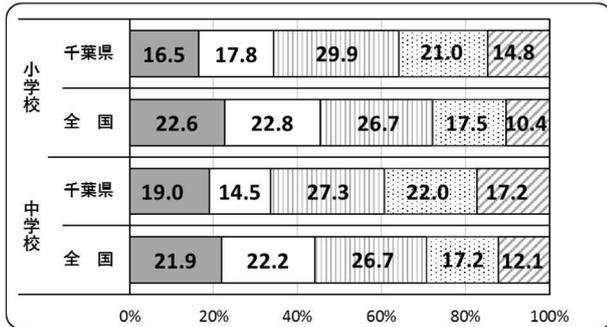
- ・調査対象学年の児童〔生徒〕に対する、PC・タブレットなどのICT機器の活用について、「ほぼ毎日」と回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。(自校…)
- ・調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でのICT機器の使用について、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。(自校…)

2 結果の詳細

【学校質問紙 6 2 (小) 6 0 (中)】教職員と調査対象学年の児童〔生徒〕がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備された P C ・タブレットなどの I C T 機器をどの程度使用させていますか

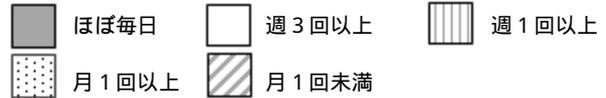


R 4 全国との比較

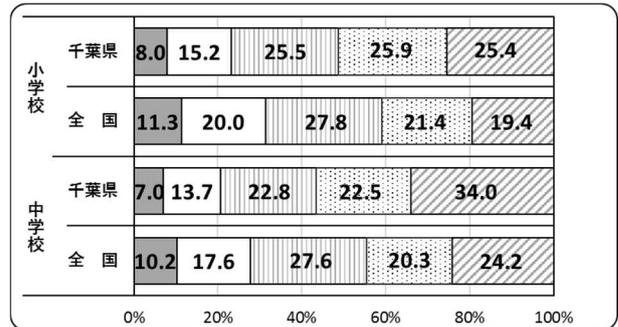


令和4年度調査において新規に行った質問

【学校質問紙 6 3 (小) 6 1 (中)】調査対象学年の児童〔生徒〕同士がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備された P C ・タブレットなどの I C T 機器をどの程度使用させていますか



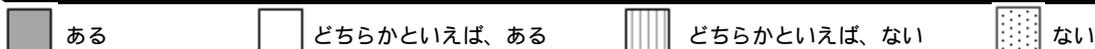
R 4 全国との比較



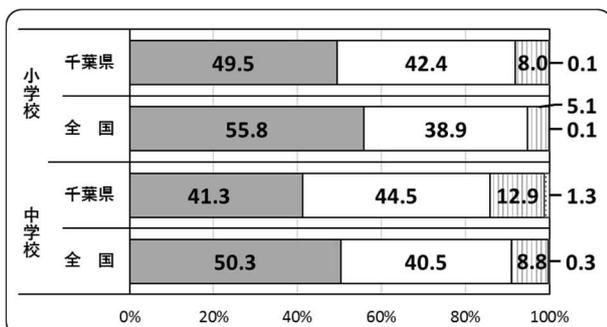
令和4年度調査において新規に行った質問

- ・教職員と調査対象学年の児童〔生徒〕がやりとりする場面での I C T 機器の使用について、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。(自校...)
- ・調査対象学年の児童〔生徒〕同士がやりとりする場面での I C T 機器の使用について、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。(自校...)

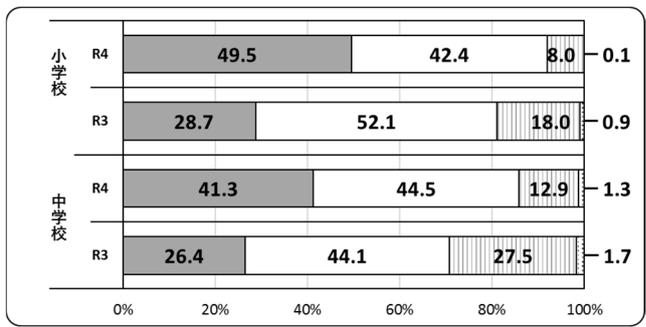
【学校質問紙 5 7 (小) 5 5 (中)】教員がコンピュータなどの I C T 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



R 4 全国との比較



経年変化_本県



- ・ I C T 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会について、肯定的な回答をした学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。(自校...)
- ・ 前回調査の結果と比較して、 I C T 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会について、肯定的な回答をした学校の割合が、小学校、中学校ともに増加している。(自校...)

2 結果の詳細

5 記述の指導に関する状況(国語科の指導方法)

小学校 / 中学校 39 ~ 42

【学校質問紙 4 1 (小)】調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか

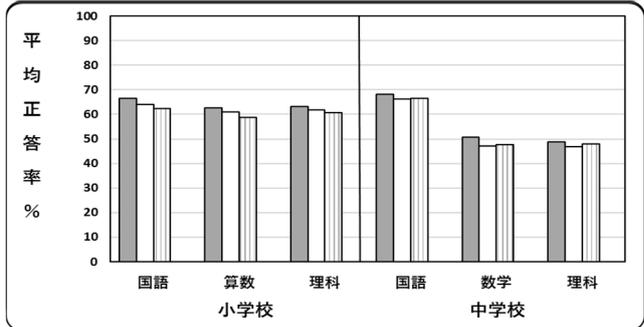
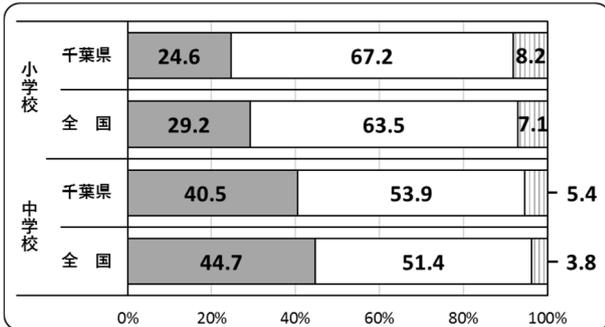
【学校質問紙 4 1 (中)】調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか

よく行った どちらかといえば、行った

あまり行わなかった 全く行わなかった

R 4 全国との比較

R 4 回答結果と正答率の関連_本県



肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校...)

「よく行った」と回答した学校ほど、正答率が高い傾向にある。 (自校...)

6 探究型の指導に関する状況(理科の指導方法)

小学校 50 ~ 55 / 中学校 49 ~ 53

【学校質問紙 5 2 (小)】調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか

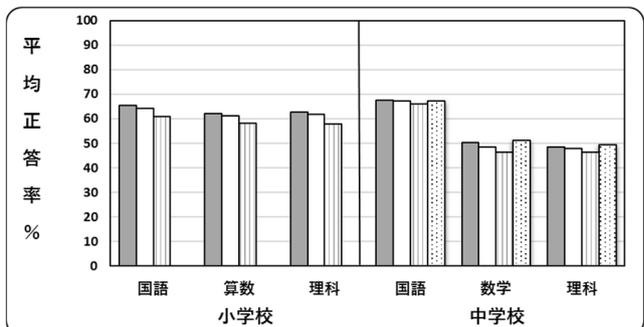
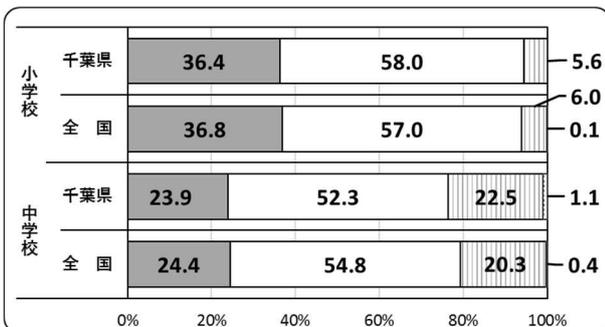
【学校質問紙 5 1 (中)】調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか

よく行った どちらかといえば、行った

あまり行わなかった 全く行わなかった

R 4 全国との比較

R 4 回答結果と正答率の関連_本県



肯定的回答の割合が、小学校は全国と同等、中学校は全国より低い。 (自校...)

「よく行った」と回答した学校ほど、正答率が高い傾向にある。 (自校...)

2 結果の詳細

⑦全国学力・学習状況調査の結果の活用

小学校 80～82 / 中学校 78～80

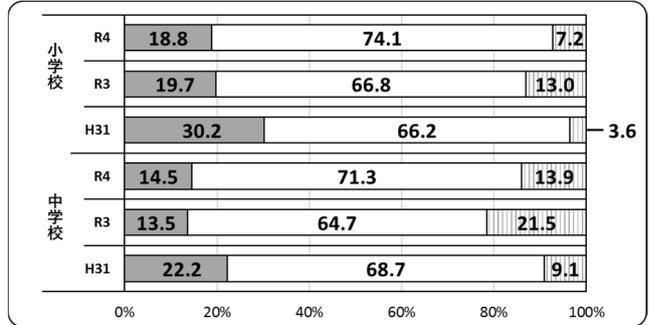
【学校質問紙 80 (小) 78 (中)】令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

よく行った 行った ほとんど行わなかった

〈R4 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉

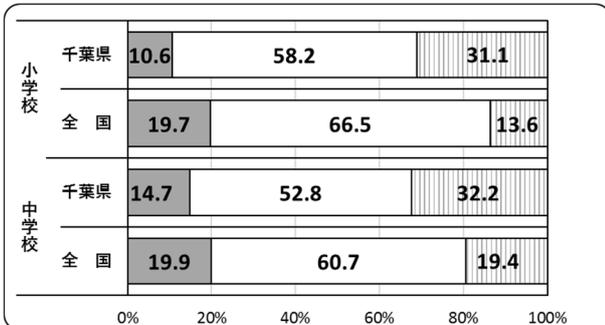


- ・ 肯定的な回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校…)
- ・ 前回調査の結果と比較して、小学校、中学校ともに、肯定的な回答の割合が増加している。 (自校…)

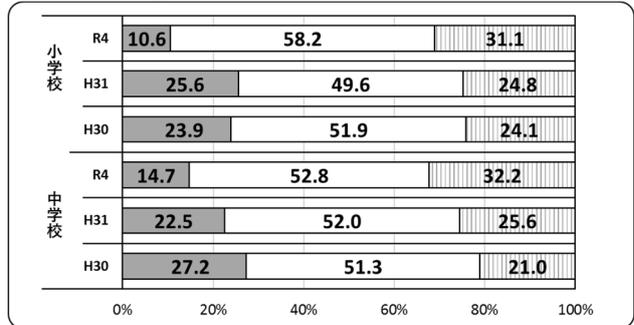
【学校質問紙 82 (小) 80 (中)】令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

よく行った 行った ほとんど行わなかった

〈R4 全国との比較〉

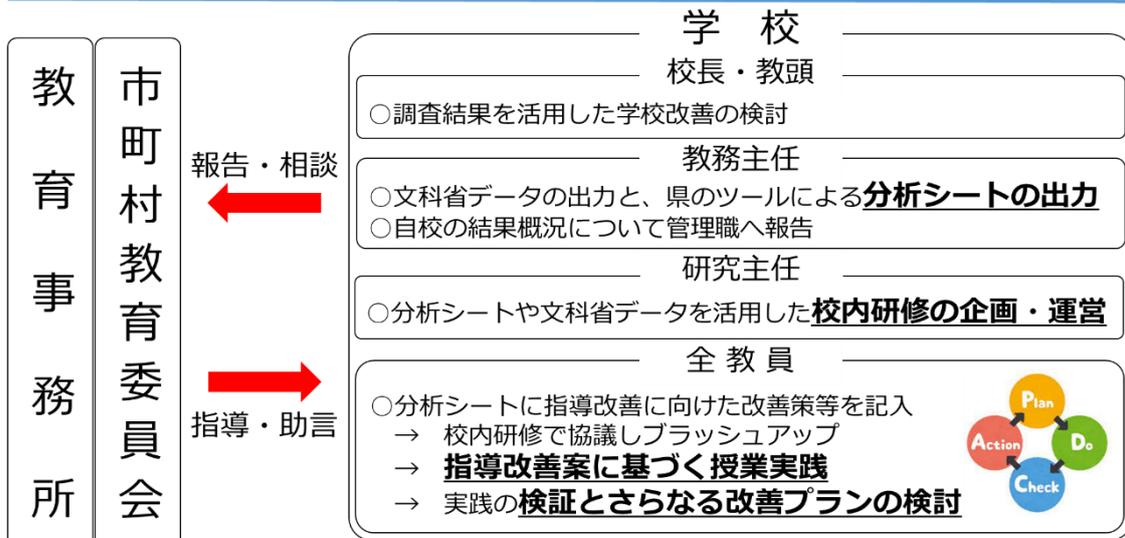


〈経年変化_本県〉



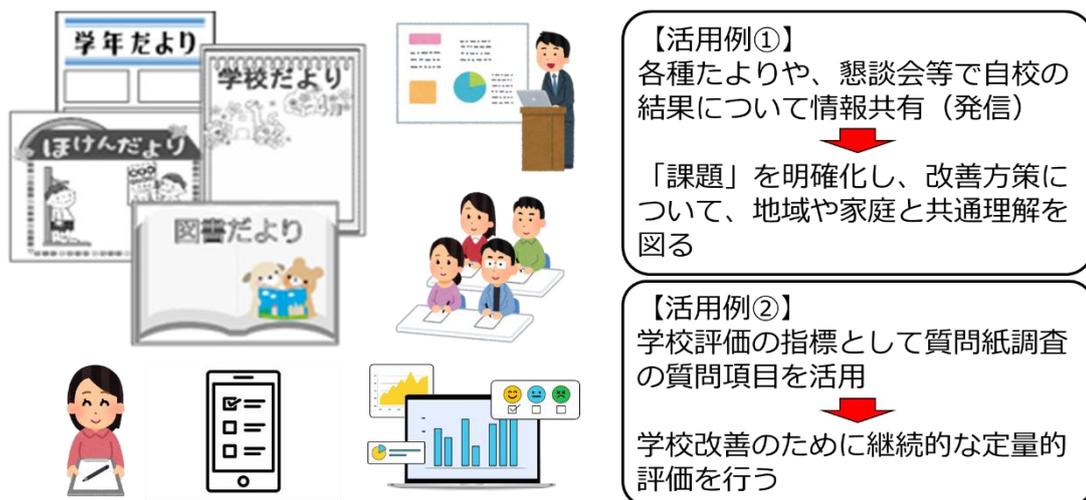
- ・ 肯定的な回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。 (自校…)
- ・ 前回調査の結果と比較して、小学校、中学校ともに、肯定的な回答の割合が減少している。 (自校…)

全国調査の分析・活用に係る校内体制の整備

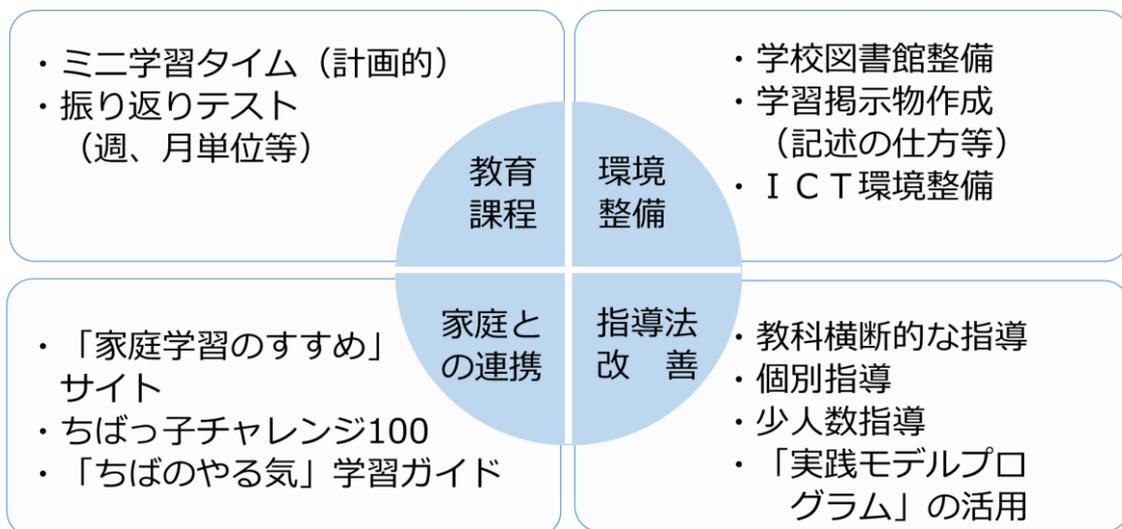


※あくまでモデルであり、学校や地域の実態に応じた最適な体制整備が重要

地域・家庭との連携や学校改善に向けた活用例



記述の力を付けるための取組例

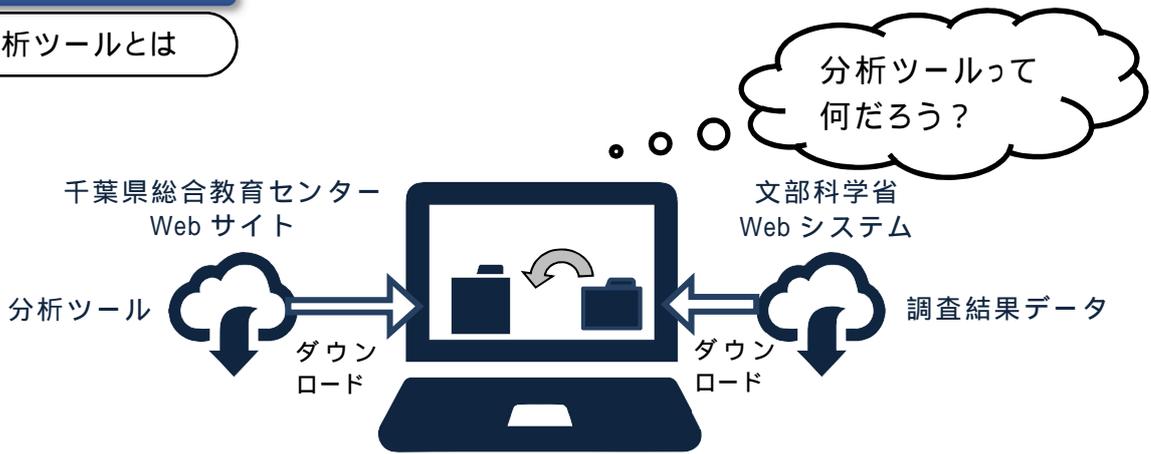


県の分析ツールの活用について

- 1 分析ツールについて
- 2 4つの分析シートの活用について

1 分析ツールについて

(1) 分析ツールとは



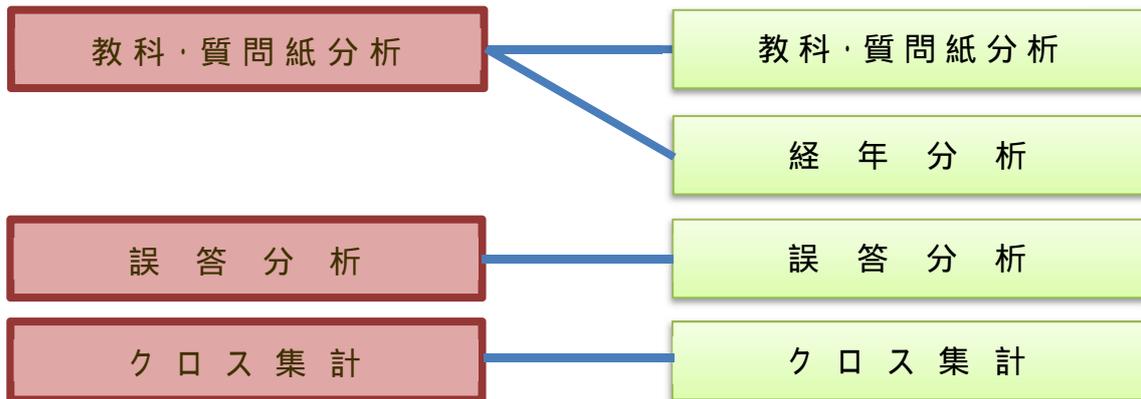
《分析ツールとは》

文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化して、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と、課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援する自動計算ソフトです。

分析ツールの構成

3種のツール

4つのシート



各シートは両面印刷を行うことによって、1枚で印刷されます。指導改善を行うには、この4つの分析シートを活用することが大切です。

ここからダウンロードします！

(2) 分析ツールの入手方法

千葉県総合教育センターのWebサイト(<https://www.ice.or.jp/nc/>)

(トップページ > 調査・研究 > 全国学力・学習状況調査 > 令和4年度調査)



分析ツールをダウンロードする際に必要なパスワードは、令和4年8月24日付事務連絡を御覧ください。

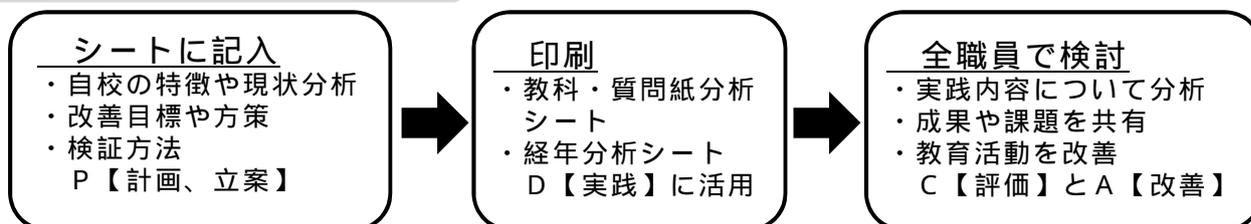
「分析ツール」ダウンロードのほか、授業改善のヒントとなるリンクページを紹介しています。県教育委員会「ちばっ子チャレンジ100」「『ちばのやる気』学習ガイド」ほか国立教育政策研究所「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料」「授業アイデア例」ほか印刷して活用できる素材や授業アイデアなどの情報収集に役立ちます。

1 分析ツールについて

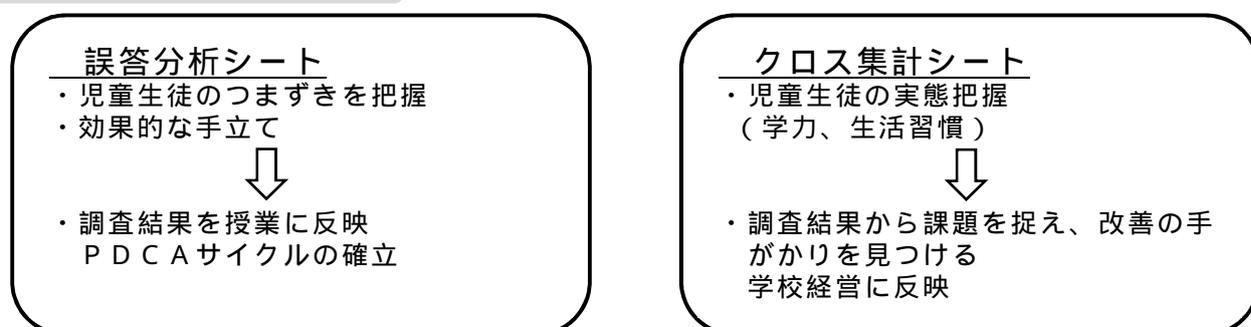
(3) 分析ツールの活用場面

全国学力・学習状況調査について、自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有することが大切です。調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善することが学校現場に求められています。

① 職員会議や校内研修での活用



② 授業の指導改善での活用



先生方の指導力が向上すれば、児童生徒の理解も深まります。授業者個人の教科指導だけでなく、学校全体の研究主題の設定に役立てることもできます。

③ 保護者や地域との連携で活用

各教科の状況や、生活習慣、学習習慣などの現状や課題、改善策を示したりするなど、結果だけでなく、因果関係につながる分析を行って伝えるようにすることも大切

家庭や地域との連携に活用できます。学校だよりやホームページ、保護者会の資料、学校評価などにも結果を掲載することで、保護者や地域の方々に対して、学校の取組に対する理解や協力を得ることに役立てられます。

④ 小学校と中学校の連携で活用

合同研修や小学校からの引継ぎ事項、成果や課題の共有が大切

小学校教育と中学校教育の連携に活用できます。分析シートを使って互いの指導の成果や課題や、児童生徒の実態についてなど、情報の共有を行うこともできます。

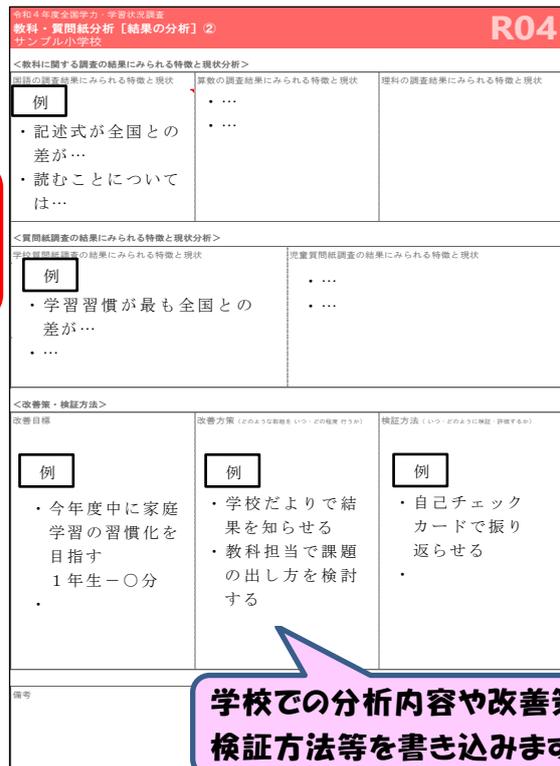
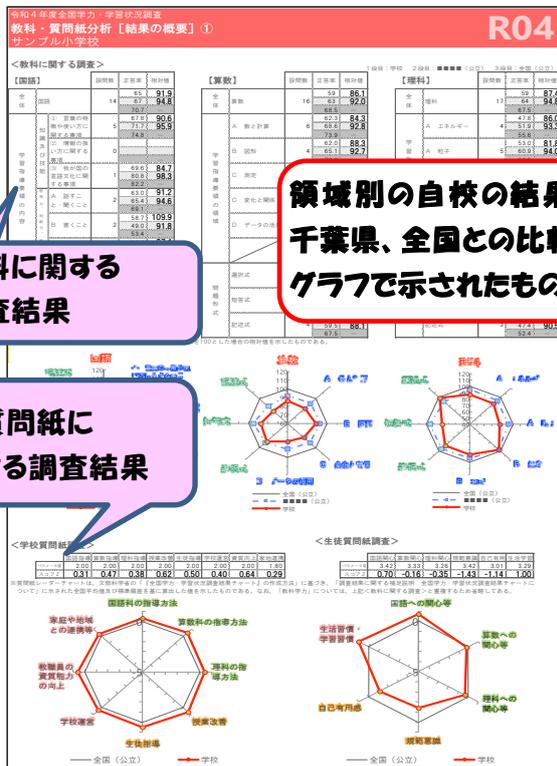
2 4つの分析シートの活用について

(1) 教科・質問紙分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）や質問紙（児童生徒質問紙、学校質問紙）の結果がチャート図に示されます。多角形の形状や面積に着目して、課題がみられる項目や成果を確認することができます。さらに、過去の調査結果を同時に読み込ませることにより、経年変化をみることができ、指導改善の成果を確認することができます。

表

裏



教科に関する調査結果

領域別の自校の結果と千葉県、全国との比較がグラフで示されたもの

各質問紙に関する調査結果

学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込みます

☆表面には、教科に関する調査の結果が領域別に数値の表とレーダーチャートで表示されます。裏面には、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

※全国調査が実施されなかった令和2年度分については作成できませんが、本年度、昨年度及び平成31年度までのものは、それぞれの年度の教科・質問紙分析ツールを使うと作成できます。

教科に関する調査

☆全国（公立）の平均正答率を100として、教科ごとに「出題内容」、「学習指導要領の領域等」、「問題形式」の各区分の平均正答率を相対値で示したもの
→区分ごとに調査結果の傾向と課題を把握

2 4つの分析シートの活用について

質問紙に関する調査

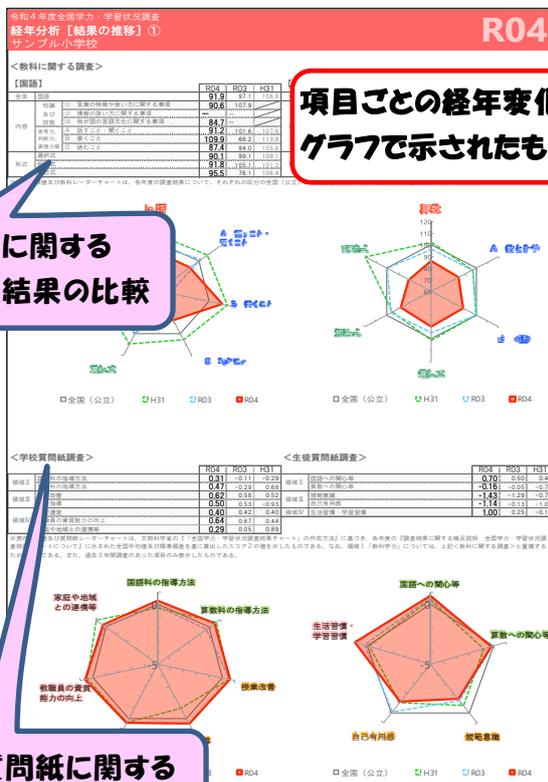
☆児童生徒質問紙調査で全国（公立）の平均値を下回っている領域や、質問紙調査結果のレーダーチャートで低くなっている領域を中心に、文部科学省から送付された「報告書」で領域に含まれる質問内容を確認
→領域ごとの調査結果の傾向と課題を把握
クロス集計ツールを用いて学力との相関を把握

☆学校質問紙調査の結果で示された学校・教員の意識や取組と、児童生徒質問紙調査の結果で示された児童生徒の関心や態度を対比して分析することも効果的です。

(2) 経年分析シート

表

裏



教科に関する調査結果の比較

各質問紙に関する調査結果の比較

経年分析【結果の分析】②	
サンプル小学校	
<p><教科に関する調査の結果にみられる成果と課題></p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述式の全国との差が徐々にひらいている ・読むことがびてきた 	<p>算数の調査結果にみられる成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・... ・...
<p><質問紙調査の結果にみられる成果と課題></p> <p>学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己有用感が高くなっている ・地域との連携は... 	<p>児童質問紙調査の結果にみられる成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・... ・...
<p><改善策・検証方法></p> <p>改善目標</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述式の無解答をテストで〇%減らしていく 	<p>改善方法（どのような取組をいつ・どの程度行うか）</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で...
<p>検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導を振り返って、身に返っているか... ・校内研修でノート指導について評価する... 	
備考	

学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込みます

☆表面のレーダーチャートで指導改善の成果等进行分析することができます。裏面は、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。
☆「経年分析【3年（または2年）】」シートには、それぞれのレーダーチャートについて、本年度調査、令和3年度調査及び平成31年度調査の3年分（または今年度調査及び令和3年度調査の2年分）を重ねて示しています。
→指導改善の取組に対して、成果が現れているかを確認します。

2 4つの分析シートの活用について

(3) 誤答分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）に関する調査で、課題がみられた項目や設問について、解答類型ごとの反応率を分析することができます。

表

設問番号		設問の概要																																																																																																												
算数 4[4]	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ																																																																																																													
解答の状況	[正答率] 学校 69.6% ■■■■ (82) 61.3% 全国(公立) 63.5% [誤解答率] 学校 4.3% ■■■■ (82) 4.4% 全国(公立) 4.4%																																																																																																													
正答の条件																																																																																																														
設問の概要																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">解答類型</th> <th colspan="4">上段・解答者数</th> <th colspan="4">下段・解答者数の割合(%)</th> </tr> <tr> <th>A層</th> <th>B層</th> <th>C層</th> <th>D層</th> <th>A層</th> <th>B層</th> <th>C層</th> <th>D層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 と解答しているもの</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>4.3</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>2 と解答しているもの</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>3 と解答しているもの</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>21.7</td> <td>26.1</td> <td>17.4</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>4 と解答しているもの</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>4.2</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>5 と解答しているもの</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>4.3</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>99 上記以外の解答</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>0 無解答</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table>				解答類型	上段・解答者数				下段・解答者数の割合(%)				A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層	1 と解答しているもの	0	0	1	4	0.00	0.00	4.3	13.7	2 と解答しているもの	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	3 と解答しているもの	5	6	4	1	21.7	26.1	17.4	4.3	4 と解答しているもの	0	1	0	0	0.00	4.2	0.00	0.00	5 と解答しているもの	0	0	1	0	0.00	0.00	4.3	0.00	6									7									8									99 上記以外の解答	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0 無解答	0	0	0	1	0.00	0.00	0.00	4.3
解答類型	上段・解答者数				下段・解答者数の割合(%)																																																																																																									
	A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層																																																																																																						
1 と解答しているもの	0	0	1	4	0.00	0.00	4.3	13.7																																																																																																						
2 と解答しているもの	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																						
3 と解答しているもの	5	6	4	1	21.7	26.1	17.4	4.3																																																																																																						
4 と解答しているもの	0	1	0	0	0.00	4.2	0.00	0.00																																																																																																						
5 と解答しているもの	0	0	1	0	0.00	0.00	4.3	0.00																																																																																																						
6																																																																																																														
7																																																																																																														
8																																																																																																														
99 上記以外の解答	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																						
0 無解答	0	0	0	1	0.00	0.00	0.00	4.3																																																																																																						

出題の趣旨

解答の状況

設問の概要

解答類型と反応率

誤答率に注目

「10%以上に注目する」など、実態に応じて目安とする数値を決め、課題として分析できます

解答類型別に改裝の割合がグラフで示されたもの

校内研修等、学校全体で分析し、課題や方策を共有しましょう

裏

設問番号		設問の概要																							
算数 4[4]	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ																								
出題の趣旨	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる																								
学習指導要領における領域・内容	<p>【第4学年】B 図形 (1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けること ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平行四辺形、ひし形、台形について知る。 イ 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること。 (イ) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方、その性質を基に既習の図形を戻し直すこと。</p>																								
学習指導要領における領域・内容																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>解答類型</th> <th>反応率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>99</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table>				解答類型	反応率	1	4.3%	2	0.0%	3	21.7%	4	4.2%	5	4.3%	6	0.0%	7	0.0%	8	0.0%	99	0.0%	0	4.3%
解答類型	反応率																								
1	4.3%																								
2	0.0%																								
3	21.7%																								
4	4.2%																								
5	4.3%																								
6	0.0%																								
7	0.0%																								
8	0.0%																								
99	0.0%																								
0	4.3%																								
解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>解答類型</th> <th>特徴とつまずき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>誤答率が高いため、図形の構成要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>99</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				解答類型	特徴とつまずき	1	誤答率が高いため、図形の構成要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	2		3		4		5		6		7		8		99		0	
解答類型	特徴とつまずき																								
1	誤答率が高いため、図形の構成要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる																								
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
99																									
0																									
学習指導の改善方策																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>改善方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにする</td> </tr> <tr> <td>また、辺の数や辺の長さ、角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の手順からどのような図形ができるかについて判断したり、作図の仕方を、筋道を立てて説明したりすることができるようにする</td> </tr> </tbody> </table>				改善方策	図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにする	また、辺の数や辺の長さ、角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の手順からどのような図形ができるかについて判断したり、作図の仕方を、筋道を立てて説明したりすることができるようにする																			
改善方策																									
図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにする																									
また、辺の数や辺の長さ、角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の手順からどのような図形ができるかについて判断したり、作図の仕方を、筋道を立てて説明したりすることができるようにする																									
関連する過去問題																									
関連する問題	H19A 6(2) H27B 1(3)	H21A 5(3)	H21B 1(2) H22A 7 H26A 6 H27B 1(1) H27B 1(2)																						

【例①】

示された三つの角の大きさのうち二つの角の大きさが等しいことや、長さの等しい二つの辺があることを基に、二等辺三角形であると判断していると考えられる など

【例②】

図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにする
 また、辺の数や辺の長さ、角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の手順からどのような図形ができるかについて判断したり、作図の仕方を、筋道を立てて説明したりすることができるようにする など

実態把握や定着度を図ることや、評価にも役立てられます

【表面】

- ☆上段 ・シートに示されている設問と全国、県、自校の平均正答率が分かります。
- ☆中段 ・誤答につながった原因を考え、つまずきを把握することで、指導計画の立案に役立てられます。
- ・解答類型を見て、誤答率が10%以上の設問は、課題があると言えます。
- ☆下段 ・中段に数値で示されている反応率をグラフ化したものです。

【裏面】

- ☆上段 ・実際に学習する学年など、設問に関する詳細が分かります。
- ☆中段 ・空欄になっていますので、報告書を参考にした考察や話合いの記録からつまずき分析結果や課題を記入できます。
- （校内研修や、学年会、教科会などの話合いに使用すると便利）
- ☆下段 ・学習指導の改善方策の欄は、空欄になっていますので、つまずきを防ぐための具体的な手立てや手立てを講じる時期などを記入できます。
- ・関連する過去の問題の欄にある過去問題を振り返り等に使えます。

誤答分析シートを活用した、PDCAサイクル

P（指導計画の立案）

☆例示したシート（左ページ〈P.52 例①〉）の設問の場合（具体例）

ステップ1

- ・解答類型と反応率 解答類型1（誤答率10%以上）17.4%
- 原因を考え、つまずきを把握し、指導計画を立案する。

ステップ2

- ・解答類型別反応率にみられる特徴
- つまずきの分析を記入する。
- （参考：報告書、部会等で行った話合いの記録等）
- 課題や改善点を明確にする（左ページ〈P.52 例①〉）。
- ※文部科学省の報告書や解説等などが参考になります。また、記入するとき、上段にある学習指導要領における領域・内容を見ると、この設問にある、「B 図形」を実際に学習するのは4年生だと分かります。

D（授業実践）

- ☆P（プラン）で作成した指導改善案を実際に取り入れた授業実践
- 可能な限りメモを残し、先生方同士で授業を見学し合い、次のC（チェック）で確認できるような情報を収集する。

2 4つの分析シートの活用について

C (定着度、達成度の把握)

☆授業ごと、単元ごとに、児童生徒の定着度、達成度の把握

→発言やノート、提出物の他に、確認チェックシートや過去の調査問題を活用する。

→全国調査の過去の問題等を活用して、児童生徒の理解度を高める。

※誤答分析シート裏面下段に表示される過去の全国調査における関連する問題の活用

※「ちばっ子チャレンジ 100」や『『ちばのやる気』学習ガイド』もチェックツールとして有効

A (指導の振り返り)

☆誤答分析シートの学習指導の改善方策へ授業以後に把握した児童生徒の定着度、達成度を記録し、共有（次年度の計画立案へ役立てるため）

→常に教師の指導改善、学力向上への意識を高める。

PDCAサイクルから指導改善サイクルへ

☆例示したシート（52 ページ）の設問

- ・「図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにする」ことを改善の方策として記入する。
 - ・報告書等を参考に具体的な手立てを記入する。
 - ・他学年とのつながりや、つながりを生かした手立て等も書き加える。
 - ・（例示したシートは）小学校4年生の学習内容なので、4年生の授業を担当する先生全員で共有し、指導に生かす。
 - ・次年度4年生を担当する先生方にも引き継ぐことで、学校全体で指導改善に取り組むことにつなげる。
 - ・シートは必ずファイルして保管し、次の分析や研究に生かす。
- PDCAサイクルに則った指導改善サイクルが確立されていきます。

まとめ

【誤答分析シート】を活用した指導改善のまとめ

- ・[どうつまずいたか] 誤答率の高い解答類型（10%以上）に着目
- ・[いつつまずいたか] 学習指導要領における学習学年に着目
→学習学年と情報を共有してつまずきを未然に防止
- ・[なぜつまずいたか]「報告書」（国立教育政策研究所）の「学習指導に当たって」を参照し、つまずきの原因を探る
- ・[どのような手立てを打つか] 授業実践を通じて改善する方法を探る

2 4つの分析シートの活用について

(4) クロス集計シート

クロス集計ツールを使って作成できる「クロス集計シート」です。児童生徒の生活習慣や学習環境を、4段階に分けた学力層（四分位）を用いて、正答率との相関関係を確認することができます。学力に応じた指導の工夫等に役立ちます。

表

裏



☆四分位の層別に、表示されているシートの各選択肢を選んだ児童生徒数の割合を示しています。

☆四分位層ごとに特異の反応率を示している質問、特に、グラフの各選択肢の境界が対角状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に強い相関があると判断できます。

☆選択した質問の選択肢別に、回答した児童生徒の平均正答率を示しています。

☆グラフの先端が階段状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に強い相関があると判断できます。

☆児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について、教科に関する調査結果との相関を分析することができます。

→児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力との相関関係を確認する。

☆クロス集計は、質問紙への回答状況と教科の正答率との相関関係を示すものであり、必ずしも因果関係を示すものではないことを踏まえます。その上で、回答状況の背景にある「真の要因」をしっかりと把握して、学習習慣や生活習慣の改善方策を考えていくことが重要です。

結果分析の流れ

1 分析シートの作成



2 報告・連絡



3 協議・研修



校内研修の実践例【児童生徒の誤答分析】

【事前準備】

「誤答分析シート」を出力し、課題となる設問のシートをピックアップ

例えば「**誤答である解答類型の反応率**」や「**無解答率**」が高い（10%以上）の設問など学校の実態に応じて選ぶ

「**解答類型**」とは？ → 児童生徒の解答を類型化して、ナンバリングしたもの
 「**反応率**」とは？ → 各類型の解答をした割合（正答か誤答かによらない）
 「**誤答である解答類型の反応率**」が高い設問の例

解答類型 No	解答内容	反応率 (%)	正答
1	条件①、② を書いているもの	54.2	◎
2	条件①は書いているが、②を書いているもの	7.6	
3	条件②は書いているが、①を書いているもの	21.2	
...	
99	上記以外の解答	11.3	
0	無解答	1.5	

誤答である解答類型の反応率が10%以上
 ↓
 同じ考え方で、誤答している児童生徒が多い
 ↓
 改善策が必要

【校内研修の流れ】

- ① 問題分析
各教員が問題を解き、出題内容や出題意図を把握する
- ② 自校の結果の確認
解答類型ごとの反応率の状況を確認し、**課題を明確化**する
- ③ 誤答分析（グループワーク）
児童生徒が「**どのような考えで誤答したのか**」を考察する
→課題改善のために「**どのような手立てが必要か**」を考察する
→各グループでの分析を全体でシェアする
→指導改善に活用できるよう「誤答分析シート」を完成させる
- ④ 改善策に基づく取組の実践
授業改善、家庭学習の支援（ICTの活用など）
- ⑤ 改善策に基づく取組の実践の評価
児童による自己評価や、校内授業参観による相互評価による検証
- ⑥ 次年度へつなげる
さらなる改善策の検討や、校内研究のテーマへの反映

分析・活用に役立つ資料

文部科学省 国立教育研究所 発行
 解説資料 報告書



県教育委員会 発行
 授業改善リーフレット 学力向上通信 COMPASS



質問紙調査回答結果集計データ

- 1 児童生徒質問紙調査
- 2 学校質問紙調査

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
	質問番号	(1)~(6)	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)~(6)	(国1)(国2)	(数1)(数2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	全国	選択肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(1)小	朝食を毎日食べていますか	千葉県	84.5	9.6	4.2	1.7							0.0	0.0	94.1	-0.3	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	84.9	9.5	4.1	1.4							0.0	0.0	94.4		
(1)中		千葉県	78.0	12.8	5.9	3.2							0.0	0.1	90.8	-1.1	
		全国	79.9	12.0	5.4	2.7							0.0	0.0	91.9		
(2)小	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	千葉県	39.8	40.3	15.9	3.8							0.0	0.0	80.1	-1.4	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	40.7	40.8	15.0	3.4							0.0	0.0	81.5		
(2)中		千葉県	34.9	42.8	17.7	4.5							0.0	0.1	77.7	-2.2	
		全国	37.0	42.9	16.3	3.7							0.0	0.0	79.9		
(3)小	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	千葉県	54.9	34.3	8.7	2.0							0.1	0.0	89.2	-1.2	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	56.8	33.6	7.9	1.7							0.1	0.0	90.4		
(3)中		千葉県	52.7	38.0	7.8	1.4							0.0	0.1	90.7	-1.5	
		全国	56.8	35.4	6.5	1.2							0.0	0.1	92.2		
(4)小	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	千葉県	40.7	31.4	3.9	0.9	10.9	12.1					0.0	0.1	72.1	0.6	1. きちんと守っている 2. だいたい守っている 3. あまり守っていない 4. 守っていない
		全国	39.4	32.1	4.8	1.1	11.2	11.4					0.0	0.0	71.5		
(4)中		千葉県	33.5	37.5	6.4	1.5	18.0	2.9					0.1	0.1	71.0	1.5	5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない 6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
		全国	32.2	37.3	6.6	1.5	18.2	4.1					0.0	0.0	69.5		
(5)小	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	千葉県	19.1	13.7	18.9	24.6	16.2	7.5					0.0	0.1		1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない	
		全国	17.2	13.5	19.5	25.9	16.4	7.5					0.0	0.0			
(5)中		千葉県	19.0	14.0	19.9	19.9	15.7	11.5					0.0	0.1			
		全国	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9					0.0	0.1			
(6)小	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	千葉県	12.2	9.0	12.7	17.3	13.6	15.1	20.0				0.0	0.1		1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 30分以上、1時間より少ない 6. 30分より少ない 7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない	
		全国	10.9	8.8	12.8	18.1	13.9	14.7	20.6				0.0	0.1			
(6)中		千葉県	18.4	15.0	22.5	22.6	11.3	6.6	3.5				0.0	0.2			
		全国	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9	5.3				0.0	0.1			
(7)小	自分には、よいところがあると思いますか	千葉県	37.3	41.4	13.6	7.6							0.0	0.1	78.7	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	39.4	39.9	13.5	7.2							0.0	0.0	79.3		
(7)中		千葉県	33.7	42.7	16.2	7.3							0.0	0.1	76.4	-2.1	
		全国	36.0	42.5	14.9	6.6							0.0	0.0	78.5		
(8)小	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	千葉県	42.1	43.5	10.4	3.8							0.0	0.1	85.6	-1.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	46.3	40.8	9.4	3.4							0.0	0.1	87.1		
(8)中		千葉県	39.4	46.7	10.1	3.7							0.0	0.1	86.1	-0.5	
		全国	39.9	46.7	9.9	3.4							0.0	0.1	86.6		
(9)小	将来の夢や目標を持っていますか	千葉県	60.8	19.7	9.9	9.5							0.0	0.0	80.5	0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	60.4	19.4	10.3	9.9							0.0	0.0	79.8		
(9)中		千葉県	38.3	27.9	19.9	13.8							0.0	0.1	66.2	-1.1	
		全国	39.8	27.5	19.1	13.4							0.0	0.1	67.3		
(10)小	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	千葉県	37.3	49.1	11.8	1.7							0.0	0.0	86.4	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	38.8	48.4	11.2	1.6							0.0	0.0	87.2		
(10)中		千葉県	37.1	49.0	12.1	1.7							0.0	0.1	86.1	-0.5	
		全国	36.8	49.8	11.8	1.6							0.0	0.0	86.6		
(11)小	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	千葉県	26.6	44.3	23.2	5.7							0.0	0.0	70.9	-1.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	27.6	44.9	22.4	5.1							0.0	0.0	72.5		
(11)中		千葉県	20.5	45.1	28.7	5.6							0.0	0.1	65.6	-1.5	
		全国	21.4	45.7	27.6	5.3							0.0	0.0	67.1		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
質問番号	(1)~(6)9	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)~(6)9	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	+*** 全国	選 択 肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(12)小	人が困っているときは、進んで助けていますか	千葉県	44.7	44.2	9.3	1.7							0.0	0.1	88.9	0.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	44.9	44.0	9.3	1.7							0.0	0.0	88.9		
(12)中		千葉県	40.9	47.9	9.5	1.5							0.0	0.1	88.8	0.4	
		全国	40.6	47.8	10.0	1.6							0.0	0.1	88.4		
(13)小	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	千葉県	81.7	14.7	2.6	0.9							0.0	0.1	96.4	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	83.9	12.9	2.2	0.9							0.0	0.0	96.8		
(13)中		千葉県	80.5	15.3	2.9	1.2							0.0	0.1	95.8	-0.6	
		全国	82.6	13.8	2.5	1.1							0.0	0.0	96.4		
(14)小	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	千葉県	32.5	32.7	21.2	13.6							0.0	0.1	65.2	-2.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	35.5	32.6	20.2	11.6							0.0	0.0	68.1		
(14)中		千葉県	31.4	33.1	22.6	12.9							0.0	0.1	64.5	-2.1	
		全国	32.5	34.1	21.7	11.7							0.0	0.1	66.6		
(15)小	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	千葉県	74.1	20.7	3.5	1.6							0.0	0.0	94.8	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	75.1	20.0	3.4	1.5							0.0	0.0	95.1		
(15)中		千葉県	71.9	22.6	3.7	1.7							0.0	0.1	94.5	-0.5	
		全国	73.5	21.5	3.4	1.5							0.0	0.1	95.0		
(16)小	学校に行くのは楽しいと思いますか	千葉県	50.2	34.7	10.1	5.0							0.0	0.1	84.9	-0.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	51.7	33.7	9.8	4.7							0.0	0.0	85.4		
(16)中		千葉県	44.3	37.7	12.0	5.9							0.0	0.1	82.0	-0.9	
		全国	45.8	37.1	11.6	5.4							0.0	0.0	82.9		
(17)小	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	千葉県	29.7	43.3	20.3	6.6							0.0	0.1	73.0	-0.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	30.4	43.1	19.9	6.5							0.0	0.1	73.5		
(17)中		千葉県	30.9	45.3	19.3	4.4							0.0	0.1	76.2	-0.7	
		全国	31.4	45.5	18.6	4.3							0.0	0.1	76.9		
(18)小	友達と協力するのは楽しいと思いますか	千葉県	71.4	22.3	4.5	1.7							0.1	0.1	93.7	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	72.6	21.4	4.3	1.5							0.0	0.1	94.0		
(18)中		千葉県	64.5	28.6	5.2	1.6							0.0	0.2	93.1	-0.6	
		全国	66.2	27.5	4.8	1.4							0.0	0.1	93.7		
(19)小	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)	千葉県	33.5	59.7	79.7	6.5	69.8	11.0	5.2				0.4	0.1	1. 先生に聞く 2. 友達に聞く 3. 家族に聞く 4. 上記1、2、3以外の人に聞く 5. 自分で調べる 6. 分からないことはそのままにしている 7. わからないことはない		
全国		35.6	61.6	80.4	6.4	68.2	11.6	4.5				0.5	0.1				
中学校		30.5	64.5	47.0	18.4	73.1	10.1	1.7				0.0	0.1				
(19)中		千葉県	31.4	66.8	46.2	15.5	74.4	10.9	1.4				0.0	0.0			
(20)小	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	千葉県	26.2	44.1	22.0	7.6							0.0	0.1	70.3	-0.8	1. よくしている 2. ときどきしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	27.5	43.6	21.4	7.4							0.0	0.0	71.1		
(20)中		千葉県	14.4	41.7	30.6	13.2							0.0	0.1	56.1	-2.4	
		全国	15.4	43.1	29.6	11.8							0.0	0.1	58.5		
(21)小	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	千葉県	12.2	13.6	31.4	26.9	11.5	4.4					0.0	0.1		1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全くしない	
		全国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2					0.0	0.0			
(21)中		千葉県	11.3	25.8	33.2	15.8	8.5	5.3					0.1	0.1			
		全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9					0.0	0.0			
(22)小	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	千葉県	9.4	5.7	12.2	29.2	31.7	11.6					0.0	0.1		1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない	
		全国	8.0	5.6	12.6	29.9	31.5	12.3					0.0	0.0			
(22)中		千葉県	9.1	14.9	23.4	23.9	18.0	10.6					0.0	0.1			
		全国	7.3	13.3	24.3	25.9	19.0	10.2					0.0	0.0			

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
質問番号	(1)~(69)	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)~(69)	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	全国	選択肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(23)小	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小学校	千葉県 8.0	11.0	19.4	22.5	13.4	25.6				0.0	0.1			1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない 5. 10分より少ない 6. 全くしない	
		全国	7.2	10.1	19.1	23.2	14.1	26.3				0.0	0.0				
(23)中		中学校	千葉県 5.3	8.2	15.6	22.8	11.8	36.1				0.0	0.1				
		全国	4.6	7.8	14.9	21.3	12.3	39.0				0.0	0.1				
(24)小	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)	小学校	千葉県 10.6	18.0	34.5	20.0	12.1	4.6				0.1	0.1			1. 0~10冊 2. 11~25冊 3. 26~100冊 4. 101~200冊 5. 201~500冊 6. 501冊以上	
		全国	11.6	18.9	34.1	19.2	11.6	4.5				0.0	0.0				
(24)中		中学校	千葉県 12.6	19.3	32.8	18.2	12.7	4.2				0.0	0.1				
		全国	14.6	19.6	32.1	17.3	12.1	4.1				0.0	0.1				
(25)小	新聞を読んでいますか	小学校	千葉県 4.7	9.3	12.0	73.9						0.1	0.1			1. ほぼ毎日読んでいる 2. 週に1~3回程度読んでいる 3. 月に1~3回程度読んでいる 4. ほとんど、または、全く読まない	
		全国	4.8	9.0	13.1	73.0						0.1	0.1				
(25)中		中学校	千葉県 2.4	6.2	10.4	80.9						0.0	0.1				
		全国	3.0	6.4	11.5	79.0						0.0	0.1				
(26)小	読書は好きですか	小学校	千葉県 41.8	31.9	16.3	9.7						0.1	0.2	73.7	0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		全国	41.9	31.2	16.7	10.0						0.1	0.1	73.1			
(26)中		中学校	千葉県 38.7	31.5	17.7	12.0						0.0	0.1	70.2	2.0		
		全国	37.9	30.3	18.5	13.2						0.0	0.1	68.2			
(27)小	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか	小学校	千葉県 27.4	37.6	26.4	8.5						0.0	0.1	65.0	-0.1	1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない	
		全国	28.1	37.0	26.6	8.3						0.0	0.0	65.1			
(27)中		中学校	千葉県 20.4	33.2	32.5	13.8						0.0	0.1	53.6	-1.4		
		全国	21.3	33.7	31.6	13.4						0.0	0.0	55.0			
(28)小	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)	小学校	千葉県 14.4	14.8	27.6	43.1						0.0	0.1	29.2	-1.4	1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない	
		全国	15.1	15.5	27.7	41.6						0.0	0.0	30.6			
(28)中		中学校	千葉県 8.8	10.5	22.9	57.7						0.0	0.1	19.3	-1.8		
		全国	9.9	11.2	24.3	54.6						0.0	0.1	21.1			
(29)小	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小学校	千葉県 16.3	28.4	26.4	28.7						0.0	0.1	44.7	-8.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		全国	23.4	29.3	23.6	23.6						0.0	0.1	52.7			
(29)中		中学校	千葉県 9.9	22.7	28.1	39.1						0.0	0.1	32.6	-7.4		
		全国	14.3	25.7	26.9	33.1						0.0	0.1	40.0			
(30)小	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小学校	千葉県 17.2	34.3	31.2	17.2						0.0	0.1	51.5	0.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない	
		全国	17.6	33.7	31.2	17.4						0.0	0.1	51.3			
(30)中		中学校	千葉県 9.8	27.9	37.3	24.7						0.0	0.2	37.7	-3.0		
		全国	11.1	29.6	36.5	22.6						0.0	0.2	40.7			

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒（公立）

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県（公立）	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
質問番号	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県（公立）の児童・生徒数の割合（%）
2段目：全 国（公立）の児童・生徒数の割合（%）

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	千葉県	選 択 肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9							
(31) 小	放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか（複数選択）	小学校	千葉県	50.6	3.9	2.4	27.1	37.3	42.0	81.8	71.5	62.6	0.2	0.2	0.2	-0.3	1.家で勉強や読書をしている 2.放課後子供教室や放課後児童クラブ（学童保育）に参加している 3.地域の活動に参加している（地域学校協働本部や地域住民による学習・体験プログラムを含む） 4.学習塾など学校や家以外の場所で勉強している 5.習い事（スポーツに関する習い事を除く）をしている 6.スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている 7.家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている 8.家族と過ごしている 9.友達と遊んでいる		
		小学校	全国	52.2	4.7	3.4	24.1	36.3	42.7	82.1	72.5	61.6	0.1	0.2					
中学校	千葉県	76.3	48.7	1.6	44.1	21.2	25.6	88.6	62.4	54.9	0.0	0.2							
中学校	全国	73.9	47.9	1.8	36.8	19.8	27.3	88.0	63.4	54.6	0.0	0.1							
(32) 小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか	小学校	千葉県	21.0	32.5	28.0	12.9	5.4					0.0	0.1	0.2	-0.3	1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満		
小学校		全国	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1						0.0	0.1					
中学校	千葉県	14.5	28.6	34.0	17.3	5.4							0.0	0.2					
中学校	全国	21.6	29.3	29.7	14.2	5.0							0.0	0.1					
(33) 小	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）	小学校	千葉県	13.0	30.0	33.3	16.7	6.9						0.0	0.1	0.2	-0.3	1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
小学校		全国	14.3	29.6	32.2	16.4	7.3							0.0	0.1				
中学校	千葉県	11.7	25.2	36.8	20.6	5.5								0.0	0.1				
中学校	全国	12.3	24.9	34.5	20.6	7.6								0.0	0.1				
(34) 小	学校で、学級の友達〔生徒〕と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	小学校	千葉県	4.6	13.2	25.7	26.0	30.2							0.0	0.2	0.2	-0.3	1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満
小学校		全国	6.4	16.1	26.9	24.2	26.2								0.0	0.1			
中学校	千葉県	3.1	9.9	23.9	30.6	32.4									0.0	0.2			
中学校	全国	5.0	12.8	25.7	27.6	28.7									0.0	0.1			
(35) 小	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	小学校	千葉県	5.9	13.8	22.1	30.7	27.4							0.0	0.2	0.2	-0.3	1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満
小学校		全国	6.9	14.8	23.5	28.7	25.8								0.0	0.1			
中学校	千葉県	3.7	8.2	18.0	34.1	35.8									0.0	0.2			
中学校	全国	4.7	10.3	20.3	32.3	32.3									0.0	0.1			
(36) 小	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小学校	千葉県	64.2	30.4	3.5	1.5						0.2	0.1	94.6	0.2	-0.3	1.役に立つと思う 2.どちらかといえば、役に立つと思う 3.どちらかといえば、役に立たないと思う 4.役に立たないと思う	
小学校		全国	65.5	28.9	3.6	1.7							0.2	0.1	94.4				
中学校	千葉県	54.7	37.6	5.1	2.3								0.0	0.2	92.3				
中学校	全国	56.7	35.9	5.0	2.4								0.0	0.1	92.6				
(37) 小	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小学校	千葉県	4.1	4.7	12.9	23.2	29.7	16.3	8.7					0.0	0.2	0.2	-0.3	1.3時間以上 2.2時間以上、3時間より少ない 3.1時間以上、2時間より少ない 4.30分以上、1時間より少ない 5.30分より少ない 6.全く使っていない 7.スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
小学校		全国	4.3	4.9	12.4	22.2	30.0	16.9	9.2						0.0	0.1			
中学校	千葉県	2.6	3.9	11.8	23.8	37.2	18.4	2.0						0.1	0.2				
中学校	全国	2.5	3.8	11.4	23.1	37.5	18.6	3.0						0.1	0.1				

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

質問番号	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	+*** 全国	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(38)小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小学校	千葉県	27.0	38.6	23.0	9.2	2.0						0.1	0.1	65.6	0.2	1.発表していた 2.どちらかといえば、発表していた 3.どちらかといえば、発表していなかった 4.発表していなかった 5.考えを発表する機会はなかった
			全国	27.1	38.3	23.2	9.4	2.0							0.0	0.1		
(38)中	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	中学校	千葉県	21.1	39.3	25.1	11.9	2.6						0.0	0.1	60.4	-2.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	22.5	40.8	23.8	10.4	2.4							0.0	0.1		
(39)小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小学校	千葉県	29.6	47.2	18.9	4.1							0.0	0.1	76.8	-0.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	30.5	46.8	18.7	3.9								0.0	0.1		
(39)中	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	中学校	千葉県	29.7	47.7	18.7	3.7							0.0	0.1	77.4	-1.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	31.2	48.0	17.2	3.5								0.0	0.1		
(40)小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小学校	千葉県	26.3	44.5	23.4	5.6							0.0	0.1	70.8	-1.4	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	27.9	44.3	22.5	5.2								0.0	0.1		
(40)中	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	中学校	千葉県	19.2	44.0	29.9	6.8							0.0	0.1	63.2	-4.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	22.0	45.4	26.6	5.9								0.0	0.1		
(41)小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	小学校	千葉県	25.5	39.5	26.0	8.9							0.0	0.2	65.0	-3.4	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	28.3	40.1	24.0	7.5								0.0	0.1		
(41)中	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	中学校	千葉県	21.4	41.1	28.4	9.0							0.0	0.1	62.5	-4.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	24.2	43.0	25.2	7.5								0.0	0.1		
(42)小	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小学校	千葉県	33.9	43.9	16.5	5.5							0.0	0.2	77.8	-1.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	36.7	43.0	15.3	4.9								0.0	0.1		
(42)中	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	中学校	千葉県	20.7	51.6	21.7	5.8							0.0	0.1	72.3	-3.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	22.8	52.5	19.6	5.0								0.0	0.1		
(43)小	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	小学校	千葉県	36.0	43.3	15.2	4.3	1.0						0.0	0.3	79.3	-0.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	37.7	42.4	14.8	4.0	0.9							0.0	0.2		
(43)中	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	中学校	千葉県	32.2	45.3	16.0	4.9	1.4						0.0	0.2	77.5	-1.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	34.1	44.6	15.1	4.6	1.5							0.0	0.1		
(44)小	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小学校	千葉県	31.8	45.3	17.7	4.8							0.0	0.3	77.1	-1.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	33.2	45.0	17.0	4.5								0.0	0.2		
(44)中	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	中学校	千葉県	23.7	48.5	22.2	5.2							0.0	0.4	72.2	-2.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	25.6	49.1	20.3	4.7								0.0	0.3		
(45)小	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県	33.0	41.1	20.2	5.6							0.0	0.1	74.1	1.4	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	31.7	41.0	21.4	5.8								0.0	0.1		
(45)中	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	中学校	千葉県	23.6	43.3	26.0	7.0							0.0	0.2	66.9	-5.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	28.4	43.7	21.6	6.2								0.0	0.1		
(46)小	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小学校	千葉県	29.9	43.0	20.6	6.4							0.0	0.2	72.9	-0.6	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	30.5	43.0	20.2	6.2								0.0	0.1		
(46)中	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	中学校	千葉県	29.7	47.1	18.0	5.1							0.0	0.2	76.8	0.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	29.0	47.8	18.0	5.0								0.0	0.1		
(47)小	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小学校	千葉県	29.1	43.4	21.3	6.0							0.0	0.2	72.5	-1.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	31.0	42.8	20.5	5.7								0.0	0.1		
(47)中	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	中学校	千葉県	24.9	46.3	22.5	6.0							0.0	0.3	71.2	-0.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	25.3	46.4	22.1	6.0								0.0	0.2		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)		小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
質問番号	(1)~(69)	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)~(69)	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)	
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411	

各校種の1段階目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段階目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	+*** 全国	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(48)小	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県	41.3	37.6	15.6	5.2							0.0	0.2	78.9	-1.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	42.5	37.5	14.9	4.9							0.0	0.2	80.0			
(48)中		中学校	千葉県	42.3	43.3	11.0	3.2							0.0	0.3	85.6	0.1	
		全国	43.0	42.5	10.9	3.4							0.0	0.2	85.5			
(49)小	国語の勉強は好きですか	小学校	千葉県	22.6	36.7	26.5	14.0							0.0	0.2	59.3	0.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	23.4	35.8	26.3	14.3							0.0	0.1	59.2			
(49)中		中学校	千葉県	23.3	37.6	27.3	11.7							0.0	0.2	60.9	-1.0	
		全国	24.2	37.7	26.5	11.4							0.0	0.1	61.9			
(50)小	国語の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県	66.2	26.2	5.2	2.2							0.0	0.2	92.4	-0.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	69.3	24.0	4.5	2.0							0.0	0.1	93.3			
(50)中		中学校	千葉県	61.3	31.3	5.2	2.0							0.0	0.2	92.6	-0.6	
		全国	63.1	30.1	4.9	1.8							0.0	0.1	93.2			
(51)小	国語の授業の内容はよくわかりますか	小学校	千葉県	38.4	45.3	12.5	3.7							0.0	0.2	83.7	-0.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	39.5	44.5	12.4	3.5							0.0	0.1	84.0			
(51)中		中学校	千葉県	31.2	48.9	16.0	3.7							0.0	0.2	80.1	-1.1	
		全国	31.9	49.3	15.1	3.5							0.0	0.1	81.2			
(52)小	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県	63.3	27.7	6.2	2.6							0.0	0.2	91.0	-0.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	65.5	26.3	5.8	2.4							0.0	0.1	91.8			
(52)中		中学校	千葉県	52.6	35.7	8.4	3.0							0.0	0.4	88.3	-1.4	
		全国	55.6	34.1	7.6	2.5							0.0	0.2	89.7			
(53)小	算数【数学】の勉強は好きですか	小学校	千葉県	33.3	26.1	21.4	19.1							0.0	0.2	59.4	-3.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	36.2	26.3	20.3	17.1							0.0	0.1	62.5			
(53)中		中学校	千葉県	29.2	27.6	24.5	18.5							0.0	0.2	56.8	-1.3	
		全国	29.9	28.2	24.3	17.5							0.0	0.1	58.1			
(54)小	算数【数学】の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県	74.1	19.1	4.2	2.5							0.0	0.2	93.2	-1.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	76.6	17.6	3.7	2.0							0.0	0.1	94.2			
(54)中		中学校	千葉県	49.3	35.6	11.0	3.8							0.0	0.2	84.9	-1.7	
		全国	52.1	34.5	9.8	3.4							0.0	0.1	86.6			
(55)小	算数【数学】の授業の内容はよくわかりますか	小学校	千葉県	43.1	35.6	15.0	6.1							0.0	0.2	78.7	-2.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	45.6	35.6	13.7	5.1							0.0	0.1	81.2			
(55)中		中学校	千葉県	34.1	39.8	18.5	7.3							0.0	0.3	73.9	-2.3	
		全国	36.1	40.1	17.4	6.3							0.0	0.1	76.2			
(56)小	算数【数学】の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県	72.4	20.0	5.0	2.4							0.0	0.2	92.4	-0.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	74.7	18.6	4.5	2.1							0.0	0.1	93.3			
(56)中		中学校	千葉県	37.5	36.4	18.1	7.7							0.0	0.3	73.9	-2.6	
		全国	40.7	35.8	16.6	6.8							0.0	0.1	76.5			
(57)小	算数【数学】の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小学校	千葉県	32.7	35.7	21.4	9.9							0.0	0.2	68.4	-0.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	33.1	36.2	21.2	9.5							0.0	0.1	69.3			
(57)中		中学校	千葉県	16.3	31.0	33.1	19.4							0.0	0.2	47.3	0.0	
		全国	16.4	30.9	33.2	19.3							0.0	0.2	47.3			

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒（公立）

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

質問番号	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)～(6)9	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402	44,411

各校種の1段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	+*** 全国	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(58)小	算数〔数学〕の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	小学校	千葉県 42.8	35.6	15.8	5.6							0.0	0.2	78.4	-2.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	44.9	35.5	14.8	4.7							0.0	0.1	80.4		
(58)中	算数〔数学〕の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	中学校	千葉県 34.3	39.1	19.7	6.6							0.0	0.3	73.4	-1.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	35.2	40.0	18.6	6.0							0.0	0.2	75.2		
(59)小	算数〔数学〕の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小学校	千葉県 41.9	33.3	17.5	7.2							0.0	0.2	75.2	-1.6	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	43.8	33.0	16.7	6.4							0.0	0.1	76.8		
(59)中	算数〔数学〕の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	中学校	千葉県 33.4	36.1	21.9	8.2							0.0	0.3	69.5	-0.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	33.9	36.3	21.7	8.0							0.0	0.2	70.2		
(60)小	算数〔数学〕の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	小学校	千葉県 47.2	37.6	11.2	3.6							0.0	0.3	84.8	-0.9	1.そうしている 2.どちらかといえば、そうしている 3.どちらかといえば、そうしていない 4.そうしていない
		全国	48.5	37.2	10.7	3.3							0.0	0.2	85.7		
(60)中	算数〔数学〕の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	中学校	千葉県 37.9	40.4	15.3	5.8							0.0	0.6	78.3	-1.3	1.そうしている 2.どちらかといえば、そうしている 3.どちらかといえば、そうしていない 4.そうしていない
		全国	39.2	40.4	14.6	5.3							0.0	0.5	79.6		
(61)小	理科の勉強は好きですか	小学校	千葉県 52.2	30.2	12.0	5.4							0.0	0.2	82.4	2.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	49.3	30.4	13.3	6.8							0.0	0.1	79.7		
(61)中	理科の勉強は好きですか	中学校	千葉県 31.3	34.3	22.7	11.5							0.0	0.2	65.6	-0.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	32.2	34.2	22.4	11.1							0.0	0.1	66.4		
(62)小	理科の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県 56.3	29.7	10.6	3.1							0.0	0.2	86.0	-0.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	57.4	29.1	10.1	3.3							0.0	0.1	86.5		
(62)中	理科の勉強は大切だと思いますか	中学校	千葉県 34.4	40.3	19.0	6.0							0.0	0.3	74.7	-2.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	36.9	39.9	17.6	5.4							0.0	0.1	76.8		
(63)小	理科の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉県 57.9	32.3	7.4	2.2							0.0	0.2	90.2	1.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	54.9	33.6	8.6	2.7							0.0	0.1	88.5		
(63)中	理科の授業の内容はよく分かりますか	中学校	千葉県 29.6	43.8	20.3	5.9							0.0	0.2	73.4	-1.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	30.9	44.3	19.3	5.4							0.0	0.1	75.2		
(64)小	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小学校	千葉県 35.6	33.6	21.4	9.2							0.0	0.2	69.2	1.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	35.1	32.8	22.0	9.9							0.0	0.1	67.9		
(64)中	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	中学校	千葉県 19.4	32.5	32.1	15.7							0.0	0.2	51.9	-0.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	20.2	32.5	31.6	15.5							0.0	0.2	52.7		
(65)小	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県 44.1	32.6	17.2	5.9							0.0	0.2	76.7	-0.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	45.5	31.7	16.6	6.0							0.0	0.1	77.2		
(65)中	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	中学校	千葉県 23.0	36.7	28.2	11.9							0.0	0.2	59.7	-1.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	24.8	36.7	27.3	11.0							0.0	0.2	61.5		
(66)小	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	小学校	千葉県 14.0	14.5	26.3	45.0							0.0	0.3	28.5	1.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	13.1	13.5	26.2	47.1							0.0	0.1	26.6		
(66)中	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	中学校	千葉県 7.8	14.0	28.9	49.0							0.0	0.2	21.8	-0.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	8.0	14.1	28.9	48.8							0.0	0.2	22.1		
(67)小	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	小学校	千葉県 39.7	38.5	16.5	5.0							0.0	0.3	78.2	0.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	40.5	37.5	16.4	5.4							0.0	0.2	78.0		
(67)中	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	中学校	千葉県 21.2	42.0	27.0	9.5							0.0	0.3	63.2	-1.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	22.3	42.2	25.9	9.4							0.0	0.2	64.5		

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県一児童・生徒（公立）

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

質問番号	小学校 ※実施学校数752校				中学校 ※実施学校数373校			
	(1)～(69)	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(理1)(理2)	(1)～(69)	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(理1)(理2)
	回答児童数	48,465	48,451	48,465	44,395	44,395	44,396	44,402

各校種の1段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目：全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	全国	選択肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
(68)小	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	小学校	千葉県 46.3	38.7	11.5	3.2							0.0	0.3	85.0	0.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	47.0	37.9	11.5	3.4							0.0	0.2	84.9		
(68)中		中学校	千葉県 35.1	43.4	15.8	5.4							0.0	0.3	78.5	-0.4	
		全国	35.8	43.1	15.3	5.6							0.0	0.2	78.9		
(69)小	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	小学校	千葉県 32.8	39.3	20.0	7.5							0.0	0.4	72.1	-0.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	33.3	38.9	20.0	7.5							0.0	0.2	72.2		
(69)中		中学校	千葉県 24.6	42.3	24.5	8.3							0.0	0.3	66.9	-1.2	
		全国	25.3	42.8	23.5	8.2							0.0	0.2	68.1		
(国1)小	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小学校	千葉県 75.5	19.7	2.1								0.1	2.6	75.5	-2.5	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	78.0	17.4	1.8								0.1	2.7	78.0		
(国1)中		中学校	千葉県 72.6	20.3	2.7								0.0	4.4	72.6	-4.7	
		全国	77.3	17.4	2.4								0.0	2.8	77.3		
(国2)小	解答時間は十分でしたか(国語)	小学校	千葉県 32.4	35.7	24.9	4.4							0.0	2.6		1.時間が余つた 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかつた 4.全く足りなかつた	
		全国	29.9	36.1	26.4	4.8							0.0	2.8			
(国2)中		中学校	千葉県 44.3	38.9	11.4	1.0							0.0	4.4			
		全国	45.4	39.5	11.1	1.1							0.0	2.9			
(算1)小	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小学校	千葉県 80.6	16.3	1.6								0.1	1.4	80.6	-2.2	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	82.8	14.0	1.4								0.1	1.7	82.8		
(数1)中		中学校	千葉県 48.6	44.8	4.2								0.0	2.3	48.6	-4.8	
		全国	53.4	41.3	3.7								0.0	1.6	53.4		
(算2)小	解答時間は十分でしたか(算数〔数学〕)	小学校	千葉県 58.8	25.7	11.3	2.7							0.0	1.4		1.時間が余つた 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかつた 4.全く足りなかつた	
		全国	57.2	26.2	12.0	2.9							0.0	1.7			
(数2)中		中学校	千葉県 39.8	32.5	22.2	3.1							0.0	2.4			
		全国	38.6	32.4	23.7	3.7							0.0	1.6			
(理1)小	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小学校	千葉県 78.8	17.7	1.9								0.1	1.5	78.8	-1.8	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	80.6	15.9	1.7								0.1	1.6	80.6		
(理1)中		中学校	千葉県 70.6	26.1	1.9								0.0	1.4	70.6	-3.4	
		全国	74.0	23.3	1.7								0.0	1.0	74.0		
(理2)小	解答時間は十分でしたか(理科)	小学校	千葉県 75.5	16.2	5.5	1.2							0.0	1.5		1.時間が余つた 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかつた 4.全く足りなかつた	
		全国	74.2	16.6	6.2	1.4							0.0	1.6			
(理2)中		中学校	千葉県 67.1	26.1	4.5	0.7							0.0	1.5			
		全国	67.2	26.0	4.9	0.8							0.0	1.0			

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(1.1)、(1.2)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
(1)小	調査対象日現在の学校の全学年の児童数〔生徒数〕	小学校	千葉県	3.5	8.4	24.6	29.4	27.7	6.5						0.0	/	1.49人以下 2.50人以上、99人以下 3.100人以上、249人以下 4.250人以上、499人以下 5.500人以上、799人以下 6.800人以上
			全国	11.3	11.4	23.0	31.2	18.5	4.5						0.0		
(1)中		中学校	千葉県	3.8	4.3	23.6	37.0	25.7	5.6						0.0	/	
			全国	12.4	8.8	22.8	35.4	17.7	2.9						0.0		
(2)小	調査対象日現在の第6学年の児童数〔第3学年の生徒数〕	小学校	千葉県	5.1	9.2	10.9	9.3	30.1	23.5	9.2	2.0	0.8			0.0	/	1.10人以下 2.11人以上、20人以下 3.21人以上、30人以下 4.31人以上、40人以下 5.41人以上、80人以下 6.81人以上、120人以下 7.121人以上、160人以下 8.161人以上、200人以下 9.201人以上
			全国	13.8	12.3	10.0	8.6	30.1	17.6	5.9	1.3	0.3			0.0		
(2)中	(特別支援学級の児童数〔生徒数〕は除く)	中学校	千葉県	2.1	3.2	3.2	3.8	17.4	22.0	15.5	13.4	19.3			0.0	/	
			全国	8.9	6.1	5.1	5.4	18.0	18.1	16.5	10.9	11.0			0.0		
(3)小	調査対象日現在の学校の全学年の学級数(特別支援学級は除く)	小学校	千葉県	3.2	37.0	28.5	21.4	6.4	3.3	0.3					0.0	/	1.5学級以下 2.6学級以上、11学級以下 3.12学級以上、17学級以下 4.18学級以上、23学級以下 5.24学級以上、29学級以下 6.30学級以上 7.複式学級
			全国	10.3	37.5	28.9	14.9	4.9	1.4	1.9					0.1		
(3)中		中学校	千葉県	0.8	10.7	20.9	19.3	16.1	13.4	8.6	6.7	3.5	0.0	0.0	0.0	/	1.2学級以下 2.3学級以上、5学級以下 3.6学級以上、8学級以下 4.9学級以上、11学級以下 5.12学級以上、14学級以下 6.15学級以上、17学級以下 7.18学級以上、20学級以下 8.21学級以上、23学級以下 9.24学級以上 10.複式学級
			全国	2.3	23.4	18.5	18.4	15.7	10.3	5.8	3.1	2.0	0.4	0.1	0.1		
(4)小	調査対象日現在の第6学年〔第3学年〕の学級数(特別支援学級は除く)	小学校	千葉県	30.5	29.4	23.9	12.1	2.7	1.1	0.0	0.4	0.0			0.0	/	1.1学級 2.2学級 3.3学級 4.4学級 5.5学級 6.6学級 7.7学級 8.8学級以上 9.複式学級
			全国	39.2	29.8	18.4	7.2	1.8	0.4	0.0	0.1	3.0			0.1		
(4)中		中学校	千葉県	9.4	17.4	20.9	16.6	13.7	10.7	6.7	4.6	0.0			0.0	/	
			全国	22.7	17.9	17.6	17.1	11.4	6.9	3.5	2.8	0.1			0.1		
(5)小	調査対象日現在の学校の全教員数(副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師(常勤)等)	小学校	千葉県	0.0	2.1	22.3	14.1	19.0	15.6	11.8	6.3	8.6			0.1	/	1.4人以下 2.5人以上、9人以下 3.10人以上、14人以下 4.15人以上、19人以下 5.20人以上、24人以下 6.25人以上、29人以下 7.30人以上、34人以下 8.35人以上、39人以下 9.40人以上
			全国	0.8	10.1	22.5	13.7	17.0	13.3	9.5	5.9	7.2			0.1		
(5)中		中学校	千葉県	0.0	0.5	8.6	14.7	18.0	20.9	12.6	11.0	13.7			0.0	/	
			全国	0.3	5.0	17.2	14.8	16.1	16.0	11.3	7.7	11.6			0.0		
(6)小	調査対象学年の児童〔生徒〕のうち、就学援助を受けている児童〔生徒〕の割合	小学校	千葉県	9.3	30.1	33.4	17.0	6.4	1.7	1.1	0.7	0.3			0.1	/	1.在籍していない 2.5%未満 3.5%以上、10%未満 4.10%以上、15%未満 5.15%以上、20%未満 6.20%以上、25%未満 7.25%以上、30%未満 8.30%以上、50%未満 9.50%以上
			全国	11.3	15.1	22.1	19.3	12.4	7.7	4.8	5.3	1.8			0.1		
(6)中		中学校	千葉県	5.1	16.9	37.8	25.2	9.1	2.4	1.9	1.1	0.5			0.0	/	
			全国	6.2	9.1	20.7	22.8	16.0	10.2	6.2	6.7	2.0			0.0		
(7)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小学校	千葉県	35.5	53.2	10.2	0.8								0.3	1.5	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う
			全国	42.0	45.2	11.1	1.6								0.1		
(7)中		中学校	千葉県	67.8	29.5	2.4	0.3								0.0	1.7	3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	65.1	30.5	3.7	0.6								0.0		
(8)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小学校	千葉県	19.0	60.2	19.7	0.9								0.1	-5.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	20.4	64.2	14.9	0.4								0.1		
(8)中		中学校	千葉県	46.1	50.7	2.9	0.0								0.3	-1.7	
			全国	50.9	47.6	1.4	0.0								0.1		
(9)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小学校	千葉県	45.3	50.5	4.1	0.0								0.0	-0.4	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	48.5	47.7	3.6	0.1								0.1		
(9)中		中学校	千葉県	39.9	53.9	5.9	0.0								0.3	-0.5	
			全国	43.5	50.8	5.4	0.1								0.1		
(10)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	小学校	千葉県	54.1	44.5	1.3	0.0								0.0	-0.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	59.0	39.7	1.2	0.0								0.1		
(10)中		中学校	千葉県	48.3	50.4	1.1	0.0								0.3	0.6	
			全国	55.2	42.9	1.8	0.0								0.1		

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(1-1)、(1-2)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県	選択肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(11)小	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童〔生徒〕が相談したい時に相談できる体制となっていますか	小学校	千葉県	61.4	32.2	5.9	0.5								0.0	93.6	5.2	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
			全国	50.5	37.9	9.4	2.1								0.0	88.4		
(11)中		中学校	千葉県	71.6	26.3	1.9	0.3								0.0	97.9	3.0	
			全国	64.7	30.2	4.0	1.0								0.0	94.9		
(12)小	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小学校	千葉県	35.0	36.7	19.0	5.5	0.3	3.5						0.1		1. 週1回程度、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった	
(12)中		中学校	千葉県	23.3	34.9	24.4	11.8	1.1	4.3						0.3			
(13)小	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小学校	千葉県	53.9	32.3	10.2	2.5	0.0	0.9						0.1		1. 週1回程度、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった	
			全国	51.3	32.4	11.1	3.3	0.1	1.7						0.1			
(13)中		中学校	千葉県	41.3	31.1	16.6	7.2	0.0	3.5						0.3			
(13)中		中学校	全国	36.5	32.6	18.3	8.2	0.1	4.2						0.1			
(14)小	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか	小学校	千葉県	40.0	55.5	4.4	0.0								0.1	95.5	0.5	1. よく取り組んでいる 2. どちらかといえば、取り組んでいる 3. あまり取り組んでいない 4. 全く取り組んでいない
(14)中		中学校	千葉県	39.7	55.3	4.8	0.0							0.1	95.0			
(14)中		中学校	全国	37.8	56.5	5.5	0.0							0.1	94.3	0.8		
(15-1)小	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童〔生徒〕の欠席・遅刻に関する事務は軽減しましたか	小学校	千葉県	31.6	44.9	12.5	3.2	7.6							0.1	76.5	13.0	1. 十分軽減した 2. どちらかといえば、軽減した 3. あまり軽減していない 4. 軽減していない 5. 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
(15-1)中			全国	21.6	41.9	19.5	4.3	12.7							0.1	63.5		
(15-1)中		中学校	千葉県	26.0	45.0	17.2	4.3	7.5						0.0	71.0	11.1		
(15-1)中		中学校	全国	17.3	42.6	22.1	5.5	12.3						0.1	59.9			
(15-2)小	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	小学校	千葉県	25.5	45.7	17.6	2.7	8.4							0.1	71.2	10.4	1. 十分軽減した 2. どちらかといえば、軽減した 3. あまり軽減していない 4. 軽減していない 5. 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
(15-2)中			全国	19.0	41.8	21.9	3.9	13.2							0.1	60.8		
(15-2)中		中学校	千葉県	26.0	44.2	19.6	2.4	7.8						0.0	70.2	8.2		
(15-2)中		中学校	全国	18.1	43.9	22.0	4.0	12.0						0.1	62.0			
(15-3)小	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	小学校	千葉県	16.4	41.8	30.3	4.8	6.5							0.3	58.2	7.9	1. 十分軽減した 2. どちらかといえば、軽減した 3. あまり軽減していない 4. 軽減していない 5. 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
(15-3)中			全国	11.0	39.3	33.8	5.7	10.1							0.1	50.3		
(15-3)中		中学校	千葉県	16.1	40.8	30.6	6.4	6.2						0.0	56.9	4.1		
(15-3)中		中学校	全国	12.1	40.7	31.3	6.0	9.8						0.1	52.8			
(15-4)小	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	小学校	千葉県	15.6	48.7	25.8	4.3	5.6							0.1	64.3	-7.2	1. 十分軽減した 2. どちらかといえば、軽減した 3. あまり軽減していない 4. 軽減していない 5. 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
(15-4)中			全国	18.2	53.3	20.8	2.5	5.1							0.1	71.5		
(15-4)中		中学校	千葉県	23.6	45.0	22.8	4.3	4.3						0.0	68.6	0.9		
(15-4)中		中学校	全国	19.3	48.4	22.6	3.3	6.3						0.1	67.7			
(15-5)小	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか	小学校	千葉県	11.2	60.8	23.0	4.1	0.7							0.3	72.0	-1.7	1. 十分軽減した 2. どちらかといえば、軽減した 3. あまり軽減していない 4. 軽減していない 5. 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
(15-5)中			全国	12.2	61.5	22.6	2.6	1.1							0.1	73.7		
(15-5)中		中学校	千葉県	14.5	54.2	26.5	3.8	1.1						0.0	68.7	-0.8		
(15-5)中		中学校	全国	11.7	57.8	25.3	3.9	1.3						0.0	69.5			
(16)小	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小学校	千葉県	22.7	72.2	4.9	0.0								0.1	94.9	0.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(16)中			全国	27.9	66.9	5.1	0.0								0.1	94.8		
(16)中		中学校	千葉県	24.7	68.4	7.0	0.0							0.0	93.1	1.8		
(16)中		中学校	全国	25.9	65.4	8.6	0.1							0.0	91.3			
(17)小	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小学校	千葉県	21.4	71.0	7.4	0.0								0.1	92.4	-1.8	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
(17)中			全国	29.3	64.9	5.6	0.0								0.1	94.2		
(17)中		中学校	千葉県	22.3	70.8	7.0	0.0							0.0	93.1	-0.2		
(17)中		中学校	全国	28.8	64.5	6.6	0.1							0.0	93.3			

令和4年度全国学力・学習状況調査
 回答結果集計 [学校質問紙]
 千葉県一学校(公立)

小学校・中学校調査

・以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(11)、(12)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選択肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(18)小	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小学校	千葉県	21.7	66.1	12.0	0.0								0.3	87.8	-4.5	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	32.0	60.3	7.4	0.1								0.1	92.3			
(18)中		中学校	千葉県	15.5	59.8	24.1	0.3								0.3	75.3	-7.0	
		全国	22.9	59.4	17.4	0.3								0.0	82.3			
(19)小	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小学校	千葉県	51.3	45.6	2.7	0.0								0.4	96.9	-0.8	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	54.4	43.3	2.2	0.0								0.1	97.7			
(19)中		中学校	千葉県	33.2	59.5	7.2	0.0								0.0	92.7	0.0	
		全国	40.0	52.7	7.2	0.0								0.0	92.7			
(20)小	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小学校	千葉県	21.7	57.8	19.8	0.4								0.3	79.5	-4.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	26.5	57.1	15.9	0.4								0.1	83.6			
(20)中		中学校	千葉県	16.1	54.7	28.2	0.8								0.3	70.8	-7.8	
		全国	23.1	55.5	20.5	0.8								0.0	78.6			
(21)小	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小学校	千葉県	18.9	56.0	24.5	0.4								0.3	74.9	-1.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	18.5	57.5	23.7	0.3								0.1	76.0			
(21)中		中学校	千葉県	18.8	50.7	30.6	0.0								0.0	69.5	-3.5	
		全国	16.6	56.4	26.7	0.3								0.0	73.0			
(22)小	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小学校	千葉県	92.0	3.6	4.0	0.3								0.1		1.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、当該教員が担っている 2.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、研究活動に関する業務を行う教員が担っている 3.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、教務主任や主幹教諭が担っている 4.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、2や3の教員以外が担っている	
		全国	89.1	4.9	5.3	0.6								0.1				
(22)中		中学校	千葉県	88.2	9.1	2.4	0.3								0.0			
		全国	88.0	6.7	4.5	0.8								0.0				
(23)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小学校	千葉県	13.6	70.1	16.1	0.0								0.3	83.7	-3.5	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	19.3	67.9	12.4	0.3								0.1	87.2			
(23)中		中学校	千葉県	17.7	68.1	13.9	0.3								0.0	85.8	-2.1	
		全国	19.2	68.7	11.9	0.1								0.0	87.9			
(24)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小学校	千葉県	7.4	62.5	29.4	0.5								0.1	69.9	-5.2	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	11.8	63.3	24.4	0.4								0.1	75.1			
(24)中		中学校	千葉県	15.5	62.7	21.4	0.3								0.0	78.2	-2.5	
		全国	14.8	65.9	19.1	0.2								0.0	80.7			
(25)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小学校	千葉県	10.5	70.6	18.6	0.3								0.0	81.1	-2.7	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	17.3	66.5	15.8	0.2								0.1	83.8			
(25)中		中学校	千葉県	18.2	66.5	15.3	0.0								0.0	84.7	-2.6	
		全国	20.6	66.7	12.6	0.1								0.0	87.3			
(26)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小学校	千葉県	8.8	65.4	25.5	0.1								0.1	74.2	-6.7	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	15.1	65.8	18.8	0.3								0.1	80.9			
(26)中		中学校	千葉県	19.0	64.9	16.1	0.0								0.0	83.9	-2.3	
		全国	20.3	65.9	13.6	0.1								0.0	86.2			
(27)小	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小学校	千葉県	24.6	64.4	10.6	0.4								0.0	89.0	-1.7	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	31.4	59.3	8.9	0.3								0.1	90.7			
(27)中		中学校	千葉県	43.2	52.5	4.3	0.0								0.0	95.7	-0.3	
		全国	42.3	53.7	3.9	0.1								0.0	96.0			
(28)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小学校	千葉県	26.7	70.1	2.9	0.0								0.3	96.8	0.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	34.5	62.3	3.1	0.0								0.1	96.8			
(28)中		中学校	千葉県	24.4	71.6	3.8	0.0								0.3	96.0	-1.1	
		全国	31.4	65.7	2.8	0.0								0.1	97.1			

回答結果集計 [学校質問紙]

千葉県一学校(公立)

・以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(1-1)、(1-2)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県	選択肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
(29)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小学校	26.1	60.1	13.4	0.3								0.1	86.2	-3.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	31.6	58.2	10.0	0.1								0.1	89.8		
(29)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか	中学校	23.3	61.1	15.3	0.0								0.3	84.4	-2.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	27.8	59.2	12.8	0.2								0.1	87.0		
(30)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか	小学校	14.0	72.5	13.4	0.0								0.1	86.5	-1.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	21.2	66.8	11.7	0.1								0.2	88.0		
(30)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか	中学校	17.7	72.1	9.9	0.0								0.3	89.8	1.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	20.7	67.5	11.7	0.0								0.1	88.2		
(31)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小学校	13.7	67.6	18.8	0.0								0.0	81.3	-2.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	16.6	66.8	16.4	0.1								0.1	83.4		
(31)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	中学校	9.4	66.0	23.9	0.3								0.5	75.4	-1.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	13.4	63.2	23.1	0.2								0.1	76.6		
(32)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	小学校	18.4	62.0	19.5	0.1								0.0	80.4	-2.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	21.7	60.9	17.1	0.2								0.1	82.6		
(32)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	中学校	17.2	60.6	21.4	0.5								0.3	77.8	-2.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	17.7	62.7	19.3	0.3								0.1	80.4		
(33)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	小学校	30.1	59.6	10.4	0.0								0.0	89.7	-1.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	32.4	58.4	9.0	0.1								0.0	90.8		
(33)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	中学校	27.9	57.1	14.7	0.3								0.0	85.0	-4.6	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	35.4	54.2	10.2	0.1								0.0	89.6		
(34)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	小学校	31.6	60.8	7.4	0.0								0.1	92.4	-1.4	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	37.1	56.7	6.1	0.1								0.1	93.8		
(34)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	中学校	35.9	58.4	5.4	0.3								0.0	94.3	1.0	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	35.6	57.7	6.6	0.1								0.0	93.3		
(35)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童〔生徒〕が意思決定できるような指導を行っていますか	小学校	27.3	65.2	7.4	0.0								0.1	92.5	-0.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	31.4	61.2	7.2	0.1								0.1	92.6		
(35)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童〔生徒〕が意思決定できるような指導を行っていますか	中学校	30.8	63.0	5.9	0.3								0.0	93.8	2.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	30.6	61.1	8.2	0.1								0.0	91.7		
(36)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、特別の教科 道徳において、児童〔生徒〕自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	小学校	34.3	62.2	3.5	0.0								0.0	96.5	-0.4	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	37.6	59.3	3.1	0.0								0.0	96.9		
(36)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、特別の教科 道徳において、児童〔生徒〕自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	中学校	46.6	52.0	1.3	0.0								0.0	98.6	0.9	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		千葉県全国	46.1	51.6	2.3	0.0								0.0	97.7		
(37)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか	小学校	33.9	63.8	2.3	0.0								0.0	97.7	0.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	39.0	58.0	2.8	0.0								0.1	97.0		
(37)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか	中学校	38.1	60.1	1.6	0.0								0.3	98.2	1.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	35.8	60.8	3.3	0.0								0.1	96.6		
(38)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をされましたか	小学校	19.9	61.6	18.4	0.0								0.1	81.5	-2.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	22.0	62.1	15.7	0.2								0.1	84.1		
(38)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をされましたか	中学校	35.1	56.8	7.8	0.0								0.3	91.9	0.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	34.4	57.2	8.3	0.0								0.1	91.6		
(39)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	小学校	28.2	66.4	5.3	0.0								0.1	94.6	0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	29.0	65.4	5.4	0.0								0.1	94.4		
(39)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	中学校	37.3	57.9	4.6	0.0								0.3	95.2	-2.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		千葉県全国	41.5	56.0	2.4	0.0								0.1	97.5		

回答結果集計 [学校質問紙]

千葉県一学校(公立)

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(1-1)、(1-2)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選択肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(40)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	29.5	65.0	5.5	0.0								0.0	94.5	-0.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	34.4	61.0	4.5	0.0								0.1	95.4		
(40)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	34.9	55.2	9.7	0.0								0.3	90.1	-3.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	37.7	55.7	6.5	0.0								0.1	93.4		
(41)小	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	24.6	67.2	8.2	0.0								0.0	91.8	-0.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	29.2	63.5	7.1	0.0								0.1	92.7		
(41)中	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	40.5	53.9	5.4	0.0								0.3	94.4	-1.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	44.7	51.4	3.8	0.0								0.1	96.1		
(42)小	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか	小学校	千葉県	29.7	65.8	4.5	0.0								0.0	95.5	-0.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	34.4	61.2	4.3	0.0								0.1	95.6		
(42)中	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか	中学校	千葉県	37.3	57.9	4.6	0.0								0.3	95.2	-0.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	41.6	54.2	4.0	0.1								0.1	95.8		
(43)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業における少人数による指導を行いましたか	小学校	千葉県	12.8	4.1	5.6	11.3	66.0							0.3		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	22.2	6.6	5.4	9.4	56.2							0.1			
(43)中	調査対象学年の生徒に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業における少人数による指導を行いましたか	中学校	千葉県	12.3	3.8	8.6	9.1	66.0							0.3		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	21.8	4.4	5.1	6.1	62.5							0.1			
(44)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか	小学校	千葉県	6.0	4.3	5.7	13.6	70.5							0.0		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	15.9	6.5	6.0	11.0	60.3							0.2			
(44)中	調査対象学年の生徒に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか	中学校	千葉県	7.2	2.7	6.7	8.8	74.3							0.3		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	16.2	4.3	5.6	7.4	66.3							0.1			
(45)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業におけるティーム・ティーチングによる指導を行いましたか	小学校	千葉県	19.4	8.4	15.6	21.9	34.6							0.1		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	16.0	8.9	10.9	21.4	42.7							0.1			
(45)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する指導として、前年度に、算数〔数学〕の授業におけるティーム・ティーチングによる指導を行いましたか	中学校	千葉県	30.0	11.8	14.2	11.3	32.4							0.3		1.年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2.年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3.年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4.年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5.行わなかった	
			全国	19.4	9.6	11.7	13.6	45.7							0.1			
(46)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小学校	千葉県	12.8	72.3	14.9	0.0								0.0	85.1	0.8	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	17.9	66.4	15.5	0.1								0.1	84.3		
(46)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	中学校	千葉県	16.9	64.9	18.0	0.0								0.3	81.8	-1.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	17.5	65.3	16.9	0.2								0.1	82.8		
(47)小	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか	小学校	千葉県	29.3	62.5	8.1	0.0								0.1	91.8	-0.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	29.7	62.7	7.5	0.0								0.1	92.4		
(47)中	調査対象学年の生徒に対する算数の指導として、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	中学校	千葉県	19.0	57.6	22.8	0.3								0.3	76.6	-2.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	17.8	60.9	20.7	0.5								0.1	78.7		

回答結果集計 [学校質問紙]

千葉県一学校（公立）

・以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県（公立）	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（1-1）、（1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%）

2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(48)小	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	千葉県	39.8	57.4	2.5	0.0								0.3	97.2	0.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	40.8	56.3	2.7	0.0								0.2	97.1		
(48)中	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	千葉県	46.9	50.4	2.4	0.0								0.3	97.3	0.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	42.7	54.3	2.9	0.0								0.1	97.0		
(49)小	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	千葉県	12.1	87.8										0.1	12.1	-3.3	1.実施した 2.実施しなかった
		全国	15.4	84.5										0.1	15.4		
(50)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事象・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	千葉県	26.2	67.3	6.4	0.0								0.1	93.5	-0.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	28.1	65.8	5.9	0.0								0.1	93.9		
(49)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	千葉県	33.8	60.1	5.9	0.0								0.3	93.9	-0.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.6	63.8	5.4	0.1								0.1	94.4		
(51)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	千葉県	27.9	66.1	5.7	0.0								0.3	94.0	-0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.9	63.3	5.6	0.0								0.1	94.2		
(50)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	千葉県	45.8	50.9	2.7	0.0								0.5	96.7	-0.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	42.1	54.7	3.0	0.0								0.1	96.8		
(52)小	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	千葉県	36.4	58.0	5.6	0.0								0.0	94.4	0.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	36.8	57.0	6.0	0.1								0.2	93.8		
(51)中	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	千葉県	23.9	52.3	22.5	1.1								0.3	76.2	-3.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	24.4	54.8	20.3	0.4								0.1	79.2		
(53)小	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	千葉県	40.4	57.0	2.4	0.0								0.1	97.4	0.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	42.7	54.4	2.7	0.1								0.1	97.1		
(52)中	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し解釈する指導を行いましたか	千葉県	46.4	48.8	4.6	0.0								0.3	95.2	0.6	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	42.9	51.7	5.1	0.1								0.1	94.6		
(54)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度に、児童〔生徒〕が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	41.8	55.1	3.1	0.1								0.0		1.週1回以上 2.月1回以上 3.学期に1回以上 4.ほとんど、または、全く行わなかった	
		全国	44.8	51.2	3.7	0.1								0.1			
(53)中	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度に、児童〔生徒〕が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	53.6	41.8	3.2	0.8								0.5		1.週1回以上 2.月1回以上 3.学期に1回以上 4.ほとんど、または、全く行わなかった	
		全国	46.5	44.7	7.5	1.3								0.1			
(55)小	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	千葉県	47.1	52.8										0.1	47.1	-6.5	1.実施した 2.実施しなかった
		全国	53.6	46.3										0.1	53.6		
(56)小	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	56.6	23.1	14.5	3.6	2.1							0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	67.2	19.0	9.6	2.5	1.7							0.1			
(54)中	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	63.5	19.6	9.7	2.7	4.3							0.3		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	68.4	19.3	8.2	2.4	1.7							0.1			
(57)小	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	千葉県	49.5	42.4	8.0	0.1								0.0	91.9	-2.8	1.ある 2.どちらかといえば、ある 3.どちらかといえば、ない 4.ない
		全国	55.8	38.9	5.1	0.1								0.1	94.7		
(55)中	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	千葉県	41.3	44.5	12.9	1.3								0.0	85.8	-5.0	1.ある 2.どちらかといえば、ある 3.どちらかといえば、ない 4.ない
		全国	50.3	40.5	8.8	0.3								0.1	90.8		
(58)小	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	千葉県	44.8	33.5	12.1	9.4								0.1	78.3	9.0	1.ある 2.どちらかといえば、ある 3.どちらかといえば、ない 4.ない
		全国	33.7	35.6	15.7	15.0								0.1	69.3		
(56)中	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	千葉県	42.4	38.9	7.8	10.7								0.3	81.3	12.0	1.ある 2.どちらかといえば、ある 3.どちらかといえば、ない 4.ない
		全国	35.9	33.4	15.3	15.3								0.1	69.3		

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(1-1)、(1-2)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選択肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
(59)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	小学校	千葉県	50.3	32.8	14.1	2.7	0.1							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	58.2	26.9	12.6	2.1	0.1							0.1						
(57)中		中学校	千葉県	46.9	29.0	18.0	4.3	1.6							0.3					
		全国	55.5	25.7	14.4	3.8	0.5							0.1						
(60)小	調査対象学年の児童〔生徒〕が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉県	18.6	43.8	31.6	5.7	0.3							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	21.2	40.7	30.3	7.3	0.4							0.1						
(58)中		中学校	千葉県	21.7	30.3	36.5	9.9	1.6							0.0					
		全国	22.6	33.6	31.4	10.9	1.4							0.0						
(61)小	調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉県	8.4	21.7	32.3	30.6	7.0							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	13.7	26.2	31.7	22.8	5.4							0.1						
(59)中		中学校	千葉県	9.1	22.5	34.0	25.7	8.6							0.0					
		全国	14.6	27.1	32.1	20.8	5.4							0.0						
(62)小	教職員と調査対象学年の児童〔生徒〕がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉県	16.5	17.8	29.9	21.0	14.8							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	22.6	22.8	26.7	17.5	10.4							0.1						
(60)中		中学校	千葉県	19.0	14.5	27.3	22.0	17.2							0.0					
		全国	21.9	22.2	26.7	17.2	12.1							0.1						
(63)小	調査対象学年の児童〔生徒〕同士がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉県	8.0	15.2	25.5	25.9	25.4							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	11.3	20.0	27.8	21.4	19.4							0.1						
(61)中		中学校	千葉県	7.0	13.7	22.8	22.5	34.0							0.0					
		全国	10.2	17.6	27.6	20.3	24.2							0.0						
(64)小	前年度に、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童〔生徒〕が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか	小学校	千葉県	0.9	2.7	7.0	10.1	22.6	56.6						0.0		1. 週1回以上 2. 月1回以上 3. 3ヶ月に1回以上 4. 6ヶ月に1回以上 5. 年1回以上 6. 実施しなかった			
		全国	0.9	2.9	11.2	11.1	23.1	50.7						0.1						
(62)中		中学校	千葉県	0.5	1.9	5.4	4.6	20.9	66.5						0.3					
		全国	0.7	2.9	8.7	9.2	22.3	56.1						0.1						
(65)小	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小学校	千葉県	20.2	37.2	31.9	10.4								0.3	57.4	7.1	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない		
		全国	18.2	32.1	34.6	14.9								0.1	50.3					
(63)中		中学校	千葉県	23.9	32.2	34.6	9.4								0.0				56.1	6.7
		全国	17.9	31.5	35.9	14.7								0.0	49.4					
(66)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小学校	千葉県	12.2	21.0	43.9	3.2	0.5	19.1							0.0		1. 毎日持って帰って、毎日利用させている 2. 毎日持って帰って、時々利用させている 3. 時々持って帰って、時々利用させている 4. 持ち帰らせていない 5. 持ち帰ってはいけいこととしている 6. 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている		
		全国	14.2	13.2	39.5	11.1	3.1	18.9							0.1					
(64)中		中学校	千葉県	16.4	18.8	35.1	9.7	1.6	18.5						0.0					
		全国	17.0	14.6	30.2	13.2	3.8	21.1						0.1						
(67-1)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	8.2	6.8	18.1	19.9	46.7							0.3		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	6.1	6.3	14.3	14.6	58.4							0.3						
(65-1)中		中学校	千葉県	12.6	4.8	13.7	16.6	52.3							0.0					
		全国	8.1	6.0	11.2	14.6	60.0							0.2						
(67-2)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童〔生徒〕のスタディ・ログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	3.5	6.1	21.3	25.9	43.2							0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	4.6	8.4	19.4	20.0	47.3							0.2						
(65-2)中		中学校	千葉県	2.4	3.5	11.5	15.8	66.8							0.0					
		全国	3.8	5.7	12.7	18.4	59.3							0.1						
(67-3)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童〔生徒〕の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	6.0	11.2	30.7	26.6	25.4							0.1		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満			
		全国	7.5	13.6	27.5	21.7	29.4							0.2						
(65-3)中		中学校	千葉県	6.4	6.4	17.4	27.3	42.1							0.3					
		全国	6.6	9.0	19.7	22.4	42.2							0.2						

以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(11)、(12)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(67-4)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千 葉 全 国	20.2	11.8	18.0	12.2	37.4							0.4	-0.7	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
		中学校	千 葉 全 国	27.1	11.0	18.8	16.4	26.8							0.0			
(65-4)中	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千 葉 全 国	14.2	13.7	23.4	14.5	34.0							0.1	-0.7	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
		中学校	千 葉 全 国	20.1	11.5	19.3	16.6	32.4							0.0			
(67-5)小	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千 葉 全 国	16.4	14.5	20.7	14.0	34.0							0.3	-0.7	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
		中学校	千 葉 全 国	15.7	11.8	19.0	15.9	37.4							0.2			
(68)小	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する授業の中で、児童〔生徒〕の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	34.8	58.8	5.7	0.7								0.0	93.6	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	41.7	52.6	4.8	0.6								0.2	94.3		
(66)中	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童〔生徒〕の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	37.3	55.2	6.4	0.8								0.3	92.5	-0.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	43.0	49.8	5.9	1.2								0.2	92.8		
(69)小	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	9.0	27.9	38.2	24.7								0.1	36.9	-15.8	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	14.9	37.8	33.5	13.6								0.1	52.7		
(67)中	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	10.5	30.6	39.9	18.8								0.3	41.1	-20.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	22.2	38.9	29.0	9.8								0.1	61.1		
(70)小	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	6.6	17.6	27.5	48.3								0.0	24.2	-24.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	14.9	33.3	28.7	23.0								0.1	48.2		
(68)中	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	9.7	24.4	27.3	38.3								0.3	34.1	-23.9	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	22.5	35.5	24.6	17.3								0.1	58.0		
(71)小	令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	小学校	千 葉 全 国	5.5	21.9	35.1	37.5								0.0	27.4	-17.1	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	11.9	32.6	33.4	22.0								0.1	44.5		
(69)中	令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	小学校	千 葉 全 国	6.2	18.8	39.7	35.1								0.3	25.0	-22.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	15.1	32.5	33.0	19.3								0.1	47.6		
(72)小	職場見学を行っていますか	小学校	千 葉 全 国	29.4	70.6										0.0	29.4	-0.5	1. 行っている 2. 行っていない
		中学校	千 葉 全 国	29.9	70.1										0.0	29.9		
(70)中	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	小学校	千 葉 全 国	89.0	8.6	1.3	0.3	0.0	0.5						0.3	-0.5	1. 実施しなかった 2. 1日～2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日以上(連続して実施) 6. 5日以上(分散して実施)	
		中学校	千 葉 全 国	71.4	18.5	6.9	0.5	1.6	1.0						0.1			
(73)小	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小学校	千 葉 全 国	18.8	65.2	15.7	0.4								0.0	84.0	2.0	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		中学校	千 葉 全 国	19.8	62.2	17.2	0.7								0.1	82.0		
(71)中	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小学校	千 葉 全 国	16.6	59.0	23.6	0.8								0.0	75.6	-4.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		中学校	千 葉 全 国	18.6	61.1	19.3	0.9								0.1	79.7		
(74)小	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小学校	千 葉 全 国	51.6	44.7	3.7	0.0								0.0	96.3	1.7	1. よく参加している 2. 参加している 3. あまり参加していない 4. 全く参加していない
		中学校	千 葉 全 国	51.5	43.1	5.0	0.3								0.1	94.6		
(72)中	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小学校	千 葉 全 国	25.7	49.9	20.9	3.2								0.3	75.6	-1.9	1. よく参加している 2. 参加している 3. あまり参加していない 4. 全く参加していない
		中学校	千 葉 全 国	24.3	53.2	20.1	2.3								0.1	77.5		
(75)小	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74〔72〕)の質問にあるような、保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	17.8	43.4	26.1	12.8								0.0	61.2	-9.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	27.7	43.1	21.5	7.6								0.1	70.8		
(73)中	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74〔72〕)の質問にあるような、保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか	小学校	千 葉 全 国	12.1	30.8	39.9	16.9								0.3	42.9	-12.9	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	16.8	39.0	31.8	12.3								0.1	55.8		
(76)小	(74〔72〕)の質問にあるような、保護者や地域の人の協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小学校	千 葉 全 国	35.4	56.5	3.5	0.4	4.3							0.0	91.9	-1.8	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. 取組を行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	41.6	52.1	3.1	0.3	2.8							0.1	93.7		
(74)中	(74〔72〕)の質問にあるような、保護者や地域の人の協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小学校	千 葉 全 国	23.1	60.1	5.9	1.3	9.4							0.3	83.2	-3.3	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. 取組を行わなかった
		中学校	千 葉 全 国	29.8	56.7	5.2	0.9	7.3							0.1	86.5		

千葉県一学校（公立）

・以下の集計値は、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県（公立）	小学校数	中学校数
実施学校数	752	373

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号（3）～（5）、（1-1）、（1-2）の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県（公立）の学校数の割合（%）

2段目：全国（公立）の学校数の割合（%）

質問番号	質問事項	校種	千葉県	選 択 肢										その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(77)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	小学校	千葉県	40.6	53.6	5.3	0.1								0.4	94.2	-2.3	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	48.7	47.8	3.3	0.1								0.1	96.5		
(75)中		中学校	千葉県	30.8	61.1	7.5	0.3								0.3	91.9	-1.7	
			全国	38.2	55.4	6.1	0.2								0.1	93.6		
(78)小	調査対象学年の児童〔生徒〕の保護者に対して、前年度までに、児童〔生徒〕の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	小学校	千葉県	29.5	58.1	12.2	0.1								0.0	87.6	-4.8	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	37.4	55.0	7.3	0.2								0.1	92.4		
(76)中		中学校	千葉県	22.8	61.9	14.7	0.3								0.3	84.7	-2.0	
			全国	26.2	60.5	12.8	0.5								0.1	86.7		
(79)小	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童〔生徒〕が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かしましたか	小学校	千葉県	21.9	59.8	17.6	0.7								0.0	81.7	-8.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
			全国	30.8	58.9	9.9	0.2								0.1	89.7		
(77)中		中学校	千葉県	19.8	64.6	14.5	0.8								0.3	84.4	-2.5	
			全国	25.3	61.6	12.8	0.2								0.1	86.9		
(80)小	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小学校	千葉県	18.8	74.1	7.2									0.0	92.9	-3.0	1.よく行った 2.行った 3.ほとんど行わなかった
			全国	29.9	66.0	4.0									0.1	95.9		
(78)中		中学校	千葉県	14.5	71.3	13.9									0.3	85.8	-6.9	
			全国	23.6	69.1	7.2									0.1	92.7		
(81)小	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小学校	千葉県	15.8	70.5	9.2	4.5								0.0	86.3	-5.4	1.よく行っている 2.どちらかといえば、行っている 3.ほとんど行っていない 4.地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
			全国	29.7	62.0	4.8	3.5								0.1	91.7		
(79)中		中学校	千葉県	12.3	63.8	16.1	7.5								0.3	76.1	-12.4	
			全国	23.6	64.9	7.7	3.8								0.1	88.5		
(82)小	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）	小学校	千葉県	10.6	58.2	31.1									0.0	68.8	-17.4	1.よく行った 2.行った 3.ほとんど行わなかった
			全国	19.7	66.5	13.6									0.1	86.2		
(80)中		中学校	千葉県	14.7	52.8	32.2									0.3	67.5	-13.1	
			全国	19.9	60.7	19.4									0.1	80.6		
(I-1)小	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する、夏季等の長期休業期間の延長または臨時休業の日数（短縮授業・分散登校・学級単位の休業は含まない）	小学校	千葉県	98.9	0.8	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		1.10日未満 2.10日以上、20日未満 3.20日以上、30日未満 4.30日以上、40日未満 5.40日以上、50日未満 6.50日以上、60日未満 7.60日以上、70日未満 8.70日以上、80日未満 9.80日以上、90日未満 10.90日以上	
			全国	94.7	2.7	1.3	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2			
(I-1)中		中学校	千葉県	98.4	1.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3			
			全国	94.8	4.4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1			
(I-2)小	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する、短縮授業・分散登校の日数（学級単位の実施は含まない）	小学校	千葉県	66.6	18.8	12.2	0.4	0.4	0.3	0.4	0.0	0.0	0.8	0.1		1.10日未満 2.10日以上、20日未満 3.20日以上、30日未満 4.30日以上、40日未満 5.40日以上、50日未満 6.50日以上、60日未満 7.60日以上、70日未満 8.70日以上、80日未満 9.80日以上、90日未満 10.90日以上		
			全国	82.7	9.8	5.6	0.7	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2				
(I-2)中		中学校	千葉県	79.1	11.8	7.2	0.8	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3				
			全国	83.9	10.1	4.3	0.8	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1				
(II-1)小	Iの期間中（短縮授業・分散登校の期間を含む）、家庭での学習として、教科書による学習（デジタル教科書を含む）を行っていましたか	小学校	千葉県	33.1	11.6	10.5	1.2	43.4							0.3	1.基本的に全校で実施 2.一部の学年・学級で実施 3.実施していない 4.学校として統一的に把握していない		
			全国	26.8	9.2	11.3	1.1	51.2							0.4			
(II-1)中		中学校	千葉県	22.5	11.5	14.7	3.5	47.5							0.3			
			全国	26.0	7.6	13.5	2.2	50.6							0.1			
(II-2)小	Iの期間中（短縮授業・分散登校の期間を含む）、家庭での学習として、学校が作成したプリントなどによる学習（電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む）を行っていましたか	小学校	千葉県	32.0	15.8	6.9	1.6	43.4							0.3	1.基本的に全校で実施 2.一部の学年・学級で実施 3.実施していない 4.学校として統一的に把握していない		
			全国	30.5	11.2	5.9	0.9	51.2							0.3			
(II-2)中		中学校	千葉県	24.4	15.8	9.4	2.7	47.5							0.3			
			全国	29.0	10.8	8.0	1.5	50.6							0.1			
(II-3)小	Iの期間中（短縮授業・分散登校の期間を含む）、家庭での学習として、教科書会社その他民間が作成したプリントなどによる学習（電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む）を行っていましたか	小学校	千葉県	23.3	19.3	10.9	2.5	43.4							0.7	1.基本的に全校で実施 2.一部の学年・学級で実施 3.実施していない 4.学校として統一的に把握していない		
			全国	21.8	14.7	10.3	1.5	51.2							0.4			
(II-3)中		中学校	千葉県	8.8	13.7	25.5	4.3	47.5							0.3			
			全国	15.2	12.5	18.7	2.8	50.6							0.2			

研究報告

第456号

令和4年12月1日

編集発行者 千葉県総合教育センター所長

神子 純一

発行所 千葉県総合教育センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2丁目13番

TEL 043(276)1166

FAX 043(272)5128
